

官報

號外

大正十五年二月四日 木曜日

内閣印刷局

○第五十一回衆議院議事速記録第十一號

帝國議會
大正十五年二月三日(水曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十號

大正十五年二月三日

午後一時開議

第一 日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 簡易生命保險法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 大正十四年勅令第二百四十五號(承諾ヲ求ムル件)(牛ノ傳染性肋膜炎ノ防遏ニ關スル件) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑(前會ノ續)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
大阪市ニ關スル法律案 廣瀬 德藏君
提出者

帝國軍人後援會國庫補助ニ關スル建議案
提出者 (以上二月一日提出)

加藤政之助君 岩崎 勳君
上笠安太郎君 津崎 尙武君
民族博物館設立ニ關スル建議案
提出者 山根 儀重君

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案
提出者

中林 友信君 津崎 尙武君
井坂 豐光君 丹下茂十郎君
牧山 耕藏君 高見 之通君
金鶴勳章並旭日章年金改正即行ニ關スル建議案
提出者

中林 友信君 池田 泰親君
牧山 耕藏君 井坂 豐光君
福井 甚三君 高見 之通君
熊谷五右衛門君 植場 平君
衆田 秀雄君 丹下茂十郎君
(以上二月一日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス〕

一 去一日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ
三四八 中谷 貞頼君
三八一 福田 五郎君

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——加藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君 滿場ノ諸君、幾多先輩ガ在ラル、ニモ拘ラズ、敢テ身ノ謫劣ヲ顯ミズ、此壇上ニ立チマシテ(前口上ガ長イソ)ト呼フ者アリ、議事ノ進行ニ付キマシテ敢テ一言ヲ呈シタイト存ズル次第デアリマス、ソレハ外デアリマセヌ、先日來此議場ノ光景ヲ見テ居リマスルト云フト、頗ル遺憾ニ堪ヘナイ事ガ多イノデアリマス、當ニ喧騒ヲ極ムルト云フダケナラバ申シマセヌ、餘リ熱狂スル餘リ、殆ド聴クニ忍ビザル所ノ言辭ヲ弄シテ、平然トシテゴザル方ガアル

ノデアリマス、是ガ爲ニ吾々議員ノ體面ヲ汚スコトガ、頗ル重大デアルト私ハ考ヘルノデアリマス(ヒヤ)諸君、言論自由ノ府デアリマスルカラシテ、敢テ批評スルノヲ惡イトハ申シマセヌ、彌次ハ大ニヤルベシ、半疊ハ大ニ入レルベシ、是アルガ爲ニ情氣滿々タル所ノ議場ノ活氣ヲ添ヘ、坐眠半分ノ大臣モ議員モ眠ラ覺マスト云フヤウナ效果モアルノデアリマス(名論々々)餘計ナコトヲ言フナト呼フ者アリ、餘計ナコトデアリマセヌ(謹聽々々)デアリマスモ、彌次ル餘地ガアルナラバ大ニ彌次ルベシ、縱令同僚ノ演說デアリマシテモ、敵味方ヲ問ハズ半疊ヲ入ル、餘地ガアルナラバ、大ニハレテ可ナリト吾々ハ信ジテ居リマスルケレドモ、併ナガラ諸君、車夫馬丁ダニモ恥カシイト思フヤウナ言葉ヲ使フテ、平然トシテ居ルト云フコトハ何事デアリマセウカ(誰ダ々々)ト呼フ者アリ)昨年ノ五十議會ニ對シマシテ、吾々議員ノ言論ニ對シ、天下ノ新聞ハ如何ナル所ノ論評ヲ加ヘマシタカ、社會ノ人ハ如何ナル所ノ批評ヲ下シタデアリマセウカ、其結果ト致シマシテ、昨年四月堺市ニ開カレマシタル全國各小學校長會議ノ問題トシテ、吾々議員ノ言論ト云フモノガ問題ニナッタノデアリマス、アノヤウナ言論ヲ執ラレマシテハ、吾々ガ國民教育ノ上ニ付テ非常ナル迷惑ヲスルカラシテ、此事ヲ以後注意スルヤウニ、議長ニ建議シナケレバナラヌト云フコトヲ決議シタノデアリマス、私ハ御參考ノ爲ニ其全文ヲ茲ニ朗讀致シマス、本年四月本市ニ於テ開催致候第二十回全國各小學校聯合會ニ於テ決議致候事項左記ノ通りニ有之候條宜シク御取計被成下度此段上申候也、大正十四年七月一日第二十回全國各小學校聯合會代表者堺市長齋藤研一、衆議院議長

粕谷義三殿、記、一衆議院議員ノ議會ニ於ケル言動ハ國民教育上影響スル所極メテ大ナルモノアルヲ認ム仍テ爾今一層慎重ナル態度ノ保持セラレンコトヲ望ム、斯ウ云フ建議ガ議長ノ手許ヘ出テ居ルモノト考ヘテ居リマス、諸君、是ハ實ニ吾々ノ面目ニ關スル事重大デアリマス、而モ此議院ノ神聖ヲ瀆スコトハ極メテ大キイト考ヘルノデアリマス、斯様ナコトヲ決議致サレマシテ、吾々議員ガ何ノ面目アツテ國民ニ見エマセウカ、故ニ私ハ諸君ニ御諮リヲ申上ダタイ、大ニ彌次ル、大ニ半疊ヲ入レル、是ハ結構デアル、ケレドモドウカ其彌次ノ言葉遣ハ御互ニ慎ミタイト思フノデアアル、私ハドナタガドウ云フ所ノ尾籠ナ言葉ヲ使フテ居ルト云フコトハ、能ク一々手帳ニ書留メテ置キマシタケレドモ、此所ニ之ヲ公開致シマシテハ、速記録ニモ殘ルコトデアルカラシテ、茲ニ遠慮ヲ致シテ置キマスルガ、御互ニ是ダケハ一ツ慎重ムコトニ致シタイト云フコトヲ、滿場ノ諸君ニ御諮リ致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今清水市太郎君及東武君、兩君ヨリ各、成規ノ賛成ヲ得テ、銀座ニ於ケル暴行ニ關スル緊急質問ヲ提出致シマシタ、此際日程ヲ變更シテ、之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス——政府モ日程ノ變更ニ同意セラレマシタ、仍テ順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——清水市太郎君

銀座ニ於ケル暴行ニ關スル緊急質問(清水市太郎君提出)

〔清水市太郎君登壇〕

○清水市太郎君 滿堂ノ諸君、私ハ緊急質問

問ヲ提出セザルヲ得ナイニ至リマシタノヲ甚ダ遺憾トスル者デアリマス、總理大臣兼内務大臣ニ向テ御尋ヲスルコトデアリマス、諸君モ新聞ニ依テ御承知デゴザイマセウガ、一昨々日即チ一月三十一日ノ夕刻ニ、黒色青年團ガ勞資協調會館ニ於テ講演會ヲ開キマシタ、其際結局解散ニナリマシテ、大ニ激昂シテ彼等ハ其所ヲ出タト云フノデアリマスルガ、申合セタ如ク四十名ト云フ者ガ團旗ヲ高ヤカニ翻シマシテ、革命歌ヲ歌テ銀座街頭ニ入ノ出盛リニ、且ツ行キ且ツ暴行ヲ致シマシテ、西側ニ二十餘軒ト云フモノ、立派ニ飾リ立テ、金色煌々タル所ノ店頭ト云フモノハ、修羅ノ如ク、戰場ノ如ク蹂躪サレテ、踏散サレタノデアリマス、而シテ京橋署ノ出雲町ノ巡查及尾張町ノ巡查ガ數名出マシタガ、衆寡敵セズシテ、一人ノ如キハ半死半生ノ重傷ヲ負ウタノデゴザイマス、諸君、之ヲ如何ニ御覽ニナリマスルカ、苟且ニモ華嚴ノ下デ、最モ火ノ街、花ノ巷ト云フ位ニ綺麗ナ東京ノ目貫ノ街頭デ、人ノ出盛リニ於テ斯ノ如キ事ガ行ハレタノデアリ、洵ニ恐入ッタ次第デアリマス、實ニ言語道斷ノ話ダト思ヒマス、斯ノ如キ事ガ他ニモ似寄ッタ事ガアリマスルガ、今回ノハ最モ恐ルベキモノデアアル、無政府主義者ハ——國家ノ基礎ヲ根柢ヨリ覆ヘサントスル所ノ無政府主義者ガ、斯ノ如ク無警察ノ狀態カ、無人ノ境ヲ行クガ如クニ蹂躪踐踏ニ委セルト云フコトハ、果シテ誰ノ責任ゾヤ、吾々國民トシテ洵ニ是然トシテ義務ヲ背ムコトガ出來ナイ狀態デアアルノデゴザイマス、而シテ私共ノ殊ニ遺憾ニ考ヘルノハ、斯ノ如キ事ガドウシテ未然ニ防ゲナカッタカ、云フコトデアアル、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、銀座街頭ノ或ル「カフェ」店ニ於キマシテ、數日前ヨリハ計畫サレテ居タト云フコトデアアル、ソレモ知ラズニ濟ンダガ宜シトシタ所ガ、其當日ニ於キマシテ、斯ノ如キ團體ガ演說會ヲ開イテ解散ヲサレテ出テ行クヤ、其出テ行ク有様ガ既ニ仰々シキ有様デ、團旗ヲ高く翳シテ革命歌ヲ歌ッテ行クト云フ狀態デアアルニ、

之ヲ芝警察ハ其所ヲ目前ニ目撃シテゴザル、眼前ニ目撃シテゴザル、之ヲ何故ニ京橋ノ警察署へ通達シナカッタカ、芝ノ警察署ハ芝タケノ範圍シカ守ラナイカ、京橋ノ警察署ハ全ク不意計ヲ喰フテ、二人カ數名ガ出テ、前ニ申上ゲル通りニ衆寡敵セズシテ、半殺シニナッタヤウナ巡查ガアル、而シテ又監視廳ハ何故ニ之ニ速ニ應援ヲ與ヘルコトガ出來ナカッタカ、京橋警察ト云フモノハ監視廳ニ傳ヘナカッタモノト見エル、是ハ新聞紙ニモアリマスルガ、監視廳ノ幹部連ハ夜ノ零時何分マデ知ラヌデ居ッテ、朝日新聞ノ通信員ニ聞イテ、初テソレハ承ッテ知ッタト云フヤウナコトデ、何等御話申上ゲルコトハ出來ナイト云フヤウナコトヲ述ベテゴザル、一體帝國ノ警察機關ト云フモノハ何等ノ連絡ヲ取ッテ居ナイモノデアアルカ、何等ノ相助ケルト云フコトガ無いノデアリマスカ、責任ハ局部々々デ、ソレヨリ一步ヲ踏出シテ提携連絡ヲシテヤルト云フコトニナッテ居ナイノデアリマスカルト云フコトヲ、御尋センナラヌヤウナ狀態デアアル、是ハ芝ノ警察ガ勞資協調會館ニ是等ノ儕輩ガ出テ行クトキノ狀態カラシテ、既ニ其不穩ノ狀態ナルコトハ、何人ガ見テモ顯着ナル事實デアアル、此時ニ之ヲ直ニ追尾シテ行ク、之ヲ京橋ノ警察トカヲ協シテ防禦シタナラバ、斯ノ如キ事ニ至ラナイ、又芝ノ警察ハ之ヲ監視廳ニ報知シテ、監視廳カラ大舉シテ之ヲ防グコトヲシタナラバ、斯ノ如キ暴行ニ至ラナシラウト思フ、何時モ斯ノ如キ事ガ未然ニ防ガレズシテ、突發シテシマッタ後ニ誠ニ恐懼ニ堪ヘヌトカ、是カラハ注意スルト云フコトデアハ、ドウモソレハ仕方ガナイ、取返シノ付カヌヤウナ狀態ニナッテ、如何ニ後悔萬回シタ所ガ何等役ヲ成サナイ、未發ニ防ギ未然ニ止メテコソ洵ニ其職責ヲ盡スコトニナルノデアリマス、實ニ遺憾ニ堪ヘナイノハ、斯ノ如キ事ガ未發ニ防ギ得ル、若モ其銀座ノ裏ノ「カフェ」店デ數日前ニ密議セラレタコトヲ探知シタナラバ、何事モ起フナカッタ、若モ芝ノ警察ガ京橋ノ警察 連絡ヲ通牒シタナラバ、

斯ノ如キ大事ニ至ラズシテ済ンダ、若モ芝警察カラ京橋ノ警察ニ連絡ガ取レテ居タナラバ、不逞ノ儕輩ハ悉ク檢舉サレタカモ知レス、斯ウ云フヤウナ狀態デ、洵ニ我ガ輩輩ノ下、治安ノ維持ガ頗ル危ナシ、此責任ハ一體ドウナルコトデアアル、殊ニ此帝國ノ基礎、社會ノ根柢ヲ覆サントスル所ノ無政府主義者ガ斯ノ如キ暴行ヲ恣ニシテ何等ノ防禦ノ手段ナク、啞然トシテ其後方カラ驚イテ居ルト云フ狀態ニ至ッテハ、洵ニ其責任觀念ハ何人ガ持ッノデアアルコト云フコトヲ、質問セザルヲ得ナイノ遺憾トスル者デアアル(拍手)第五十議會ニ於キマシテ、我輩ノ松田源治君ト則本由庸君ガ、只今ノ總理大臣、内務大臣トシテノトキニ、帝都治安ノ維持ニ關スル緊急質問ヲ致シマシタ、御案内ノ通り其當時ハ普選ノ問題ニ激昂シタ儕輩カ、或ハ高官或ハ富豪ノ所ヲ襲撃シタコトガ頻々トシテアリマス、其事ニ付テ質問ヲシマシタトキニ、當時ノ内務大臣若槻君ハ立派ニ答ヘラレマシタ「帝都ノ治安ノ維持ヲ確保致シマスコトハ、政府ガ最モ重キヲ置イテ居ル所デアリマス、所謂暴力團體ノ取締ニ關シマシテハ、現政府ハ成立以來特ニ嚴重ナル取締ヲ實行スルコトヲ以テ方針ト致シマシテ、苟モ事件ノ警察官憲ノ手ニ入タモノハ、法ノ計ス限リ假借ナク處斷シ、以テ弊風ヲ矯メンコトヲ期シテ居ルノデアリマス、而シテ政府ハ將來ニ於テ出來得ル限リ、嚴重ナル取締ヲ實行致シテ、不逞ノ徒ヲ一掃センコトヲ期シテ居リマス」斯ノ如ク立派ナコトヲ述ベテ御答ニナッタノデアリマス、然ルニ今日ノ狀態ハ此一掃スル所デハナイ、益、不逞ノ徒ガ蔓リ、跳梁ヲ極メテ來テ、人出盛リノ帝都ノ真中、一番盛ナ所デ、縱橫無盡ニ彼等ノ爲スガ儘ニ暴行ノ極ヲ盡シタノデアリマス、斯クノ如キ狀態ハ、是レ實ニ革命ノ端緒トモ見ルベキモノデ、恐レテモ恐レザルベケンヤト云フ次第デアリマス(笑聲起ル)洵ニ笑ヒ事デハナイト私ハ考ヘル(ヒヤ)「拍手」諸君ハ如何ニ御覽ナサルカ、假ニ諸君ノ邸宅ヲ白晝斯ノ如キ團體ニ襲撃サレタナラバ、默々トシテ

何等ノ御質問モ爲サレマスマイカ、帝都ノ真中デ晏如トシテ營業ヲスルコトガ出來ヌ狀態デアアル、是ハ抑、誰ノ責任デアアルノデアリマスカ、此點ニ付テ今後ハ何デアリマスガ、差當リ起ッタ問題ハ、如何ニ是ハ責任解除ヲスベキモノデアアルカ、實ニ容易ナラヌ事デアアル、輩輩ノ下ニ於テ、而モ其時間ト云ヒ、場所ト云ヒ、如何ニモ有得ベカラザルコトガ起ッテ、洵ニ警察ハ立派デアアル、治安ハ完全ニ維持サレテ居ルト云フ風ニ信ジテ居ルノニ、斯ノ如キ事ガ起ッタノデアリマス、ドウ致シマシテモ是ハ餘程其重大ナ問題デアッテ、大ニ今後其未發ニ防グト云フコトハ勿論デアリマスルガ、ソレガ又シテモ出來ナイ、總理大臣ガ内務大臣トシテ五十議會ニ御答ニナッタ御言葉ハ、如何ニモ堂々タルモノデアアル、然ルニソレガ悉ク裏切ラレテ居ルノヲ甚ダ遺憾トスル者デアリマス(拍手)此問題ニ付キマシテ、如何ニ總理大臣兼内務大臣ハ御考ニナリ、如何ナル抱負ヲ以テ其責任ヲ解ク御考デアアルカ、卒直明細ニ承リタイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 次ハ東武君

銀座ニ於ケル暴行ニ關スル緊急質問

(東武君提出)

(東武君登壇)

○東武君 只今清水君ヨリシテ質疑ガアリマシタノデアリマスガ、私ハ同ジク去ル三十一日ニ起ッタ所ノ銀座ニ於ケル暴行團ノ事ニ付テ、政府ニ質問ヲ致スノデアリマス、事實ハ清水君ヨリ大要御述ニナッタコトト考ヘマスガ、此日ノ出來事ハ新聞紙上ノ傳フル所ニ依レバ、三十一日午後一時芝公園協同會館ニ於テ、無政府主義即チ黒色青年聯盟ノ講演會ガ開カレ、此講演會ガ既ニ非常ナ危險ヲ帶ビ、帝國ノ國家ノ秩序トシテハ見通スコトノ出來ナイ事實ガアル爲ニ、數十回ニ亙ッテ此中止ヲ命ジタ、然ルニ彼等ハ尙ホ改メズシテ、殆ド殺氣ヲテ此危險ナル所ノ演說ヲヤルガ爲ニ、遂ニ演說會ヲ中止シタ、而シテ同時ニ暴行者ガアリマシテ、其會場カラシテ愛宕署ニ於テ數人ノ

檢束者ヲ見タリ云フ事實ガ本デアリノデアリマス、此黑色聯盟ノ性質ハ、近來アル所ノ此思想界ニ於ケル最も危險ナル所ノ種類ノモノデアリト云フコトハ、ハハ警視廳當局者モ特ニ御調ベニナリテ居ルノデアリ、即チ一派ノ黑色聯盟ノ首領連ハ、近藤憲三、岩佐某、平素カラシテ非常ナリ注意人物デアリト云フコトハ間違ガナイ、此演說會ヲ中止シテ同時ニ解散ヲ命ジタ所ガ、彼等ハ隊ヲ組ンデ愛宕町カラ芝口ニ出テ、銀座街頭ニ廻テ、銀座街頭ニ九時半頃カラシテ來テ、先ツ資生堂ノ前カラシテ勝手ニ此人道ニ闖ノ聲ヲ揚ゲ、サウシテ團旗ヲ續シテ棍棒ヲ携ヘ、最初ニ「シヨウウインド」ヲ破壊シテ、手當リ次第勝手次第第二各商店ノ陳列棚ヲ破壊ヲ致シ、窓櫺子ヲ打壞シテ亂暴ヲシタ、其間ニ革命ノ歌ヲ盛ニ高唱シタ、斯様ナ事實デアリ、而シテ又其當時ノ警察ハドウデアリカト云ヒマスルト、愛宕町ヨリ警察官ハ尾行ヲ致シテ芝口マデ參リタ、所ガ最早自分ノ管轄區域デナイト云フノデ、京橋ニ掛カル際ニハ巡查ハ全ク尾行ヲシナイ、何等ノ警戒ヲシナカッタ、偶、アノ地方ニ居タリ——京橋附近ニ居タ所ノ交番ノ巡查ガ之ヲ聞付ケテ制止ヲ致シタ、所ガ此巡查ヲ半殺ニ致シテ半殺ニシテ、今尙ホ此巡查ハ病院ニ收容セラレテ居ル、斯様ナ事實デアリ、而シテ又銀座街頭、所謂帝都ノ中心ナル所ノ銀座街頭、又京橋カラシテ日本橋ニ至ル所ノ一定ノ商店ハ、非常ノ恐怖ニ襲ハレテ、其晚ハ總テ戸ヲ締メテシマッテ營業ヲ中止シタ、尙ホ今日デモ非常ナリ不安ヲ感ジテ居ルト云フ事實デアリ、彼等ノ話ヲ新聞紙上ニ依ッテ聞キマスルト、吾々ハ帝都ノ真中、而モ銀座ノ街頭ニ數十年來商賣ヲ營ンデ居リマスルガ、會テ斯様ナ暴行危險ニ遭遇シタコトハナイ、實ニ恐ルベキ事情デアルガ、警視廳ハ平素最善ノ注意ヲ加ヘテ居リ、尙ホ是等ノ暴行團ニ對シテハ警察ハ頗ル用意ガ完備致シテ居ルト云フニ拘ラズ、斯様ナ事ガアルト云フコトハ、如何ニシテモ不可思議千萬デアルト云フコトハ、其當時ノ傍

觀者デモ、或ハ被害者デモ異口同音ニソレハ唱ヘラレテ居ル事實デアリ、此事ハ單ナ爾數十名ガ暴行ヲシテ、或ハ窓櫺子ヲ壞シタト云フダケノ事實トシテ看過スレバ、左マデ重大ナモノデハナイ、即チ鶴見ニ於ケル所ノ百五有餘ノ土方或ハ請負人、斯様ナ者ハ竹槍旗ヲ續シテ爭ウタト云フコトハ、此出來事ト較ブレバ、此銀座街頭ノ出來事ハ非常ニ事ハ輕微デアリ、損害モ亦輕少デアリ、ケレドモ吾々ノ考フル所ニ依レバ、最近ニ於ケル我が帝國ノ思想ノ非常ニ赤化シツ、アルト云フコトハ、是ハ朝野識者ノ同ジク唱フル所デアリ、且ツ非常ニ憂慮ヲ致シテ居ル事實デアリ、是等ノ事實ニ付イテハ何レ具體的ノ事實ヲ以テ、相當ノ機會ニ於テ政府ニ對シテ、吾々ハ國家ノ秩序ノ上ニ於テ質問ヲ致ス考デアリマス、今日ハ銀座街頭ニ於ケル所ノ問題ニ局限シテ質問ヲ致ス考デアリマスガ、此問題ハ實ハ思想犯ト云フ中ニ於テ、極メテ危險ナル分子ヲ含マレテ居ル、彼等ハ團旗ヲ續シテ、サウシテ暴行ヲシタト云フコトニ付テ、既ニ或ル一定ノ目的ヲ達シテ居ル、即チ革命ノ前驅ト致シマシテハ、各國トモ或ハ「サンジカリズム」デアルトカ、或ハ「アイ、ダブリュー、ダブリュー」團トカ、斯様ナ者ノ從來世界ニ革命ノ前驅ヲ爲スト云フ場合ニハ、國憲ヲ紊亂シ、國ノ秩序ヲ破壞シ、國ノ公權ヲ微弱ナラシメ、權力ヲ微弱ナラシムルト云フコトガ即チ目的デアリ、既ニ彼等ハ此銀座街頭ニ於ケルモノハ一ツノ主義ノ上、思想ノ上カラシテ起リテ、徒ニ生活ノ問題或ハ經濟ノ問題ニ出發シタルモノデナクシテ、思想ニ於テ起リテ居ル所ノ一大事變デアリ、彼等ハ常ニ是ダケノ事ヲ致シテ國憲ヲ破壞シ、或ハ警察ノ無力ナルコト、或ハ帝國ノ秩序ヲ半時デモ一時デモ之ヲ阻止シタト云フコトガ、既ニ彼等ハ無政府主義ノ手段方法トシテ十分ニ其目的ヲ達シタモノト云フテ差支ナイノデアリマス、故ニ此點ハ事極メテ輕微ニ似テ決シテ輕微デナイ、頗ル重大ナル事デアルト思フノデアリマス、我國ノ各社會ニ於キマシテ——何レノ社會ニ於ッモ

現今斯ノ如キ傾向ガ現ハレテ居ルノデアリマス、或ハ京都大學ノ出來事ト云ヒ、或ハ小樽高商ニ於テノ出來事ト云ヒ、或ハ各大學等ニ於ケル所ノ教授ナドノ思想ノ宣傳ニ於ケル事實ニ於テモ、各方面ニ斯様ナ事實ガ現ハレテ居リテ、殊ニ莫斯科ノ中心トシタル所ノ世界ノ赤化宣傳ハ、今や歐羅巴諸國ハ文明ガ高度ニ進ンデ居リテ、彼等ガ共產主義「マルクス」主義ヲ唱ヘテモ、一時ハ文明ノ高度ニ進ンデ居ルアル國民ハ之ニ共鳴ヲシタノデアリ、ケレドモ漸次思想ガ堅實ニ赴イタル社會ニ於テ、是等ノ主義ハ人類一般ノ幸福福利ヲ増進スル所以デナイト云フコトヲ段々知覺致シマシタガ爲ニ、今日ハ歐洲或ハ亞米利加其他ニ於テハ、比較的赤化宣傳ノ力ハ弱イ、又宣傳ヲ爲シテモ是ハ目的ヲ達シナイ、是ニ於テカ莫斯科ノ宣傳方法ヲ致シテハ、東洋ガ一番人智ガ低イ、又東洋ヲ赤化スルコトガ一番容易イト云フコトヲ見マシテ、是ニ於テカ莫斯科方面ノ赤化ノ手段ハ——此赤化ノ魔ノ手ハ先ツ支那ニ及ビ、朝鮮ニ及ビ、印度ニ及ビ、日本ニ及ビ、東洋ニ於テ日本ノ思想サヘモ拉ニ或ル一定ノ手段ヲ以テ、其目的ヲ達スルコトガ出來ルナラバ、最早東洋ハ赤化ノ勢力圍ニ在リト彼等ハ盛ニ此方面ニ手ヲ延バシ、即チ秘密費ヲ稱シ、宣傳費ヲ稱シテ、各方面ニ多大ノ魔ノ手ノ及ンデ居ルト云フコトハ、恐ラク當局者モ御承知ノ事デアラウト思フ、此無政府主義、共產主義ノ最も危險ナル思想ノ現ハレトシテ此帝都ノ真中ニ、公々然トシテ斯様ナ暴行ノ行ハレト云フコトハ、我が帝都ノ中心ニ於テ革命ノ一端ヲ現ハシタモノデアリト斷言シテ憚カラヌノデアリマス（拍手）實ニ是ハ危險千萬ナ事デアッテ、政黨政派ヲ超越シタル國民全體ノ責任ト致シマシタ、此事ニ付テハ政府ハ十分ナル責任ヲ取ラナクシタレバ、ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、同時ニ私ノ間カント欲スル所ハ、政府ハ此事件ヲ、尋常ノ犯罪ト看做スノデアリカ、ドウデアルカ、尋常ニ暴行罪ト看做シテ居ルカ、是ガ第一デアリ、第二ハ警視廳ハ何

故ニ豫メ此事件ニ備ヘル準備ヲ怠タノデアリカ、既ニ協調會ニ於テ非常ニ危險ガ現ハレテ數十回中止シ、解散シ、檢束ヲシテ、ソレ等ガ解散ヲシテ何處ニ行カト云フコトヲ見ナイデ、之ヲ此監視ノ鳥ト云フコトハ如何ナル譯デアリカ、是ガ第二デアリマス、又第三ニハ、此事實ハ突發的ノ事實デハナイ、段々之ヲ調査致シテ見マスルト云フト、銀座ノ泉ニ「ロシアカフェ」店ガアリマスガ、此「カフェ」店ニ於テ彼等ハ數回協議ヲ致シ、此暴行ヲ帝都ノ真中ニ行ハントシタコトハ、陰謀トシテ既ニ現レテ居リタト云フ事實ガ既ニ現レツ、アルノデアリマスガ、何故ニ警視廳ハ此事ヲ豫メ探知スルコトガ出來ナカッタノデアリカ、如何デアルカ、第四ニハ政府ハ斯様ナ事ガ起タニ對シテハ、如何ナル責任ヲ執ル御考デアリカ、此四點ニ付テ明白ナル御答辯ヲ煩ハス考ヘデアリマス（拍手）

○議長（相谷義二君） 若槻內閣總理大臣（國務大臣若槻禮次郎君登壇） 只今清水君並ニ東君ヨリ、一昨々日銀座ニ起リタル事件ニ付テ御質問ガアルデアリマス、事實御述ニナツタ所ハ大體其通りデアリマス、ケレドモ御答辯ヲ致ス順序トシテ、一應私カラモ事實ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、一月三十一日夜、芝協同會館ニ於キマシテ、黑色青年聯盟ト云フモノ、一派ガ演說會ヲ開イタノデアリマス、聽衆ハ約五百五十名程アリマシテ、其席上デ同志ノ者四十一名ガ講演ヲ致シタノデアリマスガ、何レモ不穩ノ言辭ヲ弄シ、又ハ之ヲ弄セント致シマシタ爲ニ、臨監警察官ニ於キマシテ注意又ハ論議ノ中止ヲ爲シマシテ、著シテ不穩ノ事故ナクシテ散會ヲ致シタノデアリマス、右集會ニ際シテ散會ハ、警視以下正服警察官ガ九十二名、私服ノ警察官十四名、合セテ百六十六名ヲ派遣シテ、取締ニ當テ居リタノデアリマス、右ノ演說會散會後、横山某ト云フ者達ガ先頭ニ立チマシテ、御成門附近ニ於テ革命歌ヲ高唱致シマシタノデ、警戒致シテ居リマシタ警察官ニ

於テ群衆ノ解散ヲ命ジマシテ、之ニ應ゼザル者五名ヲ檢束シテ解散セシメタノデアリマス、右ノ内一部ノ者約四十名ハ、三々五々會旗ニ旗ヲ携ヘテ日比谷方面ニ向ヒマシタ途中、芝田村町所在巡査派出所附近ニ於テ、更ニ革命歌ヲ高唱致シマシタカラ、之ヲ制止致シマシタ所、是等ノ者ハ各方面ニ離散ヲ致シタノデアリマス、然ルニ右ノ内十數名ノ者、並ニ見物人ガ加ハリマシテ、約三十名ノ一團ハ銀座方面ニ向ハントスル模様デアリマシタ爲ニ、念ノ爲ニ土橋巡査派出所ヨリ所轄築地警察署ニ電話ヲ通報致シマシテ、警戒方ノ通知ヲ致シタノデアリマス、右ノ一行ハ直ニ銀座通りニ出デマシテ、博品館前ニ到ルヤ、一番先ニ居リマシタ山崎某ト云フ者、丁度十八年ノ青年デアルト云フコトデアリマスガ、是ガ突然携帯シテ居リマシタ「ステッキ」ヲ以テ博品館ノ窓硝子ヲ突破リマシタ、是ガ動機トナリマシテ、出雲町カラ銀座三丁目ニ至ル間ノ右側ヲ、駈足ヲ以テ約十分間ニ、點々二十六個ノ店舖ノ窓硝子大小四十枚ヲ破損致シマシタ、其損害ノ價格ガ九百餘圓ト云フ見積リデアアルノデアリマス、此間出雲町外一箇所ノ派出所巡査三名ニ於テ、各、之ヲ極力阻止致シマシタケレドモ、終ニ之ヲ檢束スルニ及バズシテ、巡査一名ハ是ガ爲ニ治療十日ヲ要スル負傷ヲ致シマシタノデアリマス、此急ヲ聞キマシテ、北組屋警察署及築地警察署カラ、各、警察官ヲ出動セシメマシテ、暴行者ヲ檢束シ、向ホ逃走セル者等ニ對シテハ、即夜直ニ檢舉ニ著手致シマシタガ、取調ノ結果、今日マデノ所ニテハ、犯罪嫌疑ノアル者ガ九名デアアルノデアリマス、事實ノ大要ハ只今申上ダタヤウナコトデアリマシテ、事件ノ内容及其發生ノ原因ニ付キマシテハ、目下取調中ニ屬シテ居リマスケレドモ、所謂無政府主義者一派ノ社會運動ガ、近時其勢力ガ衰ヘマシテ振ハナシ狀況ニ陥リマシタ爲ニ、是ガ挽回ヲ圖ラントシテ、此度黑色青年聯盟ト云フモノヲ組織スルニ至リタヤウニ見ユルノデアリマス（ノウ）隨テ其主催ニ係ル演說會、

並ニ其解散後ノ取締ニ付キマシテハ、十分ノ注意ヲ拂フテ居リマシタケレドモ、前申上グル如ク銀座方面ニ向ヒタ者ハ、少數ノ者デアリマシテ、之ニ向ヒマストキニハ別ニ不穩ノ形勢ハ無カッタノデアリマス、故ニ其間警戒隊カ周到ヲ缺イタコトハ、是ハ私モ認メテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ終ニ前ニ申上グルヤウナ事態ヲ生ズルニ至リマシタコトハ、誠ニ遺憾ノ至リデアリマス、治安ノ維持ニ付テハ、政府ハ從來留意ヲ怠ラナイ所デアリマスガ、今回ノ事端ニ鑑ミテ、警察官ニ對シテハ一層ノ注意ヲ喚起シテ置イタノデアリマス、此度ノ事件ニ付テモ、少シモ警察官ノ側ニ手落ガナイトハ思ヒマセヌ、私モ其間ニ手落ガアルト思ヒマスガ、段々取調ベタ所デハ、之ヲ懲戒ニ付スルト云フ程度ノモノデナイト認メテ居ルノデアリマス、併シ帝都ノ真中ニ於テ、斯ノ如キ事件ノ起リマシタコトハ、私ハ實ニ恐縮ニ堪ヘマセヌ、事柄ハ誠ニ不都合ナコトデアリマシテ、警察官ノ爲シタ所ノモノガ總テ十分デアアルト申シマセヌガ、併シ懲戒處分ニ付スル程ノ程度デナイト只今デハ認メテ居リマス、但シ内務當局トシテハ遺憾ナナル事ガ生ジタノデアリマス、之ニ就テハ固ヨリ責任ヲ感ジテ居ルノデアリマス、但シ自分デ進退ヲスル程ノコトデナイト存ジマスガ、責任ハ深ク感ジテ居ルノデアリマス（拍手）

○海原清平君 若槻内相ノ答辯ニ關聯シテ今一應質問致シマス

○議長（粕谷義三君） 甚ダ遺憾デアリマスルガ、此質疑ハ出來ナイノデスガ……

○海原清平君 併シ今ノ緊急質問ニ關聯シタ所ノ關聯事項デスカラ、如何デスカ、緊急質問ニ對シテノ答辯ニ對シテノ質問デアリマス

○議長（粕谷義三君） 是マデノ慣例ト致シマシテ、質問者以外ニハ成ベク許シテ居ラヌノデアリマス、甚ダ遺憾デアリマスガ、更ニ他ノ手續ヲ願ヒマス——東武君

○東武君 簡單デアリマスカラ此席カラ——只今内務大臣ヨリノ説明ヲ承リマシ

タガ、私ノ質問ハ三點ニ互ル、先ツ四點デアリマシタルガ、三點デ宜シイノデスガ、政府ハ此事件ヲ尋常ノ犯罪ト見做スヤ否ヤ、是ガ私ノ非常ニ重大ナル質問デアアルノデアリマス、私共ハ是ガ唯、暴行シタノ甚ダ遺憾デアアルト云フヤウナコトデハ満足出來ナイ、即チ此事件ハ極メテ重大ナ思想犯トシテノ起リデアッテ、彼等ノ極メテ危険ナル思想ノ發動デアアルガ、之ヲ尋常ノ犯罪ト見做スヤ否ヤト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ、監視廳ハ多少ノ不注意ガアッタト言ヒマスルガ、夜ノ十二時マデ此事ニ付テハ何等知ラナイ、モウ協調會ニ於テ既ニ險惡ナル狀況ト云フモノハ明カデアアル、殊ニ黑色青年聯盟團ト云フ思想團ハ、是ハ洵ニ危險千萬ナモノデアアルト云フコトハ、監視廳ハ疾ニ知ッテ居ル、然ルニ暴行ガアッテカラ夜ノ十二時マデ監視廳ノ幹部ハ何モ知ラナイデ、果然シテ居ッタ、斯ウ云フ事實、若シ斯様ナ事實ガアルトスルナラバ、如何ナル事ガアッテモ監視廳ト云フモノハ殆ド知ラナイデ済マスタラウ、帝都二百万ノ人民ノ安寧ト云フモノハ、一刻モ維持スルコトガ出來ナイト云フコトニ陥ルノデアアル（ヒヤ）「拍手」斯様ナ事デハ即チ監視廳ノ重大ナル責任ト怠慢ヲ感ジナイカ、ドウデアアルカ、是ガ二點、政府ハ同時ニ政府全體トシテ、斯様ナ事ハ殆ド日本開闢以來無イコトデアアル、米騒動ヤ鶴見ノ暴動デアアルト云フコトハ、米騒動ヤ焼打トハ違フノデアアル、思想カラシテ起ッタ所ノ問題デアアル、思想ノ安寧秩序ヲ害スルト云フヤウナ事ガアルトハ、是ハ實ニ非常ナ不祥事デアアルト吾々ハ考ヘル、我が帝國ノ國憲ヲ維持シ、秩序ヲ保タズ、彼等ガ斯様ナ事ヲスルコトハ、既ニ彼等ガ思想犯トシテノ目的ノ一端ヲ達シテ居ルノデアアル、即チ私ハ不祥デアアリマスガ、革命ノ前驅トシテ彼等ハヤッテ居ル、斯様ナ事ヲ尋常ノ犯罪ト見做スノデアアルカ、之ニ就テハ政府ハ如何様ナル責任ヲ執ル考デアアルカ否ヤ、此三點ニ付テ御質問ヲ致シタノデアリマスルガ、只今

ノ説明デハ私ノ質問ニ對シテ全ク要領ヲ得テ居ラナイ、モウ一度御説明ヲ願ヒタイ

○議長（粕谷義三君） 若槻内閣總理大臣（國務大臣若槻禮次郎君登壇）

○國務大臣（若槻禮次郎君） 暴行事件其モノハ只今申上グル通り、窓硝子ヲ毀シテ損害二千圓前後ノモノヲ致シタト云フコトデアリマス（ソナナ事デヤナイ）「謹聽」ノウウト呼フ者アリ、事實ハ其通りデアリマス、併ナガラ……

○議長（粕谷義三君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（若槻禮次郎君） 矯激ナル思想ヲ持ッテ居ル者ガ斯様ナ暴行ヲシタト云フ事柄ハ、只ノ者ノ暴行致シタヨリモ、政府ハ嚴重ニ之ヲ見テ居ルノデアリマス、第二ノ御質問ノ監視廳ガ此事實ヲ知ルコトガ遅レタト云フ點、是モ亦私ハ東君ト同様ニ、其間ニ於テ遺憾ノ點ガアルト思フノデアリマス（其責任ヲドウスル）ト呼フ者アリ（所轄ノ警察署カラ……）

○議長（粕谷義三君） 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣（若槻禮次郎君）（續） 此事件ヲ監視廳ニ通知スルコトガ遅レマシテ、監視廳ノ當局ガ此事件ニ接觸スルコトノ遅レマシタコトハ前ニ申上ダマシタ通り、私モ警察ニ於テ手落ガナイトハ申上ダヌノデアリマス、其點ハ遺憾ナル事デアッタ、斯ウ申スノデアリマス、唯併シ東君ガ觀察セラレルガ如ク、此事件ガ革命ノ初歩ノ如ク御考ニナルノハ、是ハ私ハ左様ニハ見テ居ラナイノデアリマス（拍手）決シテ左様ナ事デアアリマセヌ、併シ斯様ナ事件ガ内務省所管ノ警察官署ノ管轄内ニ起リマシタコトニ付テハ、内務大臣トシテ深ク私ハ責任ヲ感ジテ居ルト云フコトハ申上ダタノデアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君） 東武君

○東武君 甚ダ度々質問ヲ致シテ恐縮デアリマスガ、私ハ此事ハ極メテ重大ト見テ居ル、ソレヲ窓硝子ノ損害ガ千二百圓トカ二千圓トカ、數十人ノ人間ガ隊ヲ組ンデ暴行シタト云フ、唯、一場ノ事トハ考ヘテ居ラナイ、然ルニ只今内務大臣ノ御答辯ハ、是

ガ何モ左様ナ危険ナモノデハナイト云フコトノ解釋デアリマスガ、此解釋ハ私トハ見當ガ違フ、全然違フノデアル、若シ普通ノ暴行デアッテ、唯、窓硝子ヲ毀シタト云フノナラバ、本員不肖ナカラ茲ニ議會ノ壇上ニ立ッテ質問ハ致サヌノデアリマス、ケレドモ此事ハ黒色青年聯盟ト云フモノハ、既ニ思想ニ於テ、我が帝國ニ存在スル各種ノ思想團ノ中ニ於テハ、最も危險ナル思想ヲ持テ居ル、彼等ハ無政府團ヲ稱シテ居ル、無政府團ト稱シテ國家ノ秩序ヲ根本カラ破壊スルト云フ思想ニ立ッテ居ル團體デアル、故ニ此問題ハ吾々非常ニ重要視シテ居ルノデアルガ、内務大臣ノ御答辯デハ左様ニ危険ニハ感ジナイ、普通ノ尋常犯ト同ジヤウニ考ヘテ居ラレルカ、此點ヲ明ニ致シタイ者アリ

○議長(粕谷義三君) 東武君
○東武君 若シ内務大臣ノ只今マデノ御答辯デ盡キテ居ルト云フコトノ御趣意ニ依ッテ、更ニ私ノ質問ニ對シテ答辯ガ無いナラバ、更メテ司法大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○議長(粕谷義三君) 江木司法大臣
(國務大臣江木翼君登壇)

○國務大臣(江木翼君) 只今東君カラ御尋ニナリマシタ第一點、此事件ヲ如何ナル事件ト見ルカト云フ點ニ付テ、私ハ御答ヲ致シタイト思ヒマス、此事件ハ只今内務大臣ヨリ述ベラレマシタ通りノ事件デアルト大體ニ見テ居リマスルガ、未ダ司法警察官ノ手ヨリ檢事ノ手ニ移ッテ居ラヌノデアリマス、而シテ檢事ガ此事實ヲ十分ニ調査シテ其意思ガ何レニ在ルカ、其犯罪事實ト意思トノ連絡ハ如何ニアルカト云フコトヲ十分ニ究メマシタ後ニ、始メテ此事件ガ如何ナル事件ナルカト云フコトガ決マルノデアリマス、今日ノ場合ニ於キマシテ、如何ナル職權ヲ持ッテ居ル者ト雖モ、檢事以外ニ此事件ニ對シテ斷案ヲ下ス者ハ私ハナイト信ズルノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 海原清平君ヨリ議事進行ニ關スル發言ヲ求メラレマシタ、此點

ニ關聯シテ居ルサウデアリマスカラ、其發言ヲ許シマス、海原清平君

○海原清平君 議事進行ニ付テ一言議長ニ御尋フシテ、此場合明ニ致シテ置キタイト云フ一事モアリ、合セテ只今政友本黨ノ清水市太郎君並ニ政友會ノ東武君、兩名ヨリ續々説明サレマシタ此事案、之ニ對スル若槻内相ノ答辯ハ、唯、反對黨側ノ質問ニ係ル事項デアッテ、出來得ル限り此場面ヲ切抜ケレバ宜シイ(違フ)違フト呼フ者アリ(其危險ノ由テ來ル所ハ、吾々政黨政派ノ問題デハナイ(ヒヤ))即チ全國民ノ治安維持、身體生命、財產ニ關スル重大ナル問題デアル、故ニ此問題ヲ解決シ、此問題ニ對スル答辯ヲスルニ當テハ、唯、憲政會出身ノ閣僚デアアルガ故ニト云フ觀念ヲ棄テ、等シク國民ノ立場カラシナケレバナラヌ、然ルニ先刻來ノ御答辯ヲ拜承スルト云フト、警察ニモ多少ノ手落ガナカタデモナイトカ、或ハ懲戒處分ニスル程ノ程度デモナイトカ、色々ノ程度デ、問題ノ責任ノ歸著點ハ唯、一警察當局ヲ以テ(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○海原清平君(續) 足レリトセラレテ居ルヤウデアアル、是ガ甚ダイカヌ、故ニ此若槻内相ノ答辯ニ對シテ私ハ更ニ質問ヲ致サウト致シタ所ガ、議長ハ慣例ニ依ッテ豫メ通告ガナケレバイカヌ、然ルニ其緊急質問ナルモノハ、所謂成規ノ下ニ緊急ニ提出サレタ質問デアアル、隨テ此質問ニ對シテ政府當局ガ如何ナル答辯ヲスルカト云フコトハ、豫メ承知スルコトハ出來ナイ、故ニ此答辯ヲ聽イタ上デ、重ネテ此質問ニ關聯スル質問ヲ致スト云フコトハ、當然ノ事デナクテハナラヌ、故ニ若シ議長ニ於テ唯、先例デ云々ト云フコトナラバ此際特ニ御一考ヲ煩ハシテ、何卒緊急質問ニ對スル再質問ハ、其時ノ政府當局ノ答辯如何ニ依ッテ許シテ宜シイ、斯様ナル御取扱ヲ特ニ御願致シタイ、是ガ爲ニ一言致シマス

○議長(粕谷義三君) 海原清平君ヨリ議事進行ニ關スル發言ヲ求メラレマシタ、此點

ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 少々御待テ下サイ、マダ許シマセヌ——只今海原君ヨリ議長ニ對シテ御要求ガゴザイマシタ、先刻海原君ヨリ政府ノ答辯ニ關聯シマシタ更ニ質疑ノ御發言ガアリマシタ、此時ニ於テ私ハ先例ナキノ故ヲ以テ此發言ヲ御斷リ致シタノデアリマスルガ、更ニ能ク調査致シテ見マスルト、サウ云フ場合ニハ矢張其發言ヲ許シテ居リマス、唯、(其通り)ト呼フ者アリ

唯、第四十四議會ノ當時、各派ノ交渉ニ於キマシテ、成ベクサウ云フ質疑ノ發言ハ差控ヘルコトニシヤウト云フヤウナ申合ガア、タノデアリマス、議長ハ此事ヲ記憶致シテ居リマシタ爲ニ、遂ニ只今ノ海原君ノ發言ヲ許サナクツヤウナ次第デアリマス、併ナガラ議長ノ考ト致シマシテハ、矢張此先例ニアリマスルガ如ク、斯ノ如キ場合ニ於テハ、他ノ議員諸君ニモ其發言ヲ許スノガ相當ナリト考ヘルノデアリマス(ヒヤ)故ニ私ハ是ハ此發言ヲ許スコトニ致シタイト考ヘルノデアリマス(議長公平ニヒヤヒヤト呼フ者アリ)海原君、何カ御質問ガアリマスカ

○海原清平君 只今御尋致シタ點ハ、議長ノ御答辯ニ依ッテ明瞭致シマシタ、同時ニ其以前ニ當テ、東武君カラ兩三回ニ互ニ重ネテ御質問ガアリマシテ、私ノ間ハント欲スル所ノ質問ノ要旨ハ盡キマシタカラ、此場合質問ヲ止メマス

(田淵豐吉君)議長、此席上カラ一言述ベタイト呼フ)

○議長(粕谷義三君) 向ホ議事ノ進行ニ關シテハ、田淵君ヨリ只今通告ガゴザイマシタガ、其前ニ高見之通君ヨリモ通告ガアリマス、此場合ハ已ムヲ得ズ先ツ高見之通君ノ發言ヲ許シマス

(高見之通君登壇)

○高見之通君 諸君、議事ヲ圓滿ニ進捗致シマスルニ付キマシテハ、此議會ノ最も重要ナル關係アル所ノ憲法、其他議院法ニ關シテ十分ナル諒解ト意見ノ統一ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレニ付テ政

府當局、特ニ若槻總理ノ御答辯ヲ得タイコトガアリマス、ソレハ一日ノ議場ニ於キマシテ、小川平吉君ヨリ質疑ノ御演說ガアリマシタ、其小川君ノ御演說ノ冒頭ニ於テ前内閣ノ施政ノ全部ニ付テ、前内閣ニ於テ負擔セラルベキ所ノ責任ハ、總テ現内閣ニ於テ御負擔ニ相成ルベキモノト考ヘマスルガ如何カト云フ質疑ガアリマシタ、之ニ對シテ若槻總理ハ、前内閣ノ行ハレマシタ政治ニ付テハ、現内閣ハ悉ク其責任ニ任ズルモノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、此御答辯ノ意氣ハ壯烈デアリ、又勇氣愛スベキモノガアル、併ナガラ責任ト云フ此意味ハ、憲法ノ第五十五條ノ所謂國務大臣輔弼ノ責任タルヤ間違ナイト思フノデアリマスルガ、單純ニ政治道德上ノ責任ノ意味ニアラズシテ、憲法上ノ責任ト解シテ居ルノデアリマスルガ、果シテサウデアアルカ否ヤ先ヅ承リタイノデアリマス、而シテ若槻總理ハ此責任ヲ繼承シ、全然御負擔ニナルト云フコトノ意味ハ、國務大臣責任ノ觀念ハ、聯帶シテ責任ヲ負フト云フコトノ觀念ハ、モウ一ツハ前内閣ノ内務大臣デ居ラレタト云フコトノ理由カラシテ、責任ヲ御負擔ニナルト云フコトニナッタノデアラウト思フノデアリマス、若モサウデアリマシタナラバ、前々内閣ノ責任ヲ若槻總理ハ全部御繼承ニナルノデアアルカ否ヤ承リタイ、前々内閣ノ責任ヲ御繼承ニナリ、又全部御負擔ニナルト云フコトデアアルナラバ、前々内閣ト前内閣ハ其出發點ニ於テ、即チ前々内閣ハ護憲三派ノ内閣デアリ、前内閣ハ憲政會ノ單獨内閣ト云フコトノ點ニ於テ、責任ヲ負擔スルコトノ上ニ於テ、疑義ガ生ゼヌカト思フノデアアル、若シ又前々内閣ノ責任ヲ負ハナイト云フコトニナリマスルナラバ、加藤總理ハ、天下ニ聲明シテ居ラル、如ク、加藤内閣デアアル三派ニ大命ガ降下シタノデハナイ、加藤内閣デアアル、加藤高明一個ニ大命ヲ降下セラレテ、茲ニ適材ヲ御推薦申上ゲテ内閣ヲ組織シタノデアルト仰セラレテ居ルノデアリマスカラ、加藤内閣デアルト云フコトニ於キマシテハ、前々内

閣、前内閣、少シモ異ル所ハナイ、而シテ内務大臣ハ前々内閣ノ内務大臣デアリ、前内閣ノ内務大臣デ居ラレマシタ故ニ、此意味ニ於テ前々内閣ノ責任モ全部御負擔ニ相成ルベキモノカト思フノデアリマス、此點ハ重要ナル憲法上責任論ノ、而モ學說紛々トシテ分レテ居ル責任論ニ對シテ非常ナル關係ガアルト思ヒマスルカラ、前々内閣ノ責任ヲ如何ニ御負擔ニナルカト云フコトニ付テ、若槻總理ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 責任論ガ憲法ナリ其他總テ議院法等ニ基イテ申シテ居ルコトハ當然デアリマスガ、ソレト共ニ小川君ノ御質問ハ政治家トシテ責任ヲ負フカト云フ、政治家トシテ輔弼ノ責任ヲ一其時ノ輔弼ノ責任ヲ今日モ負フカト云フ、政治家ノ政治道德ニ付テ御尋ニナタト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウデアリマセヌデ、内閣ガ更ニタナラバ、其後ノ内閣ハ前ノ内閣ノ責任ヲ負フモノナリヤ否ヤト云フヤウナ抽象的ノ御尋デアリマス、ソレニハ過日御答シタヤウナ簡單ナ御答ヲスルコトハ出来ヌノデアリマス、前加藤内閣ハ唯、加藤首相ガ薨去セラレタメデ、外ノ閣員ハ皆現内閣ノ閣員ト同様デアリマス、ソレテアリマスカラ、私ハ政治家ノ德義トシテ、前内閣ニ於テ輔弼ノ責任ニ任ジテ居タコトハ、總テ私共モ是ガ責ヲ負ウテ、何事デモ政治家トシテノ責任ハ負ヒマス、斯ウ云フ意味ノ御答辯ヲシテ居ルノデアリマス、前々内閣ニ於テモ私ハ閣員ノ一人デアリマシタ、ソレ故ニ内務當局トシテ私ノ責任ヲ負ヒ責任ハ、前々内閣ノ時代ノモノデアリマシタモ、悉ク私ハ之ヲ負フノデアリマス、同時ニ前々内閣ノ國務大臣デアリテ今日尙ホ閣内ニ在ル人ハ、矢張前々内閣ノ場合ニ於テ其輔弼ヲ申上ゲタコトニ付テハ、固ヨリ政治家ノ德義トシテ責任ヲ負ハル、コト、私ハ考ヘテ居リマス

○田淵豐吉君 議長ニ一寸御尋シマス、今同交會ノ海原君ガ演說ナサッタガ、アレハ

議事進行デヤラレタノデスカ、普通ノ發言デアリマシタカ、議長ハ議事進行ト認メテ許サレタノデスカ、議事進行ノ名ヲ以テ許シタト云フノデアルト一寸オカシイト思フ、第二ニハ只今ノ發言ハ議事進行以外ト私ハ思フガ、議長ハドウ思ハレマスカ、第三ハ議長ハ多數黨ト無所屬トニ依ッテ、規則ヲ狹義ト廣義トニ解釋シテ、無所屬ニハ狹義ニ解釋シテ許サヌガ、多數黨デアルガ爲ニ廣義ニ解釋シテ許シテ、堂々ト其討論ヲヤラセテモ宜シイノデアルカ、即チ吾々ニ對シテハ非常ニ峻嚴ニ狹義ニ解釋シテ、多數黨ニ對シテハ廣義ニ解釋スルノデアルカ、此三點ニ付テ明確ナル答辯ヲ戴キタイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 田淵君ニ御答致シマスガ、先刻海原君ノ議事進行ノ御發議ノ中ニハ、田淵君ノ御疑問ノ點モアツタヤウデアリマスガ、併ナガラ結局議長ニ對シテ御尋ニナタコトデアリマスカラ、議長ハ之ニ對シテ御答ヲ致シマシタ、而シテ更ニ海原君ニ發言ヲ許シタノデアリマス、只今田淵君ハ甚ダ議長ノ處置ガ無所屬其他ノ諸君ニ對シテ——少數ノ諸君ニ對シテ寬嚴宜シキヲ得テ居ラヌト云フヤウナ御尋ガアツタヤウデアリマスルガ、議長ハ決シテ左様ナ不公平ナ考ヘ持ッテ居リマセヌ、唯、此事ヲ申シテ置キマス

○田淵豐吉君 議事進行ニ付テ海原君ニ許シタノデアリマスカ、ソレダケ……

○議長(粕谷義三君) 御答致シマス、前ニハ議事進行ニ付テ許シタノデアリマス、後ニハ更メテ其前ノ發言ヲ許シタノデアリマス——是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一、日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——濱口大藏大臣

第一 日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案 第一讀會 (政府提出) 日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係

債務ノ整理ニ關スル法律案 第一條 政府ハ日本興業銀行、臺灣銀行及朝鮮銀行(以下三銀行ト稱ス)ヲシテ左ノ各號ノ借款前貸及借款ニ關シ其ノ負擔スル債務ノ整理ヲ爲サシムル爲ニ銀行ニ對シ本法ノ定ムル所ニ依リ國債證券及現金ヲ交付ス

一 三銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年六月十八日契約ノ吉會鐵道借款前貸一千萬圓、大正七年九月二十八日契約ノ滿蒙四鐵道借款前貸二千萬圓及山東二鐵道借款前貸二千萬圓

二 中華匯業銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年四月三十日契約ノ有線電信借款二千萬圓及大正七年八月二日契約ノ黑吉兩省金鑛森林借款三千萬圓ノ資金調達ノ爲ニ爲シタル三銀行ノ同行ニ對スル借款

第二條 本法ニ依リ三銀行ノ整理スヘキ債務及其ノ金額ハ左ノ各號ニ定ムルモノトス

一 第三回政府保證興業債券二千萬圓、第四回政府保證興業債券三千萬圓、第五回政府保證興業債券未貸二千二百萬圓、第八十一回興業債券四百六十七萬圓ノ元利支拂ニ必要ナル金額

二 前號ノ外第一條ノ借款前貸及借款ニ關シ三銀行ノ負擔シタル金額四千二百二十五萬三千五百圓

第三條 政府ハ三銀行カ第四回政府保證興業債券及第八十一回興業債券ヲ直ニ買入償還スル爲ニ必要ナル金額ニ相當スル償額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

第四條 政府ハ三銀行カ第三回及第五回政府保證興業債券ヲ其ノ償還期ニ於テ償還スル爲ニ必要ナル金額ニ相當スル償額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

其ノ負擔額ニ應シ交付ス

前項ノ規定ニ依リ國債證券ヲ交付スル迄政府ハ前項ノ興業債券ノ利子支拂ニ必要ナル金額ヲ其ノ支拂期ニ於テ三銀行

ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ現金ヲ以テ交付ス

第五條 政府ハ三銀行カ第二條第二號ニ規定スル債務ヲ直ニ整理スル爲ニ必要ナル償額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス

第六條 政府ハ本法ニ依リ三銀行ニ交付スル爲ニ一億四千四百萬圓ノ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲ニ必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行スルコトヲ得

第七條 本法施行後三銀行カ中華民國政府又ハ中華匯業銀行ヨリ第一條ノ借款前貸及借款並左ノ各號ノ借款ニ關シ元利金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ政府ニ納付スヘシ

一 第一條ノ借款前貸ニ關シ三銀行ト中華民國政府トノ間ニ成立シタル大正十二年六月二十八日ノ利拂借款七百九十九萬七千八百一十一圓八十錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款五百二十八萬六千八百二十圓五十一錢及大正十四年七月十五日ノ利拂借款五百三十萬圓

二 第一條ノ借款ニ關シ三銀行ト中華匯業銀行トノ間ニ成立シタル大正十一年一月十五日ノ利拂借款百十萬二千五百圓、大正十二年十月二十四日ノ利拂借款五百五萬三千九百九十五圓九十八錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款六百六十八萬二千九百十六圓七十一錢及大正十四年四月十六日ノ利拂借款二百十八萬四千九百五十五圓二十九錢

三 第一條ノ借款前貸及借款並前二號ノ借款ニ關シ本法施行後成立スルコトアルヘキ借款

政府ハ必要アリト認ムルトキハ三銀行ヲシテ前項ノ元利金ノ納付ニ代ヘ借款前貸又ハ借款ニ關スル權利ヲ無償ニシテ政府ニ讓渡セシムルコトヲ得

第八條 三銀行ハ第一條各號及前條各號

ノ借款前貸及借款ニ關スル一切ノ事項
ニ付政府ノ指揮命令ヲ受ケヘシ

第九條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ
交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之
ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣濱口雄幸君登壇)

○國務大臣(濱口雄幸君) 只今議題トナリ
マシタル日本興業銀行外二銀行ノ對支借款
關係債務ノ整理ニ關スル法律案ニ付テ大體
ノ說明ヲ致サウト思ヒマス、茲ニ大正七年
寺內內閣ノ當時成立致シマシタル所ノ對支
那政府諸借款ノ中、交通、銀行借款、參戰
借款及兵器代借款ノ三ツノモノヲ除キマシ
タル所、他ノ五ツノ借款、即チ有線電信借
款二千萬圓、吉會鐵道借款前貸一千万圓、
黑古金鐵道借款三千萬圓、滿蒙四鐵道借
款前貸二千万圓、山東二鐵道借款前貸二千
萬圓、合計一億圓ト云フモノハ日本興業銀
行、臺灣銀行、朝鮮銀行ノ三銀行カラ直接
ニ、又ハ中華匯業銀行ヲ經由致シマシテ、
支那政府ニ貸付ケタモノデアリマス、然ル
ニ此借款資源ノ調達ニ付キマシテハ、政府
ハ之ニ多大ノ援助ヲ與ヘマシタ、即チ借款
資源タル一億圓ノ興業債券ニ對シテハ、大
正七年第四十回帝國議會ノ協賛ヲ經マシ
テ、政府ニ於テ是ガ元利拂ノ保證ヲ致シマ
シタルノミナラズ、其發行差額額ヲ補填ス
ルガ爲メ、大藏省預金部ハ別ニ八百萬圓ノ
興業債券ヲ引受ケテ三銀行ニ融通シタルノ
事實ヲ存スルノデアリマス、然ルニ右一億
圓借款ノ經過ヲ見マスルニ、借款元本ノ償
還期限ノ到來シタルモノガアリマス、ケレド
モ、一トシテ其償還ヲ受ケタルコトガナ
ク、又利子ニ付キマシテモ現金ノ受入レノ
アリマシタルハ極メテ小部分、而モソレハ主
トシテ借款資源資金ノ一部ヲ振替充當シタ
ルモノデアリマス、即チ大部分ノ利子ハ延
滞ヲ重ネマシテ、或ハ之ヲ利拂借款トシテ
書換整理ヲシマスル等、姑息ノ手段ヲ講ジ

テ今日ニ及シテ次第デアリマス、今此三銀
行カ一億圓借款ニ關シテ、支那政府ニ對シ
テ有スルニ至リマシタル所ノ債權額ノ大正
十四年十二月末現在ヲ示シマスレバ、元借
款ガ一億圓、利拂借款三千三百餘萬圓、未收
利息五百餘萬圓、合計一億三千八百餘萬圓
ノ巨額ニ上リテ居ルノデアリマス、然レテ三
銀行ノ狀態如何ヲ見マスルニ、其業務上右
一億圓借款ニ關サレタル所ガ甚ダ大ナルモ
ノガアルノデアリマス、蓋シ此三銀行ハ既
ニ申述ベマシタル如ク、支那政府ノ借款元
利ノ支拂ガ延滞ヲ致シ、現金ノ受入レノナ
イニ拘ラズ、借款資源トシテ發行致シマシ
タル所ノ興業債券ニ對シマシテハ、是ガ元利
ノ支拂ヲ確實ニ履行シナケレバナラナイ地
位ニ立テ居ルノデアリマス、元金ニ付テハ
債權ノ償還期限ガ到來致シマスル毎ニ、
政府ノ保證ノ下ニ借替興業債券ヲ發行致シ
マシテ、償還資金ヲ調達スルコトガ出來マ
シタケレドモ、利子ノ支拂並ニ經費ノ支拂
ニ付キマシテハ、三銀行ハ其資金ニ充ツル
ガ爲メ大正十二年大藏省預金部カラ千三百
萬圓ノ融通ヲ受ケマシタル外、全部自行ノ
一般資金ヲ之ニ充當スルノ外ニ途ガアリマ
セヌ、其金額ハ最近マデニ二千數百萬圓
ニ及シタリマス、而シテ是等ノ興業債
券以外ノ調達資金ニ付キマシテモ亦利子ノ
支拂ヲ爲サナケレバナラヌノデアリマス、カ
ラ、是ガ爲メ此三銀行ノ負擔ハ累年増加ヲ
見ルノデアリマシテ、現狀ノ推移致シマ
スレバ、右借款資源ニ對スル所ノ利子ノ負
擔額ハ年々累増ヲ致シマシテ、大正二十二
年ニ至リマスレバ、年額二千萬圓ヲ超過ス
ル計算トナリマシテ、到底三銀行ノ負擔シ
得ザル所デアルト云フコトハ、説明ヲ要シナ
イノデアリマス、此對支借款整理ノ方策ト
致シマシテハ、債務者タル支那政府ヲ督促
ヲ致シ、借款元利ノ支拂ヲ確保スルコト云フ
コトハ、固ヨリ當然ノ措置デアリマス、ケ
レドモ、同國財政ノ現狀ニ於テ、俄ニ所期
ノ目的ヲ達スルコトハ困難デアリマス、偶
昨年十月關稅特別會議ノ開催ヲ見ルコトニ
相成リマシテ、外債整理ノ問題ニ曙光ヲ認

ムルコト、ナリマシタケレドモ、果シテ如
何ナル時機ニ如何ナル程度ニ於テ、右借款
元利ノ回收ヲ確保スルコトガ出來ルカト云
フコトハ、俄ニ豫斷シ難イ所デアリマシ
テ、隨テ此故ヲ以テ財界整理ノ一大障礙タ
ル所ノ本問題ヲ、未整理ノ儘ニ放任スル譯
ニハ行カナイノデアリマス、即チ政府ハ借
款成立當時ノ事情及是ガ資源調達ノ沿革ニ
照シ、又三銀行ノ窮狀及一般財界ノ狀態ガ、
本件ノ解決ヲ此上遷延スルコトヲ許サナイ
モノガアルニ鑑ミマシテ、茲ニ是ガ整理ノ
方策ヲ講ズルコトニ決心ヲ致シタ次第デア
リマス、今回政府ノ提案致シマシタル所ノ整
理方法ノ大要ヲ申述ベテ見マスレバ、先ヅ
三銀行ノ債務ノ中デ、預金部ノ引受保有ニ
係ル所ノ興業債券現在額三千四百餘萬圓、
預金部ノ指定預金三千三百萬圓、並ニ三銀行
ノ本年度末マデノ自行資金充當額二千七百
餘萬圓、是等ハ明年度初メニ之ヲ償還又ハ
決済セシムルガ爲メ、是ガ所要ノ資金ニ相當
スル所ノ五分利公債ヲ三銀行ノ交付スルコ
トニ致シ、殘餘ノ公債ニ係ル所ノ興業債券
二千萬圓及米貨ノ分二千二百萬圓ニ付キマ
シテハ、償還ノ到來ノ都度是ガ償還ニ充テ
シムルガ爲メ、三銀行ニ對シマシテ所要資金
ニ相當スル五分利公債ヲ交付スルノデアリ
マス、而シテ右公債ニ係ル所ノ興業債券ノ
償還ニ至リマスマデノ期間中ハ、其利子支
拂所要額ニ相當スル元金ヲ、利子支拂期ニ
於テ三銀行ニ交付スルコトニ致ス計畫デア
リマス、右ノ案ニ依リマス公債ノ交付ハ、
大正十五年度カラ十八年度ニ亙リ、其總額
時價一億四千二百餘萬圓、現金ノ交付モ大
正十五年度カラ十八年度ニ亙リ、其總額七
百餘萬圓デアリマス、終リニ本案實行後ニ
於ケル政府ト三銀行トノ關係ニ付キマシテ
ハ、政府ハ特ニ必要アル場合デナケレバ、
三銀行ノ對支借款關係ノ權利ヲ承繼致シマ
セヌ、三銀行ハ依然トシテ支那政府又ハ中
華匯業銀行ニ對シマシテ、債權者タルノ地
位ヲ存續セシメ、其代リ右公債及現金ノ交
付ニ對スル代償ト致シマシテ、將來支那政
府又ハ中華匯業銀行カラ、此借款關係ノ元

利ノ支拂ヲ受ケタルトキハ、直ニ之ヲ政府
ニ納付セシムルコト、致シタルデアリマス、
以上ハ本案ノ大體ノ說明デアリマス、
尙ホ詳細ノ說明ハ委員會ニ讓ルコトニ致シ
タイト考ヘマス、何卒御審議ノ上速ニ御協
賛アラントヲ希望致シマス(拍手)
○藤澤幾之輔君 只今ヨリ豫算委員會ヲ開
キタイト思ヒマス、委員ノ諸君ハ御參集ヲ
願ヒマス
○議長(柏谷義三君) 本案ニ對シテ質疑ノ
通告ガアリマス、柏田忠一君
(柏田忠一君登壇)
○柏田忠一君 只今大藏大臣ヨリ御說明ニ
ナリマシタル西原借款ノ整理ニ關スル法案デ
アリマスガ、之ニ對シマシテ私ハ二三ノ質
問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、本
借款ガ從來支那ト善隣ノ關係ヲ結ブ上ニ於
テモ、或ハ又支那ニ對シテ實業家ガ投資ス
ル場合ニ於キマシテモ、非常ナル障礙トナ
テ居ルノデアリマシテ、是ハ實業家カラシ
テ黑雲ト稱サレテ居ルノデアリマス、此黑
雲ガ排除セラレザル限り、對支政策、或ハ
對支實業ノ發展ト云フコトハ到底期セラレ
ナイノデアリマス、是ヲ排除シテ初メテ支
那ニ關スル事業ノ發展、或ハ光明ヲ見ルコ
トガ出來ルコト云フノハ、是ハ一般財界ノ希
望スル所デアッタノデアリマス、デ私共モ此
法案ガ出マシテ、是ガ整理ノ一日モ早カラ
ンコトヲ希望スルノデアリマス、ケレドモ、
單ニ是ガ政府關係ノ半官ノ三銀行、特殊銀
行ニ限ラレテ居ルト云フ點ニ付テハ、多少
ノ私モ疑問ガアルノデアリマス、第一、其法
律的ノ根據ニ付テ疑問ガアル、是ハ三銀行
ハ、只今大藏大臣ノ說明ニ依リマシテモ、
債權者ハ依然トシテ三銀行デアアル、政府ガ
別ニ代リテ債權者ニ爲ルノデハナイト云フ
御話デアリマス、ケレドモ、併ナガラ政府ハ
事實ニ於テ公債ヲ發行シテ肩代リヲスル、
元利拂ノ保證ト云フ、之ニ捉ハレマシテ
其保證ノ責ヲ果サナケレバナラヌ、斯ウ云
フ御話デアリマスガ、併シ一億三千八百萬
圓、之ヲ政府ガ其元ノ保證ニ鑑ミマシテ、
責任ヲ果スト云フ御話デアリマス、ケレド

モ、現内閣ハ整理緊縮ノ内閣デアッテ、斯ウ云フ支那政府ノ如キヲ相手トシ、或ハ中華匯業銀行ト云フガ如キ、其營業狀態ハ到處將來モ中ニ發展シサウニモナイノデアリマス、連モ取レナイト思ハレル此支那政府並ニ現狀整頓ハザル所ノ中華匯業銀行ヲ相手トシテ、將來是等カラシテ返還ヲ受ケルト云フコトハ、到底私ハ望ミ得ナイト思フノデアリマス、是等ノ二ツノモノヲ擔保ト致シマシテ、政府ハ此緊縮ノ——整理緊縮ノ現内閣ガ、將來此回收ヲ夢ルト云フコトハ、私ハ實ニ其放漫政策ニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、先以テ唯、單ニ三銀行ニ對シテ勸業債務ヲ發行スル保證ヲシタト云フノミ根據シテ、今日政府ガ此法案ヲ提出シタト致シマスルナラバ、私ハ連帶責任ノ關係ニ政府ガ立ツコトニナリハセスカト思フノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ法律的ニ疑問ガアルト思フノデアリマス、ドウシテモ三銀行ガ先以テ支那政府ニ對スル債權ヲ實行シテ、ドウシテモ取レヌト云フ時ニ、始メテ政府ガ其保證ノ責ニ立ツベキモノデアッテ、三銀行ノ整理ガ中途デアルト云フ名ノ下ニ、自ラ其責ヲ負フト云フコトハ、保證債務、整理債務ト云フ方面カラ見マシテ、私ハ現内閣ト基ダ所見ヲ異ニスル者デアリマス、此點ニ對スル大藏大臣ノ説明ヲ求メマス、次ニ大藏大臣ハ昨年ノ秋デアリマス、全國取引所交換所ノ大會ニ於テ御演說ヲ爲サテ居ルノデアリマス、其際ニ三銀行ニ肩代リヲシテ整理ヲスルト云フ理由トシテ、第一ニ三銀行ガ對支借款ノ當事者ト爲テ居ルノハ、銀行固有ノ性質カラ來タノデアリナシ、銀行ノ營業ノ行爲カラシタモノデハナクシテ、是ハ其當時ノ寺内内閣ノ對支政策ノ遂行ノ道具ニ使ハレタモノデアリ、斯ウ認メナケレバナラナイ、第二ニハ然ルニ其後ノ經過ヲ見ルト、三銀行並ニ財界ノ現狀ハ、到底之ガ遷延ヲ許サナイノデアリカラ、之ガ銀行ノ基礎ヲ鞏固ニスルガ爲ニ、ドウシテモ此際一般財界ノ將來ノ爲ニ整理ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ御演說ヲ爲サテ居ルノデアリマス、果シテ然リ

トスルナラバ、三銀行ガ其固有ノ營業的見地カラ離レテ、政府ノ對支政策遂行ノ道具トナテ、銀行本來ノ責任ヲ離レテ、サウシテ斯ノ如キ行動ヲ爲シタトスルナラバ、是ハ銀行ガ非常ニ輕率ト謂ハナケレバナラス、無責任ト謂ハナケレバナラスノデアリマス、此點ヲ認メテ置イテ、監督官廳タル大藏大臣ガ之ヲ認容シテ、其尻ヲ持ツ、尻ヲ拭テヤルト云フコトハ、私ハ甚ダ大藏大臣ト致シマシテ——緊縮一點張ノ現内閣ト思フテハ、甚ダ其政策ニ矛盾スルモノデアルト思フノデアリマス、若シモ只今ノ御演說ノ如クニ、支那政府ノ現狀ガ、斯ノ如ク、關稅會議ノ將來モ到底底ヲ測ラレヌト仰セニナリマシタガ、サウスレバ到底ハ急ニハ回收ガ出來ナイ、斯ウ云フ事ヲ御認メニナルト思フノデアリマス、回收ガ出來ナイト云フ理由ノ下ニ之ヲ救済スルト云フナラバ、是全ク寺内内閣當時ノ放漫政策ト同罪ナリト私ハ思フノデアリマス、(馬鹿ナ事ヲ言フナ)ト呼フ者アリ、又是ガ回收ガ出來ルト云フ御見込デアルトスルナラバ、何ヲ苦シデ一億三千八百萬圓モ出シテ之ヲ救済スルノ必要ガアリマス、何レニ致シマシテモ支那カラ回收ガ出來ナイ、回收ガ出來ナイト云フモノヲ救済スルト云フコトハ、私ハ實ニ此寺内内閣當時ノ放漫政策ト同罪タルヲ免レヌト思フノデアリマス、第三ニハ三銀行ノ救済ヲ以テ能事終レリトスルカ、此點デアリマス、政府ハ一般財界ノ救済ノ爲ニ、ドウシテモ是ガ遷延ヲ許サナイト云フ御演說アルノデアリマス、而シテ第二ニハ支那ニ對スル投資ノ關係上、一日モ忽セニスルコトガ出來ナイト云フ御話ノヤウニ承リマシタ、果シテ然リトスレバ、此特殊銀行タル——政府ガ株ヲ澤山持テ居ル此三銀行ニ止メテ、或ハ中日實業會社、或ハ東亞興業株式會社ノ如キ、現在意氣息奄々ト致シマシテ、到底將來事業ヲ繼續スルコトガ困難ナル狀況ニ在ルモノハ、是ハドウスル御考デアルカ、是等モ或ル場合ニハ政府ノ對支政策ヲ助長スル意味ニ於テ、支那ノ借款ニ應ジテ然ルノデアリマス、又對支政

策ノ遂行上ノミナラズ、支那ニ向ッテノ發展上カラ見マシテモ、從來永イ間支那ニ向ッテ大ナル貢獻ヲ爲シテ居ルノデアリマス、是等ノモノニ對シテハ何等顧慮スルコトナク、特ニ此三銀行ニ對シテ一億三千八百萬圓ト云フ巨額ノ救済ノ資金ニ充テ、額ミナイト云フコトハ、是ハ一體他カラ非常ナシ平ガ出ルデアラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラバ、カ、例ヘバ東亞興業會社ニ致シマスレバ、政府ニ對シテ出シタ資金ハ確カ一千五百萬圓デアリマス、其中ノ七百五十萬圓ハ南京鐵道ノ借款ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ昨年ノ六月ト思ヒマス、其利息ノ延期ヲ許シテ居ル、利息ノ延期ダケデハ同會社ハ到底將來營業ガ永續スルコトハ出來ナイノデアリマス、更ニ進シテ積極的ノ救済ヲ爲サル、御意思ハナイカドウカ、第四ハ政府ノ所謂對支政策ノ犧牲、或ハ外交ノ懸引ノ犧牲ト爲タ所ノモノデアアルカラシテ、ドウシテモ是ハ救済ヲシテヤラナケレバナラスト云フ御考アルトスルナラバ、此三銀行ノミナラズ例ヘバ漢口、長春、上海其他特ニ揚子江沿岸ニ於テサウデアリマス、幾多ノ同胞ガ永イ間辛苦艱難ヲシテ蓄積シタル財ヲ、或ル場合ニ於テハ動亂ノ爲メ、或ル場合ニ於テハ排日運動ノ爲メ、非常ナ慘害、損害ヲ被ッテ居ルト云フコトハ、是ハ明カナ事デアリマス、若シモ對支政策ノ犧牲トナッテ居ルノ援助スルト云フ意味デアアルナラバ、ドウシテ是等ノ第一戰線ニ立ッテ居ル數方ノ實業家乃至同胞ヲ救済シナイノデアアルカ、更ニ最後ニ私ハ御伺ヒシタイノハ、今日突如トシテ之ガ救済案ヲ出シタノハ、其以後ニ於テ、例ヘバ華盛頓會議ニ於テ、將來ハ支那ニ向ッテ政治借款ハ許サナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、私ハ此西原借款ハ經濟借款ナリト思フノデアリマス、今日政府ガ肩代リヲシテ、一億三千八百萬圓ト云フモノヲ負擔スルコトニナレバ、恐ラク世間ハ——而シテ世界ハ此時ヨリシテ日本ノ此經濟借款ガ、政治借款ノ意味ヲ多分ニ含ムモノトナリハ

セマカト云フ疑ノ眼ヲ以テ見ラレル虞ハ無イカドウカ、是ハドウシテモ恐ラク將來ニ於テ起キル問題デアルト思フノデアリマス、今日之ヲシナケレバナラスト云フ理由ハ無イト思フト同時ニ、之ヲ若シモ政府ニ於テ斷行セラレルナラバ、或ハ對露貿易ノ帳尻、對露借款ノ帳尻等ハ、是ハ如何ニナサルノデアリマスルカ、此三銀行ニ止メテ、將來露西亞關係ガ起ッテ來マシタ時ニハ、ドウ云フ理由ヲ以テ之ヲ御防ギニナルカドウカ、此點デアリマス、最後ニ大藏大臣ハ、確カ四十六議會デアッタト思ヒマス、當時在野黨ノ一員ト致シマシテ、高橋内閣ニ對シテ、此整理ノ方案ガ出マシタ時ニ、斯ノ如キモノハ決シテ是ハ整理スベキモノデアリナシト云フ御意見ヲ此壇上ヨリ御述ベニナッテ、反對ヲセラレテ居ルノデアリマス、爾來僅ニ數年、如何ニ財界ガ變化シタカハ知リマセヌケレドモ、今日其當時、四十六議會ニ於テ御述ベニナッテ御意見ト今日ト、ドウシテサウ急激ニ變化サレテ、豹變シテ此法案ヲ出サレタノカ、此點ニ對スル藏相ノ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス、最後ニ外務大臣ニ御伺ヒシタイノデアリマス、從來例ヘバ去年ノ支那ニ於ケル紡績ノ大「ストライキ」等ニ於キマシテ、幾多ノ我が在支同胞ガ非常ナル損害ヲ被ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ此法案ト關聯シ、或ハ將來之ニ類似ノ法律ヲ以テ、是等在支同胞ノ損害ヲ救助スル等ノ御意思ハ無イカドウカト云フ點ニ付テ御伺ヒスルノデアリマス(拍手)

(國務大臣濱口雄幸君登壇)

○國務大臣(濱口雄幸君) 只今柏田忠一君ヨリ、本案ニ付テ數箇條ノ御質問ガアリマシタ、私ニ對シテノ御質問ニ對シテハ、是ヨリ順序ヲ逐ウテ御答ヲ致ス積リデアリマス、第一ニ此借款整理ノ法律上ノ根據如何ハ、即チ政府ガ此度一億圓借款ヲ整理スルト云フ法律上ノ根據ハ、政府ガ興業債券ニ對シテ、元利拂ノ保證ヲ致シテ居ルト云フ點ニ存スルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、御說ノ通り興業債券ノ元利拂ニ對

シテ、政府ハ保證ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此度政府ガ此借款ノ整理ヲ計畫致シマシタ所以ノモノハ、必シモ左様ナル法律上ノ根據、保證債務ノ理論ノミカ體ヲ出發シタモノデハアリマセヌ、是ハ全體ノ我財界ノ整理、其財界ノ整理ニ密接ナル關係ノアル所ノ三銀行ノ整理、其點カラ主トシテ出發ヲ致シ、ソレニ加フルニ本借款成立當時ノ事情ト、並ニ借款資源タル興業債券ニ對シテ、非常ナル所ノ援助ヲ與ヘテ居ルモノデ、大體ノ整理ハ、單純ナル法律上ノ理由ノミデハナイノデアリマス、第二ノ御質問ハ、三銀行ハ此借款ヲスルニ當テ相當ナル所ノ責任ヲ有シテ居ルベキ筈デアル、殊ニ私ガ議場外ニ於ケル所ノ演説、即チ交換所ノ大會ニ於ケル所ノ演説ヲ引用サレマシテ、三銀行ガ此借款ヲ支那政府ニ對シテ致シタモノハ、即チ當時ノ内閣ノ對支政策遂行ノ道具トナッタモノデアル、其具ニ供セラレタ結果デアル、然ル以上ハ、三銀行ト雖モ、此借款ヲ起スニ付テハ重大ナル責任ガアルデハナイカ、其責任ヲ問ハズシテ、此度カハラザル所ノ費用ヲ投ジテ此借款ノ整理ヲ圖リ、國民ノ負擔ニ移スト云フコトハ、政府ノ標榜シテ居ル所ノ整理緊縮ノ方針ニ反シハシナイカト云フ御質問ノ要點デアルト思ヒマス、私ハ此場合ニ於テ、出來得ル限り其當時ノ内閣ノ責任、並ニ三銀行ノ責任ト云フコトヲ、此壇上ニ於テ政府ノ當局トシテ深ク論ズルコトヲ好マナイノデアリマス（拍手）其責任ヲ詳論スルコト云フコトニナリマス（拍手）甚ダ面白カラザル結果ヲ内外ニ及ボスト考ヘマス（ニ依テ）（拍手）願クハ出來得ル限り其責任ヲ追窮スルコトハ避ケタイト考ヘマス、其責任ノ如何ニ拘ラズ、免ニ角斯様ナル所ノ事態ガ現ニ存在シテ居ル、其存在ヲ致シテ居ル所ノ事態ノ爲ニ此特殊銀行タル所ノ三銀行ノ整理ハ非常ナル窮狀ニ陥テ居ル、其窮狀ニ陥テ居ルト云フコトヲ其儘放任致シテ置キマス（拍手）此三銀行ノ任務ヲ盡スコトガ出來ナイノミナラズ、遠カラズシテ破綻ノ悲境ニ陥ルノデアラツト云フコトヲ私ハ恐レル、固ヨリ民間ノ株式會社——二ツヤ三ツノ株式會社ガ倒産ヲ致シマシテモ、ソレガ一般ノ財界ニ何テ重大ナル影響ヲ及ボス廣ガ無イト云フコトデアリマス（拍手）政府ハ何ヲ苦ンデ

斯様ナル案ヲ出シマセウ、私ハ此三ツノ特殊銀行ノ整理如何ト云フコトガ、一般財界ノ整理ニ向テ非常ニ重大ナル關係ガアルト云フコトヲ深ク考慮致シマシタ結果、茲ニ意ヲ決シテ此整理案ヲ出シタ譯デアリマス、其時ノ責任ヲ深ク論ズルコト云フコトハ、政府ノ此場合好マナイ所デアリマス、其次ノ御質問ハ、此借款ハ回收ガ出來ルト思フカ、或ハ出來ナイト思フカ、若シ回收ガ出來ルナラバ、今日整理案ヲ出ス必要ガ無イデハナイカ、今日回收ガ出來ナイモノデアラハ、是ハ永ク國民ノ負擔ニ殘ルデハナイカ、斯ウ云フ意味ノ御質問デアッタヤウデアリマス、申スマデモナク從來トモ此借款ノ元利ノ回收ニ對シマシテハ、歷代ノ内閣ハ相當ノ努力ヲ拂テ居タノデアリマス、併ナガラ今日ニ至ルマデ未ダ其目的ヲ達スルコトハ出來ナカッタ、此度支那ニ特別關稅會議ガ開カレマシテ、此會議ニ於テ我ガ政府ハ、此外債整理問題ニ對シテ十分ナル努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、隨テ政府ノ主張ガ圓滿ニ解決セラレテ、此借款ノ元利ノ回收ガ極メテ圓滿ニ意ノ如ク完成セシコトヲ無論希望ハ致シマス、ケレドモ今日ノ狀態ニ於テ果シテ如何ナル形式ニ於テ、如何ナル時期ガ出來ル、如何ナル程度ニ於テ此元利ノ回收ガ出來ル、ト云フコトヲ斷言スルハ甚ダ早計デアラウト考ヘマス、隨テ將來ニ向テ此元利ノ債權ガ回收サレルコトヲ希望ヲ致シ、且ツ期待致シマス（拍手）其時期ヲ宣言スルコト云フコトハ、我ガ財界ノ實狀ガ之ヲ容サナイノデアリマス、今日ノ財界ハ整理ノ途中ニアリマス、而モ其整理ノ途中ニ在ル狀態ハ、速ニ進捗ヲ致シ、此整理ガ完了ヲシナイト云フコト、何時マデ經テマシテモ帝國ノ經濟界ハ回復達ノ域ニ達スルコトハ出來ナイ、其途中ニ於テ此借款ノ整理ヲ放任致シテ置キマス結果トシテ、若シ三銀行ガ不幸ニ致シテ破綻ヲスルト云フ如キ結果ニ陥リマシタ時ニ於テハ、此一般ノ財界ノ整理恢復ト云フコトハ、恐ラク逆轉ヲ致シ、收拾スベカラザル狀態ニ立至ルデアラウト云フコトヲ政府ハ非常ニ憂慮スルモノデアリマス、ソレ故ニ支那政府ニ對スル所ノ借款ノ元利ノ回收ガ速ナランコトヲ希望シ、之ニ向テ金融ノ努力ヲ拂フコトハ勿論デアリマス、ソレト相伴テ今日ノ財界ニ處スル爲、又三銀行ノ窮狀ヲ救フガ爲ニ、取急イ

デ此借款整理ト云フコトハ極メテ喫緊ナル要務デアルト云フコトヲ深ク信ズルノデアリマス、其次ニハ救済ト云フコトハ何故ニ三銀行ノ限ルノデアルカ、更ニ一步ヲ進メテ今日實業會社、東亞興業會社ノ窮狀ニ立至リテ居ルト思フガ、ソレ等ノ會社モ何故救済シナイカト云フヤウナ御質問ノ要點デアッタト思ヒマス、是ハ全然問題ガ違ヒマス、此借款ニ關係致シマスル所ノ銀行ハ右三銀行デアリマス、其他ノ支那ニ關係ノアル所ノ會社ハ、私ハ順境ニ在ルトハ考ヘマセウガ、其整理救済ハ自ラ此度ノ問題トハ別問題デアリマス、此度ハ一億圓借款ノ整理ニ關係シマスル案ノミヲ出シマシタ、他ノ會社ノ問題ニ至リマシテハ、全然別箇ノ問題ト政府ハ考ヘテ居リマス、其次ハ此三銀行ヲ救済スルコト云フ政府ノ趣旨ガ、當時ノ内閣ノ對支政策遂行ノ基礎ニナッタ云フニ在ルナラバ、其他ニモ尙ホ對支政策遂行ノ基礎ニシテ居ルデハナイカ、何故ニ之ヲ救済シナイカト云フ御質問デアッタヤウデアリマスガ、只今ノ問題ハ私ハ全ク是ハ本問題トハ別ノ問題デアルト考ヘマス、果シテ對支政策ノ基礎ト爲タモノガアルヤ否ヤ、其數ガドレ位ニナツテ居ルカ、其程度ガドレ位ニナツテ居ルカト云フコトハ私ハ此場合ニ於テ御答スル限リデアリマス、若シサウ云フモノガアリト致シマシテモ、ソレハ此借款問題トハ全然關係ナイ事デアリマス、其次ノ御質問要旨ハ、私ニハ十分了解ガ出來ナカッタノデアリマスガ、對露借款ノ關係ヲ御述ベニナリマシタ、若シ御質問ノ要旨ガ、戰爭當時ニ於キマシテ當時ノ露國政府ニ對シテ我國ガ持テ居ル所ノ債權、其債權ノ整理問題デアルト假定スルナラバ、其債權ノ整理ハ既ニ前議會ニ於テ御協賛ヲ經マシテ、所謂臨時國庫證券ノ特別會計ハ之ヲ廢止致シ、一般會計ニ併合致シテ居リマス、若シ其他ノ意味デアラト來テ居ル譯デアリマス、若シ其他ノ意味デアラトスルナラバ、私ノ或ハ間違ヒデアッタカモ知レマセウ、十二分ニ御質問ノ要旨ヲ了解スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、最後ノ御質問ハ、私ガ在野時代ニ於テ此一億圓借款ニ關係ヲ致シマシテ、當時場ニ於テ論ジマシタル其態度ニ付テ、ソレヲ引用セラレ、今日ノ態度ト其當時ノ態度トハ違テ居リハセヌカ、同一デアアルカト云フ

ヤウナ意味ノ御質問デアッタヤウデアリマス、此一億圓借款ノ問題ニ付キマシテハ、屢、當議場ニ於テモ現ハレ、或ハ委員會ニ於キマシテモ現ハレタル所ノ問題デアリマシテ、私其當時在野黨ノ一人ト致シテ、此問題ニ付テ意見ヲ申シタコトモデアリマス、又質問ヲ致シタコトモデアリマス、併ナガラ未ダ會テ此對支借款ノ整理問題ト云フモノニ對シマシテ、反對ヲ致シタ記憶ハ無イノデアリマス、何トナレバ寺內内閣ノ當時ニ於テ此借款ヲ起シマシテ、今日ニ至ルマデ既ニ七八年ノ星霜ヲ經過致シテ居リマス（拍手）モ、未ダ會テ對支借款整理ノ問題ノ議場ニ現ハレタコトハナイノデアリマス、從來トモ速ニ此整理案ガ現ハレテ、此問題ヲ片付クコトヲ吾々ハ希望シテ居リマシタケレドモ、今日マデ未ダ整理案ハ政府ニ依テ提案ヲサレナカッタノデアリマス、隨テ私ガソレニ對シテ反對ヲ致シタコトモアリマセウ、贊成ヲスル會議モ得ナカッタノデアリマス、實ハ政府ト致シマシテモ、此對支借款ノ整理問題ヲ當議會ニ提案ヲ致シマシテ、六千萬ノ國民全體ニ向テ、少イ時ハ七百萬圓、多イ時ハ一千萬圓以上ニモ上ルト云フ如キ負擔ヲ賴ムト云フヤウナ態度ニ出ルト云フコトハ、甚ダ遺憾千萬ハ、未整理ノ當デ何時マデ放任シテ置クハ、經濟上極メテ重大ナル時期デアリマス、此重大ナル時期ニ善處致シ、速ニ本問題ノ整理ヲ行テ、恰度山田君ノ御説ノ通り、支那ニ對スル投資ノ妨害トモナツテ居リ、又内地ノ一般經濟界ノ整理スルガ爲ニハ、斯ノ如キ方法ニ出ルトハ執ルベキ途ガ無イト云フコトヲ深ク考ヘマシタルガ故ニ、難キヲ忍ビ此法律案ヲ提案ヲ致シ、此整理ノ結果國民ノ負擔ニ移スト云フコトハ、海ニ已ムヲ得ナイ次第ト考ヘタ譯デアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス（拍手）

○議長（粕谷義三君） 幣原外務大臣（國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇）

○國務大臣（男爵幣原喜重郎君） 只今山田君ノ私ニ對スル御質疑ハ、今閣ノ開稅會議ニ於キマシテ、本案ノ三銀行ノ對支借款ノ整理ト云フコトガ問題ニナルノデアレバ、之ト同時ニ從來支那ニ於ケル各種ノ

本邦人ノ被害事件ニ對スル賠償問題モ解決スル意思ハ無イカト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシテ、政府ハ今回ノ關稅會議ニ於キマシテ、關稅附加稅ノ増徴ニ基キマスル支那政府ノ收入ノ増加ノ使途ニ付キマシテハ、其一部ハ政費ニ充テル、其政費ノ一部分ノ中ニハ斯ノ如キ外國人ノ被害事件ニ對スル損害ノ問題モ含メタリト云フ意圖ヲ持テ居リマス、是ハ日本タケデハアリマセヌ、外國ノ關係ニ於キマシテモ、同様ノ被害事件ニ對スル賠償問題デアルノデアリマシテ、列國ノ中ニモ同様ノ意見ヲ持テ居リコトヲ承知致シテ居リマス、併ナガラ只今マデノ關稅會議ノ進行ニ微シマシテ、此問題ガ如何ニ解決シマスルカ、マダ斷言ハ致シ難ル次第デアリマス、政府ノ意向トシテハ、斯ノ如キ被害事件ノ損害賠償問題モ解決致シタイト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○選舉
○作問掛逸君 本案ハ議長指名、特二十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタリ 次ハ日程第三、簡易生命保險法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 逕信大臣安達君

第三 簡易生命保險法中改正法律案 (政府提出) 第一讀會
簡易生命保險法中改正法律案
第四條中「三百五十圓」ヲ「四百五十圓」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
○國務大臣(安達謙藏君登壇) 私ハ今茲ニ議題トナリマシタ、簡易生命保險法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ述ベヤウト考ヘマス、本案ハ簡易生命保險ノ保險金額ノ現行法中「三百五十圓」トアルノヲ「四百五十圓」

ニ改正セントスルモノデゴザイマス、簡易生命保險ノ創業ハ大正五年デゴザイマシテ、爾來十年ノ間ニ非常ナリ發達ヲ遂ゲマシテ、今ヤ契約ノ件數ハ八百萬件、又契約金額ハ昨年ノ十二月月初旬ニ就テ二十億圓ヲ超過スルノ盛況ヲ呈シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク急激ニ發達普及致シマスル所以ノモノハ、此保險制度ガ恰モ一般國民、所謂多數民衆ノ生活ヲ安定スル上ニ於テ、能ク時代ノ要求ニ合致シタルモノアルガ爲デアルト信ジテ居リマス、而シテ過去十年間ノ實績ニ付テ見マスルモ、唯單ニ普及ノ著シキリマシテ、保險金額モ亦年々増加シテ居リマシテ、大正六年度ノ新契約ト、大正十三年度ノソレトヲ比較シテ見マスルト、平均一縣ノ保險金額ハ五割餘ニ増加ヲ致シテ居リマス、尤モ此傾向ハ民營ノ普通保險ノ方ニアリマシテモ、同一デゴザイマシテ、大正六年大正十二年トヲ比較致シマスレバ、八割餘ノ増加ヲ致シテ居リマス、斯ノ如ク官業ノ簡易保險モ、民業ノ普通保險モ平均保險金額ノ著シク増加シツ、アルト云フコトハ、是レ國民生活程度ノ向上、物價勞銀ノ騰貴、保險思想ノ普及等種々様々ナル社會事情ノ變遷ニ伴フ自然ノ結果デアルト云フコトハ勿論デゴザイマス、隨テ此自然ノ趨向ニ對應致シマシテ、一般ノ需要ヲ充ス爲ニハ、保險金ノ最高制限額ヲ適當ニ引上グルノ最モ必要ナルヲ感ズルノデアリマス、仍テ各方面ノ事情ヲ綜合シ、慎重ニ考慮、調査、研究致シマシタ結果、其制限額ヲ四百五十圓程度ニ引上グルコトガ、最モ適當デアルト信ジテ居リマス、尙ホ民間普通生命保險會社ニ於キマシテハ、營業上ノ都合ヨリシテ、少額ノ契約ヲ取扱フコトハ必シモ得策デゴザイマセヌ、即チ募集費ガ嵩ミマシテ、採算上引合ハナイカラデアリマス、現ニ五百圓未滿ノ新契約ハ最近ハ激減シテ甚ダ少イデアリマス、隨テ現在ニ於キマシテハ、簡易保險ノ普通保險ト間ニ隙ガアリマシテ、三百五十圓以上四百圓以下、又ハ四百五十圓程度ノ保險加入希望者ニ對シマシテハ、其希望ヲ充ス能ハザル狀況ニ在ルノデアリマス、就キマシテハ簡易保險ノ制限額ヲ四百五十圓ニ引上グルコトハ、此制度上ノ缺陷ヲ補ヒ、社會ノ需用ニ應ジ、保險事業全體ノ健全ナル發達ヲ圖リ得ルノ結果トモナルノデアリマス、是等ノ理由ニ依リマシテ、茲ニ此改正

案ヲ提出シタノデアリマス、之ニ依テ一層簡易保險ノ本來ノ趣旨タル中産階級以下ニ對スル老後、又ハ死後ノ用意ヲ十分ナラシメ、以テ國民生活ヲ安定シ、社會組織ノ健全ナル發達ヲ圖ラントスルモノデアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ特利委員會ニ於キマシテ、私及政府委員ヨリ説明致シ積リデゴザイマスカラ、何卒十分御審議ノ上、御協賛アラントコトヲ切望致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 質疑ヲ許シマス、石坂豐一君 簡單デスカラ此席カラ本案ニ付キマシテ、一、逕信大臣ニ伺フテ見タリト思ヒマス、簡易生命保險ノ規定ニ依リマス、保險契約二箇年以内ニ於キマシテハ、災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ニ依ルモノ、外ハ給與シナイコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレ等以外ノ者ハ二箇年ヲ經過スルニ非ザレバ、金額ヲ給與シナイノデアリマス、是ニ於テ不都合ヲ見マスルコトハ、傳染病豫防法第一條第一項ニ該當スル傳染病、即チ、「コレラ」デアリマスルトカ、「ジフテリア」其他總計十種ノ傳染病ガ第一條第一項ニ於テ規定サレテ居リマス、而シテ第二項ニ於キマシテ、內務大臣ハ傳染病豫防ノ必要アル場合ニ於キマシテハ、其以外ノ病氣ト雖モ之ヲ傳染病ナリト指定シ得ルノデアリマス、又斯様ナル傳染病ガ全國ニ相當多イヤウニ考ヘルノデアリマス、現ニ吾々ノ郷里ニ於キマシテモ、十種ノ傳染病以外ニ於キマシテ、二種類バカリノ傳染病ガ指定サレテ居ルノデアリマス、然ルニ其傳染病ニ該當スルモノハ一年以内ニ死亡スル場合ニ於テ、他ノ十種ノ傳染病ニハ金額ヲ支給スルニ拘ラズ、此內務大臣ノ指定セラレテ居ル傳染病ニ依テ死亡シタル者ハ、金額ヲ給與ヲ受ケルコトヲ得ナイノデアリマス、之ニ就テ政府ハ其必要ヲ感ジテ居ラナイノデアリマセウカ、又左様シテモノハ極メ稀ナル例デアラウカラ、拋棄シテ置イテモ宜シイト云フ御考デアリマセウカ、又政府ニ於カレマシテ此點モ考慮セラレテ、適當ノ機會ニ御改正ニナル御意思デアラカ、此點ヲ逕信大臣ニ御伺シタイノデアリマス、又第二點ト致シマシテ、只今逕信大臣ノ説明セラレタル如ク、本法ハ實施後十箇年ヲ經過致シマシテ、非常ニ長足ノ進歩ヲ致シテ居リマスル此間ニ於テ、最初二百五十圓デアタモノヲ三百五十圓ト

シ、今又四百五十圓トセラレルノデアリマスガ、斯様ニ刻ミニ刻ミナリデ、此場合ニ於テ或ハ六百圓トカ、或ハ七百圓トカト云フ適當ノ額ニ、之ヲ百尺竿頭一歩ヲ進メテ考ヘナイノデアリマスカ、此二點ニ付テ安達逕信大臣ノ御辯明ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ今一ツ本邦ト植民地トノ關係ニ付テ承テ置キタイノデアリマス、逕信大臣ノ御説明セラレタル如ク、本法ハ我國ニ於テ實施後非常ニ好成績ヲ現ハシマシテ、今日ニ於キマシテハ、金額ニ於キマシテ十億圓ヲ突破シテ居ルコト云フコトデアリマス、此制度ハ我國ニ於キマスル所ノ社會制度ノ先驅ヲ爲シテ居ルモノデアリマス、又其成績モ極メテ顯著ナルモノデアリマス、斯様ニ致シマスレバ、單リ内地府縣ニ止ラズ、朝鮮、臺灣及樺太等ニ之ヲ實施スル御意思ハナイノデアリマセウカ、今日ニ於キマシテ關東廳並ニ南洋廳ニモ之ヲ實施セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ朝鮮、臺灣、樺太ニハ此實施ヲ見テ居ナイ、朝鮮、臺灣、此兩植民地ニ付キマシテハ風俗、習慣及生活ノ狀態ヲモ異ニシテ、先住民族ノ多數アルコトデアリマスカラ、是等ノ關係上相當ノ御調査ヲ要セラレルコトモアリマセウ、又此二大植民地ハソレレ、特別ナル簡易生命保險ノ特別會計ヲ維持セラレル所ノ方法モアリマセウ、此點ニ付テハ總督ニ於テモ十分御調査ノ上デ、或ハ別ナル特別會計ヲ御立テニナル御考カ知レマセウカ、樺太ニ至リマシテハ到底獨立ナル特別會計ヲ以テ簡易生命保險ヲ維持スルコトガ出來ナイ、故ニ先年來簡易生命保險法ヲ延長致シテ、之ヲ樺太ニ實施スルコト云フコトノ調査ヲサレマシテ、既ニ大正十二年頃カラ之ヲ實施スル運ビニナツテ居タリト信ジテ居リマス、然ルニ其後之中止セラレマシテ、現在ニ於テハ何等是ノ御實施ニナル所ノ御見込ガ立テ居ナイヤウデアリマスカ、此點ニ關シテ總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、私ハ第五十議會ニ於キマシテ、所管ノ政府委員ニ之ヲ質問シマシタ所、目下進行中デアルト云フ辯明ヲ得テ居ルノデアリマス、所管ノ樺太廳ニ於キマシテハ、本法實施ノ必要ヲ認メラレタルコトハ、信ジマスガ、其實施ヲ見ナイ所以ノモノハ、中央政府ニ於テ種々ノ差障リガアルノデハナイカ、併ナガラ是等ノ差障リハ總理大臣ノ一令ノ下デ解決シ得ル問題デアリマス、故ニ此法律ヲ實

施スル意思ガアルカナイカ、此點ヲ承テ見
タイノデアリマス

○國務大臣安達謙藏君登壇

○國務大臣(安達謙藏君) 只今石坂君ノ御
質問ノ傳染病ニ關シマスルコトハ、是ハ保
險専門ノ學者ガ寄リマシテ、サウシテ研究
ニ研究ヲ重ネタ結果、元來ガ無審査保險デ
アリマスカラ、現在ノヤウナ規定ヲ致シテ
居ル次第デアリマス、ソレカラ金額ノコト
ハ、御尤ナ御尋デゴザイマシテ、民間デハ
五百圓ニセヨ、或ハ千圓ニセヨ、千五百圓
ニセヨト云フヤウナ希望モアルコトハ承知
致シテ居リマス、併シ御承知ノ通り此簡易
保險ハ無審査保險デアリマス爲ニ、餘リニ
金額ヲ増シマス、死亡率ガ嵩ム虞ガアリ
マス、即チ現在ノ簡易保險ノ死亡率ハ、統計
局デ調べマシタ國民ノ死亡率ノ二割タケ加
ヘテ、サウシテ簡易保險ノ死亡率ヲ決メテ
居リマス、是ハ金額ガ増シマス、其率ニ
變化ヲ來ス虞ガアリマス、是ハ基礎ニ關ス
ル問題デアリマスカラ、輕々ニ増額ハサレ
ナイツノ原因デアリマス、ソレカラモウ
一ツハ、保險局デ專門ニ此保險ヲ扱テ居
ル人ノ意見ヲ徵シマスル、現在ニ於キ
マシテハ四百五十圓以上ニ増加スルノ必要
分ダ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソ
レカラモウ一ツハ只今申シマシタ通り、此
民間ノ普通ノ保險ト、ソレカラ簡易保險ト
ノ間ニハ空聞ガアル、此度ハ此空聞ノ所ヲ
補充シタイト云フ希望デアリマシテ、五百
圓或ハ五百圓以上ニナリマス、普通保險
ノ方デ非常ニ多數ノ件數ガアルヤウデアリ
マスカラ、強テ此所デ民業ト競争スル、或
ハ脅威ヲ試ミルヤウナコトハシタクナイ、
保險業ハ幸ニ先年來民業ト官業ト非常ニ仲
好クシテ共ニ俱ニ保險思想ノ普及宣傳ヲ爲
シテ居ル今日デアリマスカラ、矢張現狀ヲ
維持シテ行キタイ、斯ウニ云フ希望ヲ持テ
居リマス、ソレカラ植民地ノ事ハ只今御話
ノ通り、殊ニ石坂君ハ樺太廳ノ事ハ御經驗
ガアルコトデアリマスカラ、色々御尋ノ事
ニ付キマシテハ調査ヲシテ居リマシテ、樺
太方面ノ如キハ御意見ノ通りニシタイト云
フ希望ヲ持テ居ル次第デアリマス、尙ホ
委員コトニ致シマス

○議長(粕谷義三君) 右議案ノ審査ヲ付託

スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉
○作問耕逸君 本案モ亦議長指名、特ニ十
八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス
○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニ御異
議アリマセカ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

第五 大正十四年勅令第二百四十五號
(承諾ヲ求ムル件) (牛ノ傳染性肋膜炎)
肺炎ノ防遏ニ關スル件 第一讀會
大正十四年勅令第二百四十五號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ
牛ノ傳染性肋膜炎ノ防遏ニ關スル件ヲ
裁可シ之ヲ公布セシム
御名 御璽
攝政大臣
大正十四年七月二日

內閣總理大臣 子爵加藤 高明
陸軍大臣 宇垣 一成
海軍大臣 財部 彪
外務大臣 男爵原喜重郎
內務大臣 若槻禮次郎
文部大臣 岡田 良平
鐵道大臣 仙石 貢
大藏大臣 濱口 雄幸
司法大臣 小川 平吉
農林大臣 野田卯太郎
逓信大臣 岡崎 邦輔
安達 謙藏

勅令第二百四十五號
地方官家畜傳染病豫防上必要アリト認
ムルキハ牛ノ傳染性肋膜炎ニ感染シ
タル虞アル牛ニ付其ノ所有者又ハ保管者
ニ對シ之ヲ殺スコトヲ命スルコトヲ得
前項ノ牛ニ付テハ之ヲ牛疫ニ感染シタル
虞アル牛ト看做シ家畜傳染病豫防法ヲ適
用ス但シ同法第四條ノ規定ハ此ノ限ニ在
ラス
第一項ノ規定ハ家畜傳染病豫防法ノ適用
ニ付テハ之ヲ同法第五條第一項ノ規定ト
看做ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
○國務大臣(早達謙藏君登壇)
大正十四年勅令
第二百四十五號承諾ヲ求ムル件ノ提出ニ關
スル理由ヲ說明致シマス、大正十四年五月
二十八日ニ、大阪市ニ牛ノ傳染性肋膜炎
ガ發生致シマシテ、京都、兵庫、岡山、滋
賀ノ各府縣下ニ更ニ發生ヲ致シ、益々蔓延
ノ兆ヲ示シタノデアリマス、然ルニ本病ハ
本邦内地ニ於テハ初メ侵入シタル牛ノ傳
染病デアリマシテ、緊要果斷ノ處置ヲ講ズル
ノ必要ガアルコトヲ認メマシタルガ爲ニ、
同年七月三日帝國憲法第八條ニ依リマシテ
此勅令ヲ發布シテ、此病ノ防遏ニ關スル規
定ヲ設ケタノデアリマス、此緊急勅令ノ趣
意ハ、牛ノ傳染性肋膜炎ニ感染シタル虞
アル牛ニ付キ、其所有者又ハ保管者ニ對シテ
之ヲ殺スコトヲ命スルコトヲ得ルノ規定デ
アリマスカラ、其他ニ之ニ關スル取締ノ規
定モ加ハツテ居ルノデアリマス、爾來此勅
令ニ依リマシテ防遏ニ努メマシタル結果、
最近ニ於キマシテハ、其發生ガ稍、減退ス
ルニ至ツタノデアリマス、然レドモ、本
病ノ撲滅ニ資スル爲ニハ、尙ホ此勅令ノ效
力ヲ存スル必要ガアリマスカラ、茲ニ是ガ
承諾ヲ求ムル次第デアリマス、何卒御審議
ノ上、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマ
ス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ別ニ
質疑ノ通告ガアリマセヌ、日程第六、右議
案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト
致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉
○作問耕逸君 本件ハ議長指名、特ニ九名
ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シ
マシタ

ル外交主義デアラウト思ヒマスルガ、若モ支那ガ裏面ニ於テ英米ト握手ヲシテ、日本ニ不利ヲ與ヘルモノトシタナラバ、是レ日支親善主義ニ悖ル行爲デアルト見ナケレバナラスノデアアル、政府ハ此場合ニ於テハ日支親善共存共榮ノ原則ノ下ニ、再び日本ノ互惠條約ノ提案ニ反對セシムルコト信ク、最惠條約ノ拂フベキモノデアルト信ジテ居リマスガ、其時ニ於テモ更ニ支那ガ他國ト結ビ、傳統的ノ夷ヲ以テ夷ヲ制スルハ、政府ハ果シテ如何ナル方針ヲ以テ之ニ處スル考デアアルコト云フコトヲ御伺スルデアリマス、更ニ關稅會議及互惠條約ガ首尾能ク成立スルニ至リマシテモ、釐金稅ノ撤廢ハ事實行ヒ得ルモノデアアルコト云フコトヲ御尋致シマス、佐分利委員ノ談トシテ昨紙ニ報ズル所ニ依リマスルト、支那ハ今日ニ於テ少クモ一億二千萬ノ關稅增收ヲ必要トシ、其用途ハ三千万ノ債務整理基金、釐金稅廢止、補填金、ソレカラ土木事業費トシテ三千万、殘リノ一千万ニ充ツルガ以テ中央政府ノ政費ニ充ツルガ故ニ、此高率ノ關稅増率ヲ必要トシタモノデアアルト、斯ウ云フコトガ新聞ニ出テ居リマスガ、此數字ニ於テモ少カラザル不安ヲ起ルノデアリマス、何トナレバ世上傳テ居ル範圍内ニ於テ、支那ノ中央政府ハ一箇年一億元位ノ政費ヲ要スルコトニナツテ居リマスガ、其收入ハ現在關稅、鹽稅、煙酒稅及印花稅並ニ北京附近ノ貨物稅ノ中ニ於テ、關稅ハ擔保トナツテ居ル爲ニ天引セラレ、以上各種ノ實收額ハ五六千萬ニ過ギナイト云フコトガ傳テ居リマス、然ラバ一箇年四五千万ノ不足ヲ生ズルガ故ニ、背ニ腹ハ替ヘラレナイ、各省ニ對スル釐金稅廢止ニ依ル補填金ノ不渡ニナル虞ガ裏ニ存在シテ居ルノデアリマス、諸君、若シ不幸ニシテ斯ノ如クナバ、各省ノ督辦又ハ省議會ハ更ニ釐金稅ニ代ルベキ所ノ稅ヲ設ケ、サウシテ外國ノ輸出品ニ課稅スルノ虞ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、若モ不幸ニシテ斯カル事實ヲ生ジタナラバ、支那ニ向テ年々三億圓内外ノ輸出ヲシテ居ル日本ノ貿易ハ非常ナル打撃ヲ被ムルコト、考ヘルノデアリマス故ニ、政府ハ此點ニ於テ實際的ニ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ豫防セントスルノデアアルコト云フコトヲ私ハ御伺スルノデアリマス、更ニ一件御伺致シマス

ガ、此關稅會議ノ前途ニ關スル條件デアリマス、本員ノ申ス迄モナク、現在ノ段祺瑞政府ト云フモノハ、要スルニ馮玉祥ト張作霖ト段祺瑞トノ三頭政治デアアル、此三人ノ提携ニ依テ出來タ所ノ政府デアルト思ヒマス、今ヤ馮玉祥ハ平地泉ニ隱退シテ居リマス故ニ、其後繼者ト見ルヘキ西北邊防督辦張子江、京畿警衛司令鹿鍾麟、河南督辦岳維峻、直隸督辦孫岳ノ如キ者ガアリマシテモ、是等ノ人々ハ段祺瑞政府ニ對シテ、將來シテ如何ナル態度ヲ執ルコト云フコトハ不明デアアルト私ハ思フノデアリマス、而モ他方ニハ關稅會議ニ絕對ニ反對シテ居ル吳佩孚ト張作霖トハ提携ガ成立シタト云フコトガ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、而シテ張作霖ハ保境安民ヲ第一義トシテ、山海關以南ニ手ヲ伸サントシタナラバ、政界ノ中心ハ再び直隸派ノ頭目デアアル吳佩孚ノ手ニ移ルコトハ實ニ略易キ道理デアアル、彼ハ固ヨリ此關稅會議ニ反對ト云フコトヲ以テ立テ居ル所ノ人間デアリマス、サウシテ又五省聯盟ノ主盟者タル即チ彼ノ孫傳芳ノ意見ヲ持テ居ルノデアアル、然ラバ近キ將來ニ北京ノ政權ハ恐ラクハ關稅反對者デアアル所ノ吳佩孚、孫傳芳ノ手ニ歸スルコト云フコトノ危險ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、段祺瑞政府ノ運命ハ殆ド風前ノ燈火ノヤウニ執ハ考ヘテ居リマス、然ラバ段祺瑞政府ニ依テ設ケラレタ此關稅會議ノ特別會議ノ繼續ガ、ドウナルコト云フコトガ根本ノ問題デアアル、是ニ於テ政府ハ支那ノ中央政界ガ變化シタ場合ニ於テモ、尙ホ關稅會議ヲ繼續セシメキ自信ト用意ガアルコト云フコトヲ御伺ヒスルノデアリマス、更ニ私ハ商工大臣、農林大臣ニ御尋テ致シマス、ソレハ羊毛政策ニ關スルコトデアリマス、大正十三年ノ統計ニ依リマスルト、我國ニ入テ來ル所ノ羊毛並ニ其製品ハ、羊毛ニ於テハ八千八百萬圓、毛織品ニ於テハ六千三百萬圓又毛織物ノ千二百萬圓、二億一千三百萬圓ト云フ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマス、毛織物ノ若用ノ段々流行スル今日ニ於テ、近キ將來ニ是等ノ品物ノ輸入ノ減少ヲ期スルコト云フコトハ困難デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアアル、即チ輸入ノ金額カラ申シマシタナラバ、食糧品ト稱同額デアアル、此羊毛ニ對スル政策ノ重要ナ

ルコトハ、殆ド食糧品ニモ負ケナイト云フ所ノコトガ現ハレテ居リマス、ソコニ於テ我國デモ北海道邊リデハ盛ニ綿羊ヲ獎勵シテ居リマスルガ、併ナガラ掛聲バカリ大キクテ現在日本ノ綿羊ハ僅ニ四五百萬頭ニ過ギナイト云フ狀態デアアル、之ヲ先輩國ノ獨逸ガ六千萬頭ヲ有スルコト云フ點ニ比較シマシテ、私ハ非常ニ心細サヲ感ズルノデアリマス、所ガ一部デハ日本人ハ牧畜人種デアリナイカラ、牧畜ナドハ進モ殖エナイ、斯ウ漠然ト言フ人ガアリマスルガ、私ハ爾ク信ジマセ、サウシテ又一部ノ人ハ曰ク、日本ハ特產品デアアル養蠶ヲ盛ニヤツテ居ルデアアル、ソレハ十億内外ノ年ニ輸出ランテ居ル以上ハ、此羊毛ノ缺ヲ補テ餘リアルト云フコトヲ論ズル人ガアリマス、是モ一理ガアルト思ヒマスルガ、併ナガラ此養蠶ヲヤラナイ北海道、樺太若クハ東北ニ於テ、此綿羊ヲ使用シ獎勵スル所ノ餘地ハ澤山ニ存在シテ居ルコト私ハ考フルノデアリマス、次ニ先程申シマシタ如ク政府ノ綿羊政策ハ一羊毛政策ハ全ク不徹底ノ極ニテ居ルノデアリマスルガ故ニ、若モ之ヲ自然ニ放任シテ置イタナラバ、羊毛及其製品ノ輸入ハ一箇年ニ三億、四億ニ達スルコト云フ虞ガアルノデアアル、是ハ日本經濟上ニ於テ海關ニ重大ナル問題デアアルト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ如何ナル方針ヲ以テ進マントスルノデアアルコト云フコトヲ御伺ヒスルノデアリマス、次ニ私ハ鐵ノ問題ヲ御伺致シマス、鐵ノ自給策ト云フコトニ付テハ、政府ニ於テ色々研究セラレテ居ルコトハ承知シテ居リマス、所ガ統計ニ依リマスルコト云フト、我國ノ鐵ノ需用高ガ百七十萬噸、之ニ對スル生産高ガ僅カニ七十萬噸、即チ約百萬噸ノ不足デアアル、之ヲ如何ニ自給スルコト云フコトノ問題デアラウト思ヒマス、或ハ關稅ノ引上ヲ主張スル者ガアリ、或ハ又生産者ニ對シテ補助ヲスベシト云フ說モアリマス、ソレ等モ皆御尤デアリマスガ、私ハソレヨリモ一ツノ根本ノ問題ヲ御伺シタイノデアリマス、專問家ノ說ク所ニ依リマスルコト云フト、日本ノ原礦石ハ其含有量ガ百分ノ五十以上ノモノハ少イ、之ヲ百分ノ七十以上ノモノノ支那ノ原礦石トハ到底比較ニナラナイ、殊ニ支那ハ勞銀ノ安イ關係カラ、日本若一噸約十圓内外ヲ以テ現ニ輸入ヲシテ居ルノデアアル、故ニ若モ日本ニ假令「バーセ

ンテージ」ノ高イ原礦石ガ無クトモ、支那ノ原礦石ガ安全ニ繼續シテ輸入スルナラバ何等憂フル所ハナイ、斯ウ云フコトヲ唱ヘル人ガアルノデアリマス、私モソレハ誠ニ御尤デアラウト思フ、即チ英國モ獨逸モ原礦石ニ付テ約五割ハ之ヲ輸入ニ仰イデ居リ、又白耳義ハ殆ド全部ヲ外國ノ輸入ニ仰イデ居ルノデアリマス、而モ此諸國ハ共ニ鐵ノ大ナル產國デアリマス、尤モ現在支那ノ安イ原礦石ヲ使用シテモ、外國品ノ壓迫ヲ受ケテ居ルノデアアルガ、ソレハ即チ當業者ノ力ヲ以テ色々立行ク途ヲ發見スルデアラウト思ヒマス、若モ支那政府ナリ、各省ナリノ方針ノ變更ニ因テ、此安價ノ原礦石ガ日本ニ輸入シナクナツタナラバ、即チ日本ノ此製鐵業ト云フモノハ立行ク根本ガ破壊サレルコトニナリマス、是ニ於テ政府ハ此支那カラノ原礦石ノ輸入ニ付テ或ハ政府ナリ、若クハ各省ナリ、或ハ鐵山主ト何等カノ契約ヲ結ンデ、將來永ク原礦石ヲ輸入ノ御方法ヲ立テ、居ルカドウカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス、次ニ私ハ北海道開拓ニ關スル事ヲ御伺致シマス、朝鮮產米増收計畫ハ、是ハ食糧政策上海ニ結構ナル計畫デアラウト思ヒマスルガ、同時ニ北海道ハ米產地トシテ朝鮮ニ劣ナイ所ノ立派ナ土地デアアルト云フコトヲ、内閣諸公ニ於テモ十分ニ了解ヲ願ハナクハナラスノデアアル、三十年前マデハ北海道ハ米ニ適シナイト云ウテ居リマシタガ、昨年度ノ實收ハ二百万石、現在北見或ハ根室ニ於テモ米產ガ十分ニ出來ルト云フコトガ證明セラレタノデアリマス、即チ北海道ガ近キ將來ニ於テハ變成セラレベキ百四十萬町ノ土地ノ中デハ、少クトモ五十萬町ノ田地ガ出來ルト云フコトヲ私ハ茲ニ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、而シテ現在北海道ノ水田ハ十三萬町、即チ尙ホ三十七萬町ノ水田ヲ得ル可能性ガ存在シテ居ルノデアリマス、政府ハ第二期拓殖計畫ハ大正十六年度カラ之ヲ實施スルコト云フコトヲ聲明サレタヤウニ承知ヲシテ居リマスルガ、是ハ固ヨリ間違ヒナイコト、私ハ信ジテ居リマス、ソコデ私ハ御尋シタイノハ、既ニ朝鮮ニ於テ產米増收計畫ガ立ツ以上ハ、此北海道ニ於テモ其趣意ヲ引用シテ土功組合、產業組合ニハ相當ノ負債ガアルマスルガ、ソレ等ニ向テ相當ノ低利資金ヲ融通スル途ヲ付ケテ貰ナケレバナラス、現在北海道ノ開拓ニハ北

海道ノ拓殖銀行ガ存在シテ居リマス、然ルニ其資金ハ缺乏シテ、五町歩ノ如ク其中一町モ水田ガアル者ニ向テ、僅ニ三百圓カ四百圓シカ貸サナイト云フコトノ狀態デアリマス、斯ノ如キ貧窮ナル資金ヲ以テ、ドウシテ此北海道ノ開拓ヲ促進スルコトガ出來マセウカ、是ニ於テ私ハ御伺シタイ、即チ此北海道拓殖銀行ノ増資スルカ、或ハ又社債ヲ募集スルナリ、免ニ角今少シ此資金ヲ豊富ニシテ、サウシテ北海道ノ開拓ヲ促進スル所ノ御意思ハナイカト云フコトヲ御伺致スノデアリマス、次ニ私ハ樺太ノ事ヲ一ツ御伺シタイ、一口ニ樺太ト申シマスレバ、人口僅ニ二十萬シカ居ラナイ處デアル、併ナガラ一度其天與ノ富源ヲ見タナラバ、實ニ北門ノ寶庫デアルト斷言シテ樺ラナイノデアアル、廣袤ヲ問ハバ即チ二千三百三十九方里、サウシテ人口ハ只今申シタ如ク二十萬三千五百餘人シカナイ、如何ニ將來多數ノ人口ヲ收容シ得ルカト云フコトハ、此數字ガ證明シテ居ルノデアアル、然ラバ山ハ悉ク荒山デアルカ、然ラズ、即チ土地ハ全部磯礫デアルカ、サウデハナイ、然ラバ海洋ニハ水族ハ居ラナイカ、否、澤山ニ居ルノデアアル、即チ山ニハ十數億石ノ山林ガアリ、又土地モ農耕適地ト好評サレタモノデモ、尙ホ二十方町歩存在シテ居ル、水族ノ豊富ナルコトハ世界屈指ノ漁場デアル、此簡單明瞭ナル數字ハ、樺太ガ如何ニ北門ニ於ケル帝國ノ寶庫デアルカト云フコトヲ物語ッテ居ルノデアリマス、是ニ於テ先ヅ私ハ順序トシテ樺太ノ經營ニ關スル根本方針ヲ御伺致シテ見タイノデアアル、樺太ハ前進ノ如ク樺太自身ニ於テモ天與ノ大富源ヲ有シテ居ル、之ニ投ズルニ資本ヲ以テシ、所謂北門開拓ノ大方針ヲ以テシタナラバ、其住民ニ於テモ亦其物産ニ於テモ、忽ニシテ、數倍ノ激增ヲ見ルト云フコトハ、一點疑問ノ餘地ハナイノデアアル、加之北緯五十度ヲ以テ「ソウエント」政府ノ管轄タル北樺太ト境ヲ分チ、極メテ重要ナル國際ノ地位ヲ保有シテ居ルト考ヘルノデアアル、今ヤ日露ノ修交ハ恢復シテ居リマシ

テ、北樺太ニ於ケル石油ノ利權ノ一部ハ我國ガ獲得スルコト、ナッテ居リマスルヲ以テ、南北樺太ハ其經濟界ノ關係ニ於テハ既ニ國境ガ撤廢サレタモ同様デアル、此點カラ考察シマシタナラバ、我が樺太ノ經營ハ實ニ國家的ノ大問題デアルト謂ハナケレバナラズ、然ルニ諸君、世間傳フル所ニ依リマスルト、歐洲大戰前、莫斯科ニ本店ヲ置イタ所ノ「ウラル」鐵道ヲ中心トシテ、極東ニ活躍ヲシテ居ラタ所ノ「スタウエーフ」商會ハ、露西亞ノ革命ト共ニ其活動範圍ヲ縮小シ、其後殆ど停止ノ狀態デアッタガ、近頃同商會代表「カーシン」氏ノ談ト云フヲ聞クニ、同商會ハ昨年春以來莫斯科ニ於テ、從前同商會ノ有セル日本讓渡以外ノ北樺太石油利權區域ニ付テ、折衝ヲ重ネタル結果、再び探掘權ヲ得テ、目下事業資金ニ關シ、米國「スタンダード」會社ト共同經營ノ交渉ヲ進メツ、アルト云フコトガアルノデアリマス、是ハ事實デアルコトウカト云フコトヲ御伺致シマス、更ニ、本件ノ事實如何ニ拘ラズ、北樺太ハ只今申シマシタ如ク利權ノ外ニハ此山林其他ノ利權——ソレ等ノ大富源ガアリマスルカラシテ、接壤ノ土地デアル我國タルモノ、或ハ直接ニ或ハ間接ニ之ヲ開發スルコトハ、是ハ正ニ傳統的ノ權利ト謂ハナケレバナラヌノデアアル、是ハ單リ我國ノ利益タルバカリデハナク、同時ニ「ソウエント」政府、即チ露西亞人民ノ利益デアルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアアル、此見解カラ致シマシテ、我國ノ樺太經營ハ積極的デアラベナラヌ、即チ樺太ノ積極的經營、換言スレバ開拓事業ノ促進ハ樺太ノ樺太ニ猛進スル所ノ基礎ヲ爲スモノデアルト考ヘルノデアリマス、政府ハ果シテ斯ル見解ヲ有スルカドウカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス、次ニ此港灣ノ設備ノ不完全ナルガ爲ニ、樺太ガ如何ニ世人ニ多ク誤解セラレ、恐怖セラレテ居ルカト云フコトハ想像ノ外デアル、ソレガ爲ニ其發展ヲ阻害セラレツ、アルト云フコトハ豫想以上デアルガ、現在稚內ト大泊トノ連絡ハ、空岐丸ト對島丸ト二艘デアッタト信ジマスガ、

然ルニ十二月ノ十二日ニ於テ、對島丸ハ遂ニ稚內沖ニ於テ坐礁沈没ヲシタノデアアル、所ガ其沈没セル對島丸ハ引揚ガ出來ナイト云フコトハ、大泊ノ商業會議所ノ書記長並ニ大泊町ノ助役モ斷言シテ居ルニ拘ラズ、鐵道省ハ引揚ガ出來ルト云フヤウナコトヲ言ッテ居ルサウデアリマス、是ニ於テ是迄十二回ノ運航ハ六回トナッタノデアアル、斯ノ如ク重要ナル地點デアルニ拘ラズ、一箇月僅ニ六回ノ運航ヲ以テシテハ、到底此樺太ノ航海ト云フモノハ大ナル不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是ニ於テ鐵道省ハ若モ此對島丸ガ完全ニ引揚ガ出來ル所ノ意ナラバ、之ニ代ルベキ船ヲ建造スル所ノ意思ガアルカドウカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス、諸君、此樺太ノ此航海ノ不便ノコトハ、昨秋眞岡ニ貨物船被ノ船ガ這入りマシタ、所ガ其船ハ港灣設備ノ不完全ノ爲ニ其陸上ダガ出來ナイ結果トシテ、其船ガ小樽ニ荷物ヲ積ンダル儘歸タト云フ所ノ事實ガ存在シテ居ルノデアリマス、如何ニ此樺太ノ人々ヲシテ恐怖ニ陥ラシメ、隨テ樺太ノ開發ヲ害スルコト云フコトハ申ス迄モナイノデアアル、所ガ豫算ナドヲ見マスル計ニ云フト、大泊港修築ノ爲ニ僅ニ五十萬圓計上セラレテ居リ、又眞岡港修築ノ爲ニモ亦四十八萬圓計上セラレテ居ルハ、到底焦眉ノ急ニ應ズルコトガ出來ナイノデアリマス、故ニ何レカニ財源ヲ求メテ、今少シク多額ノ費用ヲ投ジテ、急速ニ之ヲ完成スルコト云フコトガ、國家ノ爲ニ有利デアルト信ジテ居ルノデアリマス、更ニ又之ニ關聯シテ稚內築港ノコトヲ御伺スルノデアアル、是ハ樺太問題ト固ヨリ關聯シテ居ルノデアアル、從來築港ノ事業ハ進行ハシテ居リマステレドモ、非常ニ費用ノ投ジ方ガ少イ爲ニ、一部出來タモノガ波ノ爲ニ没ハレルト云フ狀態デアアルノデアリマス、故ニ假令第二期拓殖計畫ニ於テ此築港ノ費用ハ認メテ居リマシテモ、更ニ竿頭一歩ヲ進メテ、政府ハ第二期拓殖計畫中ノ築港費ニ付テハ、今少シ多額ヲ投ジテ、速ニ此稚內築港ノ速成ヲ圖ルト云フコトハ、是ハ單ニ北海道バカリノ問題デハナイ、國家ノ爲ニ極メテ重要ナル問題デアルト信ジマスルガ(拍手)政府ハ

果シテ如何ナル御考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス(拍手)次ニ私ハ樺太ノ警察ニ付テ御尋致シマス、巡查ノ數ハ二百九十一人、是ハ必シモ少イトハ申サレマセヌケレドモ、新聞地デアリマスカラ非常ニ事故ガ多イノデアアル、ソレガ爲ニ——此警察ノ不備ノ爲ニ非常ニ良民ガ惱ンデ居ルト云フコトハ、實狀ヲ見タ人ノ齊シク認ムル所デアリマス、故ニ政府ニ於テハ今少シ此警察ノ設備ヲ完全ニスル意思ガナイカドウカト云フコトヲ御伺致シマス、更ニ又一ツ御伺スルノハ、樺太ハ木材業ニ付テ非常ニ勞銀ノ不拂ガ多イ、勞銀ヲ拂ハナイガ爲ニ或ハ徵兵検査ニ歸ルニモ金ガ無イ、或ハ又親戚ニ不幸ガアツテモ歸レナイト云フヤウナ悲惨ナ狀態ガ頻々トシテ存在シテ居ルノデアリマス、勞銀ヲ拂フハ又ハ相對上ノコトデアリマスガ、事ハ新開地ノコトデアアル、故ニ政府ハ是等ニ付テ何等カ豫防スル所ノ方法ハ無イノデアアラウカドウカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス、以上ノ事柄ニ付キマシテ、外務大臣其他關係國務大臣ノ要領ヲ得タル所ノ——簡單宜シイカラシテ要領ヲ得タル所ノ御答復ヲ拜聽シタイノデアリマス

(國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇)

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今坂東君ノ第一ノ質問ハ、滿蒙地方ニ於ケル露國ノ活動ノ問題デアリマス、滿蒙地方ニ於ケマシテ、露西亞ガ何等カノ侵略的政策ヲ以テ行動ヲ執リツ、アルト云フ風説ガアルコトハ私モ耳ニ致シテ居リマス、坂東君ガ御列舉ニナリマシタヤウナ流説ノアルコトモ承知致シテ居リマス、吾々ハ斯ノ如キ流説ヲ耳ニスル毎ニ、出來ルダケ是等ノ眞偽ヲ正サンガ爲ニ苦心致シ、手段モ執タノデアリマスルガ、今日マデ吾々ガ接手致シテ居リマスル報道ニ依リマシテハ、是等ノ流説ハ——風説ハ何等の確ナル證據ニ基イテ居ルモノデナイト認メテ居ルノデアリマス、固ヨリ第一國民軍、即チ馮玉祥將軍ノ率キテ居ル第一國民軍、又外蒙古地方ニ於

キマシテ露國ノ士官ガ僱用サレテ居ルコトハ、是ハ事實デアリマス、併ナガラ士官ガ僱用サレテ居ルコト云フ事實ヲ以テ、侵略的政策ニ基クモノトハ必シモ認メルコトハ出來ナイデアリマス、現ニ第一國民軍ノ中ニハ、日本ノ將校モ等シク僱用サレテ居ル次第デアリマス、是等ノ露國ノ士官ガ、是等ノ地方ニ於テ侵略的行動ニ從事致シテ居ルト云フコトハ、只今マデ其實績ヲ認メ得ナイデアリマス、ソレカラ第二ニ蒙古方面ニ於ケル日本人ノ經濟的發展ガ、如何ニモ不十分デアルト云フ點ヲ御述ニナリマシテ、政府ハ之ヲ如何ニ致ス積リテアルカト云フコトヲ御質問ニナシタノデアリマス、如何ニモ蒙古方面、殊ニ東部内蒙古方面ニ於テ、日本人ハ條約上ノ權利アルニ拘ラズ、此權利ヲ實行致サナイ、マデ此方面ニ於ケル日本人ノ經濟的發展ノ甚ダ遅々タルモノガアルコトハ、私共深ク遺憾トスル所デアリマス、何トカシテモウ少シ經濟的發展ヲ見ルニ至ランコトヲ切望スル次第デアリマスガ、申ス迄モナク經濟的發展ノ主體ハ國民デアリマス、民間デアリマス、業者者デアリマス、民間ノ業者者ガ是等ノ經濟的發展ヲ計畫致シマシテ、政府ハ出來ルダケノ保護ヲ與ヘルト云フコトデアリマス、固ヨリ保護ト申シマシテモ、財政上ノ補助デアルトカ、援助デアルトカ云フヤウナ事ハ、是ハ財政上ノ都合ガアリマスカラ、容易ニ行ハレマセヌケレドモ、若シ日本人ガ是等ノ地方ニ於テ、正當ナル經濟的發展ヲ計畫ヲ致シマス上ニ於テハ、政府ハ出來ルダケ之ニ保護ヲ與ヘ、便宜ヲ與ヘル積リテ居リマス、ソレカラ支那ニ於ケル排日運動ノ事ニ付テ御質問ニ相成リマシタ、如何ニモ近頃ニ於テモ尙ホ支那ノ各地ニ於テ、排日運動ガ行ハレテ居リマスルコトハ、吾々モ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、是等ノ運動ガアル毎ニ、日本政府ニ於テハ、支那ノ中央政府又ハ地方官憲ニ交渉致シマシテ、昨今ニ於テハ大體此排日運動ニ對スル取締ト云フモノハ満足ニ行ハレテ居ルノデアリマス各地方ニ於テ寬嚴度ヲ異ニ致シテ居リマスケレドモ、大體日本人ハ被害ヲ受ケタト云

フ風ナ事實ガ餘リ無イデアリマス、數年前ト較ベテ見ルト云フト、餘程事態ハ變テ居リマス、出來ルダケ地方官憲ニ於テモ、中央政府ニ於テモ、日本人ノ保護ノ爲ニハ盡シテ居ルト云フ形跡ノアルコトヲ認メルデアリマス、ソレカラ難波軍曹ノ事ニ付テ御質問ガアリマシタ、如何ニモ難波軍曹ノ行方ガ不明ニナッテ居リマシテ、今日迄マダ的確ナル成行ヲ見ナイコトハ、甚ダ残念ニ考ヘルノデアリマス、今日迄ハマダ難波軍曹ガ果シテ殺サレタト云フ確證ハ無イデアリマス、此難波軍曹ノ行方ガ不明ニナリマスヤ否ヤ、政府ハ各地方ノ官憲、軍事關係、文武ノ關係ニ照會致シマシテ、先ヅ其行方ヲ搜查ニ努メタノデアリマス、此爲ニハ馮玉祥將軍ノ方ニモ照會致シマシタ、北京政府ニモ照會致シマシタ、其當時天津方面ニ居リマシタ張之江將軍ニモ照會致シマシタ、ドウカシテ此行方ヲ確メンガ爲ニ方ヲ盡シタノデアリマスガ、今日迄ハマダ確證ヲ得ナイノデアリマス、既ニ事件ガ起リマシテ今日迄其行方ガ分ラヌデアリマスカラ、同軍曹ハ殺サレタノデアラウト云フ深イ憂ヲ持テ居ルノデアリマス、此事件ハ決シテ等閑ニ付シテ居ル譯デハアリマセヌ、出來ルダケ速ニ、果シテ軍曹ハ殺サレタモノデアリカ、ドウカト云フ事ヲ確メマシテ、ソレニ依ッテ適當ナル手段ヲ執ル積リデアリマス、ソレカラ關係會議ノ事ニ言及ニナリマシテ、普通品ニ對スル二分五厘ノ増徴ト云フコトノ主張ハ、日本ハ拋棄シタノデハナイカ、過日モ同様ナ御質問ガアッタヤウデアリマス、之ニ關係致シタ新聞ニ現レテ居ル報道ヲ御朗讀ニナリマシタガ、是等ノ新聞ノ報道ハ、正確ノモノテハアリマセヌ、是等ハ何レニ致シマシテモ、關係會議ノ進行ニ伴ッテ深ク考慮ヲ加ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、今日迄日本ガ主張ヲ撤回シタト云フコトハ事實デアリマセヌ、將來如何ニ致スカト云フコトノ問題ニ付キマシテハ、今深ク慎重ノ考慮ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、隨テ今日ハ具體的ニ御話ヲ申上ダルノハ其時期デアアルマイト

思ヒマスガ、唯、茲ニ明カニ致シテ置ク必要ナ事ハ、日本ノ商工業ノ利益ヲ保護スルト云フコトハ、政府ノ深ク思フ置イテ考ヘテ居ル點デアリマス、先日モ申シマシタル如ク、關係會議ノ問題ニ付キマシテハ、日本ハ飽迄モ日支兩國ノ共有共榮ト云フコトヲ目的トシテ進シテ行ク積リデアアル、支那ノ獨存獨榮デハナイ、日本ノ商工業モ亦等シク保護シナケレバナラヌ、此方針ヲ以テ進ム積リデアルト云フコトハ明カニ致シテ置キマス、ソレカラ支那ハ英米ト握手シテ日本ニ反抗ヲ致シ、日本ニ不利益ナル提議ヲ押付ケルト云フ風ナ形跡ハ無イカ、サウ云フ憂ハ無イカト云フ御質問デアリマシタ、斯ノ如キ形跡ハ斷ジテアリマセヌ、御安心トス。テ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ釐金ハ廢止出來ルカドウカト云フ御質問デアリマス、釐金ハ絕對ニ廢止出來ヌト云フコトハアルマイト思フノデアリマス、併ナガラ必ズ廢止出來ルト云フ斷言モ是レハムツカシイノデアリマス、今日ニ於テ支那ハ誠意誠心、ドウカシテ釐金廢止ト云フコトハヤリタイ、是ハ列國ノ爲デハナイ、支那自身ノ爲デアルト云フコトヲ支那自身ガ痛感致シマシテ、釐金廢止ノ爲ニ誠意ヲ用キテ居ルノデアリマス、方法ニ依リマシテハ是ハ決シテ行ハレ得ナイト斷言スルコトハ出來マイト思ヒマス、支那ハ既ニ責任ヲ以テ此廢止ヲ斷行スルト云フコトデアリマス、吾々ハソレニ對シテソレハ噓デアル、ソナナ事ハ行ハルベキモノデナイト一言ノ下ニ劍付ケベキ問題デナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ支那ノ時局ノ不安定ナ事ヲ御述ニナリマシテ、今日段祺瑞執政ノ政府ハ、基礎ガ甚ダ鞏固デナイ、斯様ナ政府ヲ相手ニ致シテ關係會議ヲ進行致シテモ、餘リ有益ナ結果ヲ來サヌデハナイカ、現ニ孫傳芳將軍或ハ吳佩孚將軍ハ、關係會議ニ反對ヲ致シテ居ルデハナイカト云フ御質問デアリマシタ、孫傳芳、吳佩孚兩將軍ハ、關係會議其モノニ對シテ絕對ニ反對ヲ致シテ居ルト云フコトハ承知ヲ致シマセヌ、彼等ハ主義ニ於テ關係會議其モノニハ賛成

デアアル、唯、今日ハ其時期デハナイ、關係會議ガ丁度始マル頃ニ、彼等ハサウ言フテ居タノデアリマス、今日ハ適當ナル時期デハナイ、吳佩孚將軍ノ如キハ、自分ガ北京ニ乘込シタ時ニ、始メテ此關係會議ヲセテ貰ヒタイト云フ希望ヲ述ベテ居ルノデアリマス、關係會議其モノニ對スル絕對的ノ反對ノアルコトハ承知サレタメヌ、何レニ致シマシテモ日本政府ト致シマシテハ、段祺瑞ノ政府ト致シマシテ、其利益ヲ目的ト致シテ關係會議ヲ續行致スト云フノデハナイデアリマス、支那國民ノ利益、之ガ常ニ吾々ノ目的トシテ居ル目標デアリマス、隨テ段祺瑞ノ政府ガ假ニ倒レタリト致シマシテモ、此關係會議ニ於テ爲シ遂ゲマシタ事業ト云フモノハ、支那國民ハ必ズ感謝シ、如何ナル政争ガ起ッテ來テモ、之ニ對シテ異議ヲ唱ヘルヤウナ事項ハ無イヤウニ吾々ハ期待致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ是ハ私ニ御尋ニナシタノデアアルカドウカ、能ク分リマセヌデゴザイマシタガ、北樺太ニ於テ露西亞ノ「スタヘーフ」商會ガ、今回日本ガ獲得シタル油田、炭田ノ外ノ利權ヲ得マシテ、之ガ實行ニ關シテ其資金ノ調達ノ爲ニ、亞米利加ノ「スタンダード」石油會社ト話ヲ進メテ居ルト云フ風説ガアルガ、事實デアアルカト云フコトデアリマス、サウ云フ風ナ風説ガ一時哈爾濱方面ヨリ傳ハッテ參ツコトハ、私ハ承知致シテ居リマス、併ナガラ是モ確メテ見マシタ所ガ、今日迄餘リ的確ナル證據ハ無イノデアリマス、少ナクトモ事實ニ於テ是等ノ話ガ歩ヲ進メテ居ルト云フ證據ハ無イノデアリマス、是ダケヲ御答辯申上ダテ置キマス(拍手)

(國務大臣早速整頓君登壇)

○國務大臣(早速整頓君) 只今坂東若カラ羊毛ノ事ニ關シテ御尋ガアッタノデアリマス、之ニ關シテ私カラ御答致シマス、御説ノ如ク羊毛ハ國民生活上重要事上ニ於キマシテモ、洵ニ必要ナル品物デアルト云フコトハ申ス迄モナイ、然ルニ其羊毛ノ生産ハ、殆下内地ニ於テハ從來思フ程無論出來ナイノデアリマシテ、多クハ之ヲ輸入ニ仰

イデ居ル、如何ニモ心細イモノデアルト云フ御意見ハ、私共左様デアルト考ヘテ居ル、併シ政府ハ此羊毛ノ生産ト云フ事ニ付キマシテハ、マルデ何等ノ策ナク自然ニ之ヲ放任シテ居ルト云フ譯デハゴザイマセス、御承知ノ如ク大正六年ニ臨時産業調査局ヲ設ケラレマシタ際、此羊毛ノ生産ト云フ事ニ付テノ所謂百万頭計畫ト云フモノガ出来タノデアアル、綿羊百万頭ト云フモノヲ飼育スルト云フ場合ニナレバ、先ヅ羊毛ノ需用ト云フモノヲ——全國ノヲ充スニ足ルデアラウ、斯ウ云フ計畫ヲ大正七年カラ其實際ニ著手ヲシタノデアリマス、勿論斯ウ云フ事柄ニ付キマシテモ、僅ガ一年カ二年ノ間ニ十分ノ成功ヲ期スルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマス、其當時ノ政府ト致シマシテモ、非常ニ努力シテ、此綿羊ノ飼育ト云フ事ヲ全國ニ及ボスコトヲ努メタ、例ヘバ種羊場ヲ設ケルト云フ事ニ付テハ、色々政府ハ力ヲ盡シテ居リマス、ソレカラ此種綿羊ヲ海外カラ輸入スルト云フ事ニ付テハモ政府ノ力デ以テ非常ニ之ヲ努メテ居ル、或ハ各種羊場並委託牧場ニ於テ、段段此綿羊ヲ蕃殖ヲセシメテ、段々綿羊ノ飼育ト云フ事ヲ獎勵ヲシテヤテ居ルノデアリマシテ、其小羊ト云フモノハ、政府モ之ニ斡旋ヲシテ、之ヲ全國ニ配布スルト云フコトヲ努メテ居ル、飼育ハ専ラ農家ノ副業的團體ニ於テ之ヲ經營セシメルト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、一般ニ之ニ關スル智識ノ普及ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ點ニ於テ、政府トシテハ此綿羊飼育ニ關スル智識ノ普及ト云フコトヲ、必ズ努メテヤテ居ルノデアリマス、道府縣ノ綿羊飼育ノ設置、及技術員ニ關スル經費ノ補助モ致シテ居リ、或ハ種綿羊ノ輸入税ヲ免除シテ居ル、並ニ輸入トカ或ハ綿羊ノ購入ト云フ事ニ付テノ獎勵費ヲ支出シテ居ルト云フ如キ事ハ、即チ其一例デアアルノデアリマス、其結果ト致シマシテ、今日ニ於キマシテハ大正七年後——七年度以降、此計畫ガ行ハレテ居ル爲ニ、今日ニ至テハ先ヅ各地方ニ於テ、此綿羊ノ飼育ト云フ事ガ行ハレル

ヤウニナツテ、中ニハ餘程成績ノ良イモノモアル、斯ウ云フ状態ニナツテ居ルノデアリマス、勿論今日ノ現状カラ申シテ、是ハ實ニ生産ノ高ヲ輸入ノ高ニ比べレバ、僅ニ十分ノ一二足ラスト云フ位ノ數字デアリマスカラシテ、是カラ後ノ計畫ヲ十分ニ進メナケレバ、御説ノ如ク此羊毛ニ付テノ自給自足ヲ全クスルト云フ域ニハ達シナイノデアリマス、政府ト致シマシテハ、財政上ノ都合モアツタリシテ、唯、此綿羊ノ飼育ト云フ事ニ於テ、多額ノ金ヲ使フト云フコトハ出来得ナイノデアリマス、只今申スヤウナ計畫ハ、若々之ヲ行フテ居ルノデアリマス、何等施ス所ガナイ、無策ニシテ唯、放任ヲシテ居ルト云フ譯デハナイト云フコトニ御諒水ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 坂東君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、少シ聽漏シタカモ知レマセヌガ、若シ間違ヒマシタラバ更ニ御尋ヲ蒙リマス、私ガ承リマシタ要點ハ、鐵ノ自給自足ハ進ンデ行キヨルヤウデアアルガ、其原料ヲ相當確實ニ得ル方法ガ立テ居ルヤ否ヤト云フコトガ、御質問ノ要點デアッタヤウニ承知シタノデアリマス、先ヅ其點ニ對シテ御答ヲ致シマス、鐵ノ自給自足ノ大體ハ、先日此處ニ申上ゲマシタカラ、只今ハ略シテ置キマス、鐵ノ原料ニ付キマシテハ、支那、南洋等ニ於テ、相當長期ニ約束ヲ致シテ居ルモノハ、製鐵所ニ於テモアリマス、又民營ノ方ニ於テモ多少ゴザイマス、此外ニ朝鮮等ニ於テ原料ヲ得テ居ルモノモゴザイマス、御承知ノ通り鐵ノ原料ナルモノハ、鑛石ニ鐵分ヲ非常ニ含ンデ居リサヘスレバ宜シト云フコトデナクシテ、ソレハ第一ノ事デアリマスガ、ソレニ加フルニ種々ノ方法ヲ要スルノデアリマス、是ニ於テ現在ノ物デハ安心ガ付カナイノデアリマシテ、殊ニ海外ニ關スル約束等ハ、何時變更ヲ生ズル事ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、故ニ鐵ノ自給自足ノ方針ヲ確實ニ立テマスルニハ、此原料ヲ

得ルト云フ方法ヲ第一ニ攻究シナケレバナラヌ、即チ當業者ヲシテ徒ニ原料ヲ得ル事ニ競争ヲスルト云フガ如キコトノ弊ヲ避ケテ、互ニ共同一致ノ下ニ於テ、其方法ヲ講ズルト云フ手段ヲ取ツテ居ルノデアリマス、是等ニ對シテハ、前途確ニ見込ガアルト思ヒマス、此外ニ於テ本年ノ豫算ノ上ニモ、内地ノ鑛石及砂鐵精煉等ニ對シテ、尙十分ノ攻究ヲ重ネマス、即チ御質問ノ要旨ニ副フヤウナ方法ヲ進メ、アルト御承知ヲ願ヒタイト存ジマス(拍手)

〔政府委員昌谷彰君登壇〕

○政府委員(昌谷彰君) 簡單ニ樺太ニ關スル御尋ニ御答ヲ致シマス、第一ノ樺太ニ於ケル港灣ノ設備ノ不十分デアルト云フコトハ、海ニ御同感デアリマス、將來モ尙尙財政上ノ都合ヲ見計ラヒマシテ、順次是ガ完成ヲ期スル考デゴザイマス、第二ノ警察官ノ不足モ是亦御同感デゴザイマス、此十五年度ノ豫算ニモ是ガ爲ニ五十名ノ増員ヲ要求致シテ居リマス、是ハ主トシテ國境ノ警備ニ充テタイ考デアリマス、是ガ爲ニ多少ノ從來ノ不十分ヲ補フコトガ出来ヤウカト存ジマス、第三ノ工賃ノ不拂何トカ政府デ都合ノ付ケヤウハナカラウカト云フヤウナ御尋ノヤウニ伺ヒマシタ、是ハ尙ホ考慮ハ致シタイ考デアリマスガ、雇主ト雇ハレ入トノ間ニハ、ソレノ相當ノ契約ガアツテノ事ト存ジマス、此雇主ノ拂ハヌ賃錢ヲ政府ニ於テ支拂フト云フヤウナコトニスルコトハ、大分疑問點ガ多イヤウニ存ジマス、尙ホ併シ考慮致シタイ積リデアリマス

〔政府委員俵孫一君登壇〕

○政府委員(俵孫一君) 北海道拓殖計畫ニ付テノ御尋ニ御答致シマス、今日ノ我國ノ人口問題及食糧問題ヨリシテ、北海道拓殖ノ事ガ最も重要ナル意義ヲ有シ、且ツ又大ニ研究シナケレバナラヌコトニ付キマシテハ、是ハ坂東君ト全然御同感デアアルノデアリマス、ソレ故ニ十五年度ハ北海道拓殖計畫ガ最終年度デ、更ニ十六年度ヨリ新計

畫ヲスルコトニ相成ツテ居リマスニ拘リマセズ、明年度ニ於テ北海道拓殖計畫ニ約三百万圓ノ増加ヲ致シマシテ、北海道拓殖ノ必要ナル所ノ經費ニ宛テ、居リマス、更ニ只今モ申上ゲマス通り、現在ノ拓殖計畫ハ、十五年度ヲ以テ終リマス、更ニ十六年以降ノ豫算ヲ編成スルニ方リマシテ、第二期拓殖計畫ヲ立テ積リマシテ居ルノデアリマス、第二期拓殖計畫ハ、政府ニ於キマシテ關係省ト能ク協議シマシテ、特ニ拓殖計畫調査委員ヲ設ケテ、更ニ十六年度以降ノ北海道拓殖計畫ニ對シテ、大ナル計畫ヲ致シマス、積リデ居リマスノデアリマス、ソレカラシテ北海道ノ產米計畫、即チ北海道ニ於テ米ノ產額ガ尙尙將來ニ増殖スル餘地ガアルト思フガ、如何デアルカト云フコトデゴザイマスガ、是亦全ク坂東君ノ御説ノ如ク尙尙餘地ガアルノデアリマス、御承知ノ通り昨年ハ約二百万石ノ米ガ產出出来タノデアリマス、是ハ年々歲々益々増加ヲ來ス所ノ傾向ヲ有シテ居ルノデアリマス、之ニ付テハマダ——產米地域即チ米ヲ產スル所ノ地域ガ、マダ——餘程アルノデアリマス、是等ニ付テ產米計畫ヲ立テルト云フコトハ、是レ即チ只今申上ゲタ通りノ大正十六年度以降ノ拓殖計畫ニ於テ、大ニ計畫致シタイと思フノデアリマス、ソレカラ致シテ樺太ノ連絡ノ必要上カラシテ、稚内ノ築港ノ速成ノ事ニ付キマシテノ御尋ハ、是亦坂東君ト同感デアリマス、大ニ必要デアリマス、是等モ亦速成ヲシ得ルヤ否ヤニ付キマシテハ、明年度ニ於テ計畫スル所ノ十六年度以降ノ拓殖計畫ニ於テ、大ニ考慮致シ積リデアリマス

○吉植庄一郎君 私ハ去ル二十一日ノ本議場ニ於テ、内閣總理大臣其他ノ閣僚ニ向ツテ質疑致シマシタ、當日ハ加藤首相御病氣中デゴザイマシテ、私ノ質問ニ對シテ一言ノ御答モ無カッタ、併シ當時ハ私ハ御病氣トハ存ジマセヌカラ、議席ニ立歸ツテ、各大臣ノ答辯ノ後、總理大臣ノ御答辯ヲ尙待ツテ居リマシタガ、ナカッタカラシテ、重ネ

テ此席ヨリ御答ヲ促シタノデアリマス、尙
ホ御返事ガナイカラ、議長ニ向テ總理大
臣ハ答辯スルノデアルカ、ナイカト云フコ
トヲ確メテ戴キタイト云フコトヲ申シタ、
然ルニ議長ハドウモ總理大臣ノ答辯ハナ
ヤウデアルト云フ御返事デアリマシタカ
ラ、已ムヲ得ズ、其儘ニナテ居リマシタ、
不幸ニ致シテ其時ヨリ御病氣ガ重テ、加藤
首相ハ逝去セラレタ、誠ニ哀悼ニ堪ヘナ
イ次第デアリマス、左様ナリ現内閣ノ施政
方針ノ演説ニ對スル重要ナル質疑ニ對シ
テ、總理大臣ハ一言ヲ發スル機會ヲ得ナ
カッタ、是ハ洵ニ遺憾ト存ズル、就テハ新ニ
大命ヲ拜シタル若槻總理大臣ハ、當日内相
トシテ此議席ニモ居ラレ、私ノ總理ニ對シ
テノ質問ノ要點ハ御記憶ニナテ居ル答デ
アルト思ヒマス、故ニ前刻ノ他ノ同僚ノ質
問ニ答ヘテ、前内閣ノ總理ノ責任ヲ引受ケ
ル、一切ノ責任ヲ負擔スルト明言セラレタ
ル若槻首相ハ、當然故總理ノ未ダ答ヘザリ
シ所ノ問題ニ對シテハ、進シテ御答辯ア
テ然ルベシト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ先刻
來總理ノ御出席ガアリマセヌカラ、屢、書
記官ヲ煩シテ、是非總理ガ出席スルヤウ
ニ申シテ居リマス、然ルニ豫算委員會ヲ開
イテ居ルカラ、今會議ニ出ラレカ出ラレ
ヌカ分ラヌト云フ、勿論豫算委員會ハ重大
ナル會議デアリマス、併ナガラ總理大臣施
政ノ演説ニ對スル質疑ノ御答ヲ得ルト云フ
コトハ、總テノ議事ヲ進行スル上ノ最大最
急ノ問題デナケレバナラヌ(ヒヤ)「拍
手」是ヲ重シトシ彼ヲ輕シトスル譯デハナ
イガ、本會議ノ承認ヲ經ナケレバ他ノ委員
會ハ開カレナイ譯デアアル、自ラ進シテ御答
辯爲サルベキ義務ヲ負フテ居ルノニ、此席
ニ御出席ガナイ、是ハ甚ダ私ハ遺憾ニ存ジ
マス、仍テ議長ハ院議ニ諮リテ、正式ニ總理
大臣ノ出席ヲ要求セラレンコトヲ希望スル
ノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 吉植君ニ申上デマス
ガ、今總理ノ都合ヲ聞合セマシタガ、多分
直ダ出席ガ出來ルデアラウト云フヤウナ根
據デアリマス、少シク御待テ願ヒタイ
○吉植庄一郎君 ソレデハ總理ノ出席迄暫
ク待テ居リマス、保留ヲシテ置キマス
「外ノ大臣ニ對スル質問ヲヤメテ貴ヒ
タイ」進行々々ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 吉植君ニ御尋致シマ
スガ、吉植君ハ首相ト文相、藏相ト三相ノ
御出席ヲ促サレテ居ルノデアリマスガ、只
今大藏大臣並ニ文部大臣ハ御出席ニナ
テ居リマス、ソレヲ先ニ御質疑ヲ御進メ下
サレ譯ニハ行キマセヌカ
○吉植庄一郎君 私ノ質問ハ主トシテ總理
大臣、ソレニ聯關シテ今ノ各相ニ御尋スル
ノデアリマス、總理大臣ノ御出席ヲ得タ後
ニ致シマス
「進行」進行ト呼ヒ其他私語スル者
多シ
○議長(粕谷義三君) 靜止ニ願ヒマス
○田淵豐吉君 各大臣ハ總理大臣カラ問ウ
テ來ナケレバ答辯ハ出來ナイ筈デスカ、其
質問者ノ意圖ニ依テ如何ナルコトモ出來
ルカ、此ニ點ヲ問ヒタイ
○議長(粕谷義三君) ソレハ其當時ノ狀況
ニ依リマス、只今總理ハ直ニ出席ヲセラ
レルサウデアリマス——吉植庄一郎君
「吉植庄一郎君登壇」
○吉植庄一郎君 私ハ若槻總理大臣ニ御尋
ヲ致シマス、過日ノ本議場ニ於テ、内閣總
理大臣施政ノ演説ニ對シテ數箇ノ質疑ヲ致
シタノデアリマス、其際ニ總理ハ御病氣ト
見エテ、遂ニ一言モ發セズシテ終タノデ
アリマス、私ガ總理大臣ニ問ウタ條項ハ、
總テ説明無シニ終テ居リマス、此ニ於テ
若槻新總理ハ前内閣ノ總理ノ責任ヲ御紹
ニナル以上ニハ、私ガ重ネテ問ハナクトモ、
其總理ニ對シテ質問シテ其儘ニナテ居ル
事ニ就テハ、進シテ御説明アルベキ筈ト期
待致シテ居ル、然ルニ只今迄マダ總理大臣
ヨリ御答ガアリマセヌカラ、度々同ジ様ナ
事ヲ繰返スコトハ、議員全體ノ諸君ニ對シ
テ甚ダ敬意ヲ失シ、遺憾千萬デアリマス
ガ、今日ハ其要點ヲ茲ニ新ニ御答ヲ得タ
イト存ジマス、其問題ニ入ル前ニ、先以テ
總理大臣ニ御所見ヲ伺ヒ置キタイ事ガア

ル、本日當議場ニ於テ突如トシテ現ハレタ
ル銀座街頭ニ於テ生ジタル事件、之ニ對ス
ル總理大臣ノ御答辯ヲ伺ヒテ、現内閣ガ政治
上ニ對スル責任觀念ハ、私カラ見レバ甚ダ
薄イヤウニ感セラレ、是ニ於テ重ネテ御
尋シナケレバナラス、一月二十二日ノ本議
場ニ於テ、若槻内務大臣ニ對シテ私ガ鶴見
ニ起タル暴動事件ノ實ニ驚クベキ狀態ヲ、
政府ガ十分取締リ得ナカッタ事ニ對シテ
質疑ニ向テ、若槻内相ハ當時斯様ニ御答ニ
ナツタ、私モ甚ダ遺憾ト致シマス(死者二名、
傷者五六十名ヲ出シタルハ遺憾極リ無キ大
第デアリマス、併シ事件ノ以後ニ於テ犯罪ノ
檢舉ニ於テハ直ニ著手致シマシテ、今日ハ
ソレト取調ニ著イテ居ルコトハ御承知ノ
通りデアリマス、斯様ニ御答ニナツテ居ル、
又小作爭議ガ全國ニ起リテ、動、モスレバ小
作ガ多數、集合致シテ、地主ヲ脅威シ、暴
行ヲ働クコト云フヤウナ事ガアツテモ、今ノ
政府ノ狀態デハ此取締リガ完全ニ出來ナイコ
トヲ甚ダ憂フルト云フ私ノ質問ニ對シテ
ハ、内相ハ斯様ニ答ヘテ居ル、小作爭議ハ
警官ニ於テ鎮壓ヲ加フルコトハ出來マセヌ、
併シ事柄ガ暴行脅迫ニ至リマシテハ、決シ
テ遺漏ナク警官ヲシテ之ヲ取締リテ居リマ
ス、斯様ニ答ヘテ居ル、又普通選舉ヲ急
行フ場合ニナツテ、斯ノ如キ力ナキ政府、力
ナキ警察力ヲ以テシテハ、千三百万ノ有
權者ガ除ヲ組ンデ、動、モスレバ暴行脅迫
ノ舉ニ出デナイトモ限ラナイ、今日ノ狀態
デスラモ治安ノ維持ガ甚ダ危險デアアルノ
ニ、總選舉ヲ行フ場合ニ、地方一町村ニ僅
カ一人ノ巡查シカナイト云フ此警察力ヲ以
テ、此取締リガ果シテ完全ニ出來スカト云
フ御尋ニ對シテ、總理大臣ハ普通實行ノ日
ニ今日ノ警官ヲ以テ十分取締リガ出來ルト思
ヒマス、選舉ノ公平ヲ之デ保タルコト思ヒ
マス、斯様ニ御答ニナツテ居ル、此答辯ヲ
得テヨリ今日ニ至ル迄僅カ十日ニ過ギナ
イ、而シテ銀座街頭、而モ帝都ノ真中ニ於
テ、アノヤウナ事件ガ勃發致シテ、内相果
シテ二十二日ノ私ニ答ヘタ所ノモノト、此
新ニ生ジタル事件ト對照シ來テ如何ノ考

ガアルノデアリマスガ、遺憾ノ至リニ存ジ
マス、今日ノ御答ヲ吾々ガ聞イテ居テモ、
洵ニ遺憾千萬デアアル、遺憾千萬ヲ繰返サ
レルダケノコトデアツテ、其責任ヲ問フ
者ガアルナラバ、警官ハ多少ノ手落モ
アツカデアアルケレドモ、之ヲ懲戒免官
ニスル程ノコトデモナカラウト思フ、
斯様ナ程度デ帝都ノ中央ニ於テ、數十人
ガ白晝暴行ヲ敢行シ、而モ其暴行ノ原因ハ
危險ナル思想ニ基イテ居ルト云フコトモ明
カデアアル、而シテ是モ事後ニ於テ云々、是
デ行政警察ノ機能ハ何所ニアルノデアリマ
スカ、事ヲ未前ニ防イデ國家ノ治安、國民
ノ安寧ヲ維持スルノガ、行政警察ノ是ガ第
一ノ目的デアアル、然ルニ事ガ生ジテシマ
テカラ遺憾ノ至リニ堪ヘヌ、是ハ何トカシナ
ケレバナラス、ソレハ御事情ニ於テハ御氣
ノ毒ニ存ズル、併ナガラ荷モ政局ニ惡
治安ノ責任ニ任ズル内務大臣、況ヤ内閣總
理大臣トシテ斯様ナル問題ニ唯、徒ニ遺憾
ヲ繰返シテ、國民ハ誰ニ依テ此治安ノ維
持ヲ望ムコトガ出來ルノデアリマスガ(拍
手)聞ク所ニ依レバ銀座方面ノ人々ハ、政府
ノ保護ニ信頼スルコト能ハザルガ故ニ、自
警團ヲ組織セントシテ居ルコトガ新聞ニ
載テ居ル、此帝都ノ真中ニ於テ儼トシテ
政府ノ存在シテ居ル前ニ於テ、人民ガ自警
團ヲ造ツテ自カラ守ラナケレバナラヌト云
フコトヲ生ゼシメタ責任ヲ何トスルカ(拍
手)諸公ハ嘗テ原内閣當時ニ於テ、群衆ノ
暴行脅迫ニ當ル場合ニ巡查ガ拔劍シタト云
フ一ツノ事實ヲ提ヘテ、若槻君ノ屬シテ居
ル憲政會ノ諸君ハ、當時原内閣ノ内相不信
任ヲ絶叫シテ、此壇上デ彈劾シタコトヲ御
忘レニナツタノデアアルカ(拍手)人ヲ殺ス
ト二人、傷者六十人ト云フモノガ出來テ居
ル此鶴見ノ事件、又東京ノ真中デアノ暴行
ヲ働イタ事件、是デモ此責任ガ此内閣ニナ
イト諸君ハ言フノデアアルカ(拍手)吾々ガ幾
多ノ政策問題ニ付テ所見ヲ伺ヒタイコトハ
存シテ居ルノデアリマスガ、先ヅ以テ現内
閣ノ政治上ニ對スル責任觀念ガ何レニ在ル
カラ確メナケレバ、徒ニ口舌ノ間ニ於テ、

唯、困リマシタ、恐縮ノ至リニ堪ヘマセヌト云フヤウナ、左様ナコトヲ繰返シテ、自家ノ治安維持ノ大責任、之ヲ人デモヤタ如ク考ヘテ居ルニ至ラヘ、内閣ノ存在ハ國家ノ禍ナリト吾々ハ思フ(拍手)殊ニ申スモ畏イ事デアラガ、過般、攝政官殿下ノ齒薄ニ對シテ、某外國使臣ガ此齒薄ヲ侵シ奉タル事件ガ生ジテ居ル、是モ誰ノ内閣ノ下デアリマスカ、斯様ナル事ガ出来テシマッタノハ恐縮ダト云テ居テ済ムナラバ、ソレデハ責任ト云フモノハ誰モ負フ者ハ無イノデアル、(ヒヤ)「普テ難波大助ノ如キ大事件ガ起ラタ時ハ、内閣總理大臣自ラ叛逆ヲ犯シタノデハナイ、併ナガラ之ヲ豫防スル能ハズ、斯ノ如キ大逆ヲ止メルコトガ出来ナカッタ所ノ全責任ヲ取テ、山本内閣ハ辭職ヲ奏請シタノデアル(拍手)「問題ガ違フ」ト呼フ者アリ然ルニ其事ヲ眼ノ前ニ見テ居テ、更ニ齒薄ヲ侵シ奉ルヤウナ事件ガ生ジ、引續イテ鶴見ニ於テハ未會有ノ大騷擾ガ起ラテ、數百人若クハ千人以上ノ者ガ武器ヲ持テ戰フト云フ狀態ヲ演出シテ、之ヲ事前ニ鎮靜スルコトガ出来ナイ、之ヲ問ハレテ困ラカラ將來氣ヲ付ケル、將來ハ々々ト云テ、其身ノ責任ニ對シテハ何等取ル所ナクシテ、恬然トシテ其職ニ居ル心持ガアルカラ、銀座ノ暴行事件モ起ラテ來ル、唯、恐縮ノ至リ、是デハドウ云フ事ガ出来タラバ内閣ハ責任ヲ取ルノデアリマスカ(ヒヤ)「事柄ハ諸君ハ巡査檢査ノ一事ヲ以テサヘ其内閣ニ向テ彈劾シ、其進退ヲ迫ラコトハ、諸君ガ忘ル、コトノ出来ナイ事デアル、人ヲ責ムルコト酷ニシテ、自ラ處スルニ寛大ナル現内閣ノ如キハ、未ダ會テ吾々之ヲ見タコトガナイノデアル(拍手)是ガ先ヅ以テ私ノ問ハントスル第一點デアル、内閣ガ斯様ナル無責任ナ考デスナラバ、小作爭議ガ起ラテ、地主ガ暴民ノ爲ニ脅迫サレテモ、是モ出来タ事デ仕方ナイ、アトハ何トカ氣ヲ付ケヤウ、總選舉ニ臨ンデ所在ニ暴行脅迫ガ起ラテモ出来タ事ハ仕方ナイ、遺憾ノ至リニ堪ヘナイ、是デアッタラバ政府ハ無

イ、無政府ノ狀態デアル(拍手)國民ノ治安、生命財産ノ安固ハ鞏固ナル内閣ノ下ニ其法令ガ嚴トシテ行ハル、ニ於テ初メテ存スルノデアル(拍手)畢竟斯ノ如キ事ニ相成ル所以ノモノハ、内閣ガ無力ニシテ威令行ハレズ、制令少シモ下ニ徹シナイガ故ニ、總テノ行政機關ガアツテモ活動ガ出来ナイ、警官ノ如キハ現ニ若槻君ガ昨年ノ議會ニ於テ、最早帝都ノ震災後ハ平靜ニ復シタカラシテ、震災當時ニ増加シタル所ノ京濱間ニ於ケル巡查ノ増員ノ費用ノ如キハ要ルマイヂヤナイカト云フ質問ニ對シテ、イヤ「マダサウデナイ、更ニ是ハ殘シテ置カナケレバナラヌ言フテ、震災以前ヨリモ數百萬圓ノ増加シタル豫算ヲ要求シテ、議會ハ之ニ協賛ヲ與ヘテ居ルノデアル、ソレ程ニヤッテ居リナガラ、又内務大臣所管ノ下ニ機密費ナルモノガアル、凡ソ機密費ナルモノハ事前ニ用意スル爲ニ、色々必要デアルカラ機密費ノ必要ガアル、終ヘタ後ヲ追蹙ケテ行クナラバ、ソレハ司法大臣ニ一任シテ可ナリ、事後ノ處置ノ如キニ至ラテハ司法官憲ナルモノアリ、行政ノ方ニ於テハ終ヘタ跡ノ始末ニハ何等御心配ハナイ、此事前ニ生ゼザルヤウニ苦心スルガ爲ニ、政治家ノ非常ナル苦慮ガ存スルモノデアルト吾々ハ思フ、然ルニ此問題ニ對シ、先刻來同僚諸君ヨリ色々質問ガアツタノニ對シテ、總理大臣ハ少クトモ責任ヲ感ズルナラバ、陛下ニ對シ奉リ、相當責任ヲ執ルノ手段ニ出ナケレバナラヌ筈デアル(拍手)一言半句モ自ラ責任ヲ執ルノ言葉ナク、其色ナク、平然トシテ其巡査モ大過デハナイ、懲戒免官ニ付スル程ノコトモナイト云ウテ、之ヲ輕々ニ看過セントスルニ至ラヘ、此危險ナル思想ハ漸次全國ニ彌漫シ、一波萬波、遂ニ大ナル波瀾ヲ起スコトヲ、此無能ナル内閣ニ於テドウシテ取締ルコトガ出来ルデアラウカ(拍手)吾々ハ此問題ハ決シテ一黨一派ノ問題デハナイ、國家治安ニ關スル大問題デアル、國民ノ生命財産ノ安固ニ關スル重大ナル問題ダト思フノデアリマス、殊ニ畏クモ皇城ノ、陛下ノ御膝元ニ於カセラ

レテ、斯様ナ事ガ出来テ何人モ其實ニ任ズル者無シト云フニ至ラヘ、吾々ハ實ニ恐懼ノ至リニ堪ヘナイコトデアルト思フノデアリマス(拍手)總理大臣ハ相變ラズ唯、恐縮ダ、事後ニ於テハト云フヤウナコトヲ繰返サレテ、ソレデ御責任ガ相濟ムト思フテオキデニナリマス、ソレデ私共ハ此豫算案、法律案等ニ對シテ贊否ヲ表スル上ニ於テハ、現内閣ノ政治上ニ對スル責任觀念ノ如何ヲ確メタ後デナケレバ、容易ニ協賛ヲ與ヘラレナイノデアリマス、仍テ此所ニ於テ此問題ニ付テ先ヅ以テ總理大臣ヨリ最モ嚴肅ニ、最モ責任ヲ重シセラレテ、單リ此議會ノミナラズ全國國民ニ對シテ、責任アル御答辯アラント先ヅ要望致シマス、其御返辭ノ如何ニ依ラテ、次ノ質問ヲ致シマスコトヲ茲ニ保留致シマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今吉植君ガ銀座事件ニ付テ再ビ御質問デアリマシタ、事件ノ事實ハ最早申上ゲテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ私先程申上ゲル通り、決シテ總テノ事ガ良ク行ハレテ居タトハ申上ゲマセヌ、警察側ニ於テモ若干ノ手落ガアル、而シテ警察官ニ手落ガアレバ、内務大臣トシテハ常ニ其責任ヲ感ズルノデアリマス、唯、政治家ガ責任ヲ感ジテ進退ヲ致シマスル場合ニ於テハ、事ノ輕重ニ依ラテ、自分ノ良心ニ依ラテ判斷スルノデアリマス

〔吉植庄一郎君登壇〕

○吉植庄一郎君 只今ノ總理大臣ノ御答辯ヲ承テ、唯、果然トスルノ外ハアリマセヌ、現内閣ノ責任觀念ハ只今ノ短カイ御答辯ニ依ラテ明瞭ニセラレマシタ、此以上ハ私共ハ私共ノ所信ニ依ラテ執ルベキ手段ハ別ニアラウト存ジマス、却テ此以上ノ御答ヲ要求スル必要ハアリマセヌガ、此問題ニ對スルダケノ質疑ハ是デ打切テ次ノ質疑ニ移リマス、丁度モトモウ一ツ聯關シテ、是モ過日來本議場ノ度々問題ニナッタノデアリマス、綱紀肅正ヲ標榜シタル内閣、此綱紀肅正ヲ標榜シタル内閣ニ於テ不祥事ガ屢、起ラタ

云フコトハ、共ニ遺憾トスル所デアリマスガ、殊ニ故首相暗殺事件ニ依ラテ内田良平氏ノ豫審調査、之ニ現レタル事跡ハ當時ノ内閣書記官長、今ノ司法大臣江木翼君ニ關係シテ居ルコトガ豫審調査ニ於テ明瞭ニサレタノデアリマス、凡ソ此豫審調査ノ内容ニ依ラテ政治上ノ德義ヲ重シ、綱紀肅正ヲ標榜スル内閣トシテハ、之ニ對シテモ反省シテ處決スルノ途ヲ執ラナケレバナラヌコトハ當然デアルト吾々ハ思ヒマス、然ルニ過日此議場ニ於テ江木司法大臣ハ、自分ノ名刺二枚ヲヤッタ、ソレデ神田錦藏氏ガ千五百圓金ヲ小橋榮太郎ニ渡シタト云フダケノコトデ、其間何等關係ガナイト云フヤウナ、極メテ無關心ノ態度ヲ以テ説明セラレテ居、タノデアリマスガ、凡ソ政治上ノ政治道德ノ問題——政治道德ノ問題トシテ苟モ綱紀肅正ヲ標榜シタル内閣、其内閣書記官長、今ハ司法大臣、斯様ナル人ガ平然トシテ其職ニ居ルニ至ラヘ、天下何人カ此司法ノ健在ヲ疑ハナイ者ガアリマセウカ、併シ是モ只今内務大臣ガ近來頻發スル所ノ不祥事件ニ對シテモ、事ノ輕重大小ニ依ルト云フヤウナ簡單ナル言葉ヲ以テ回避サレントスル卑怯ナル振舞ヲスル以上ニハ、其關係タル江木君モ亦同ジク責任ヲ回避シテ、其實ヲ避ケルデアラウト思フ……(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 生方君ニ注意シマス

○吉植庄一郎君(續) 私此點ハ御答ガ改メテアルナラバ承ルガ、斯様ナル現内閣ガ自己ノ責任ヲ取ルニ忠ナラザル、甚ダ以テ責任ヲ輕ンズルモノデアルト云フコトノ私ノ考、之ヲ變ヘルコトノ出来ルヤウナ説明ガアルナラバ仕合デアルガ、ナケレバソレマデアリマス、茲ニ政治上ノ責任觀念ノ缺乏シテ居ル内閣ニ向テ問フハ、殆ド無益ナルカモ知ラヌ、併ナガラ提出セラレタル豫算案、諸法律案ニ對シテ免モ角モ吾々ハ贊否ヲ決シナケレバナラヌノデアリカラシテ、一月二十二日ノ總理大臣ノ御演說——普選ヲ國民ニ與ヘ、是デ權利上ノ問題、稍、片付イタ、是カラハ經濟上、社會上、國

民生活ノ安定ニ向テ十分努力スル積リデアル、同時ニ今提出シタル豫算案及税法請案ニ對シテハ、十分ニ社會政策的ノ意味ヲ加ヘテヤッテアルト云フコトヲ、總理大臣ノ御演說中ニ喋々力説セラレテアル、ソレデ私ガ聞ウタ、其御言葉ハ大變美デアルガ、内容ヲ見ルト全ク違フテ居ルデハナイカ、増税ト減税ト差引勘定シテ見レバ、資本並ニ營利ノ利益ノ事業ニ對シテ税ヲ減ジテ居ル、所得税ニ於テモ地租ニ於テモ減税ヲシテ居ル、是ハ皆中産階級以上ノモノデアル、而シテ最大多數ノ國民ガ消費スル所ノ消費税ノ方面ニ於テハ、却テ七百餘萬圓ノ増税ニナッテ居ルデハナイカ、所得税、營業税、其他ニ於テ減税ガ千三百萬圓デ、消費税ニ於テ七百餘萬圓ノ増税ニナッテ居ルデハナイカ、是デ社會政策的ノ意味ガ加フテ居ルトウシテ言ハレルノデアルカ、斯ウ云フ御導ヲ致シテアリマス、然ルニ總理大臣ヨリハ一言ノ御答モナカッタ、當時濱口大藏大臣ハ、吉植君ノ社會政策ト云フノハ如何ナル社會政策デアルカ、自分ニハ分ラヌガ、中産階級ヲ保護スルコト云フコトハ、立派ナ社會政策デハナイカ、營業税ノ免稅點ヲ引上ゲ、小地主ノ地租ヲ減少スル、皆是レ社會政策デハナイカ、無産階級ノミヲ助ケテ行クコト云フコトガ、必シモ社會政策デハナイト云フ意味ノ御答辯ガアツタ、而シテ其社會政策、中等社會ヲ保護シテ行カナケレバナラヌト云フ所ニ於テハ、最モ力ヲ籠メテ同君ガ演說セラレテ居ル、併ナガラ吾等ハ決シテ中産階級ノ負擔ヲ輕ウスルト云フコトヲ非難ハシナイノデアル、全然御同感デアル、全然御同感デハアルガ、中産階級若クハ富豪階級ノ負擔ヲ輕ウスルコトノミニ努メテ、無産階級ニ向テ負擔ノ増加ヲスル、斯ンナ社會政策ガ何處ニ在ルカト云フノダ、是ガ社會政策ダト言ハレカト云フノデアル(速記ヲ讀メ)ト呼フ者アリ、讀ンデ來テ居ル、讀ンデ此質問ヲシテ居ル

○議長(粕谷義三君) 靜ニ願ヒマス
○吉植君(續) 社會政策ハ各種ノ方面ヨリシナケレバナラヌコトハ言フマデモナイ事デアル、併ナガラ濱口君ハ増減稅差引イテ、寧ろ減稅ガ千二百二十五萬圓ニナッテ居ルト云フ數字マデモ申サレテ居ル、是ガ爲ニ過日モ此壇上ニ於テ問題ガ起ツテ居ル、吾等ノ同僚ノ一人ヨリハ、煙草ノ値上ガ二千五百萬圓シカ國庫ニ收入ガ無イト言フテ居ルガ、國民ノ負擔ハ正ニ四千八百萬圓デハナイカト云フ質問ガ起ツテ居ル、是ハ若君ガ如何ニ博辯能辭デアツテモ、此答辯ハ明瞭ニ出來ナイ筈デアル、二億四千萬圓ノ賣上高ノ煙草ガ二割平均増加サレラバ、四千八百萬圓ノ國民ガ新ナル負擔ヲスルデアル、更ニ濱口君ハ海關稅ハ海關稅デアアル、消費税ハ消費税デアアル、吉植君ガ海關稅ヲ消費税ノ中ニ加ヘルノハ、ソレハ違フツテ論セラレテ居ルガ、勿論海關稅ハ海關稅デアアル、消費税ハ消費税デアアル、併ナガラ其海關稅ナルモノハ、大部分消費税ニ非ズシテ何デアアルカ、是ハ何ト云フ名前ヲ附ケルカ、名前ハ海關稅タケレドモ、併ナガラ其内容實質ニ至レバ、其大部分ハ消費税デアアルト云フコトハ、一點疑モナキ所デハナイカ、故ニ煙草ノ專賣ニ依テ、政府ハ二千五百萬圓ノ增收ガアルト云フガ、吾等ノ同志ノ計算ニ依レバ四千八百萬圓、國民ニ新ナル負擔ヲ負ハシテ居ル、此間キハ海關稅ト之ヲ加ヘレバ、合計三千三百餘萬圓ノ大増稅ヲ下級階級初メ全國大多數ニ向テ課シテ居ルノデアアル(拍手)而シテ僅ニ二千三百萬圓ノ所得稅或ハ地租、營業稅等ニ於テ減ジテ、之ヲ以テ社會政策的ナリト仰セラル、ニ至ツテハ、吾等不敏ニシテ、愚ニシテ其理由ガドウシテモ了解出來ナイノデアアルニ來テハ政治ハ努メテ政策ニ依テ、御互ガ賛否ヲ表シタイト思フテ居ル、現内閣ノ諸公モ、近來特ニ政策本位論ヲ主張シテ居ルノデアアル、政友會モ政策本位論ヲ主張シテ居ル、政友會モ政策本位論ヲ主張シテ居ル、即チ天下ノ大勢ハ政策ヲ本位トシテ互ニ賛否ヲ表スルト云フ健全ナル狀態ニ進ミタコトヲ、吾等ハ國家ノ爲ニ慶ブノデアアル、併ナガラ其政策ナルモノハ虛偽デハイケナイ、政策ヲ以テ共ニ爭フト

云フコトナラバ、其政策ニハ必ズ眞劍ナ所ガナケレバナラヌ、眞實デナケレバナラヌ、然ルニ社會政策的ノ意味ヲ加ヘテ大ニ國家民衆ノ爲ニ圖ルノデアアルト揚言シナガラ、其一枚皮ヲメクテ見レバ増稅デアアル、而モ中産階級以下ノ下級階級ニ對シテ大増稅ヲ斷行スル、中産階級以上ニハ若干ノ減稅ヲシナガラ、全國一千二百萬ノ小作人ニ對シテ何等ノ施設ヲ致シテ居リマス、是ガ社會政策デアアルカ、固ヨリ一番困ル者カラ先ニ手ヲ著ケナケレバナラヌ、一番難儀ヲシテ居ル國民ニ先ヅ其處ヲ得シメルト云フコトガ生活安定ノ根本デナケレバナラヌ、然ルニ一千二百萬人ノ全國ノ小作人ニ對シテ、現内閣ガ社會政策的施設ナリト稱スル此標榜ノ下ニ行ハントスルモノハ、日ク僅ニ六萬圓ノ自作農創定、二萬四千圓バカリノ小作爭議ノ費用ノ増加、ソレ等合計シテ僅ニ二十四萬圓、一年僅ニ二十四萬圓、煙草ニ於テ四千八百萬圓ノ新増稅ヲ負擔セシメ、海關稅ニ於テ一千九百萬圓ノ増稅ヲ負擔セシメ、奪フモノハ奪フテ置イテ、一般階級ヨリ搾取スルモノハ搾取シテ置イテ、與ヘルモノハ僅ニ十四萬圓ノ少額ニ過ぎナイ、是デ以テ何處ニ社會政策ト云フモノニ對スル徹底シタル金ガアルデアアルマセウカ、吾等ハ決シテ攻撃セシメ、爲ニ攻撃スルノデハナイ、ナイガ此事實ヲ奈何セントスル、此事實ハ現内閣ガ徒ニ國民生活ノ安定ノ爲ニ云々ト云フ美名ヲ藉リテ、以テ天下ヲ欺カントスルノデハナイカト云フ疑ヲ持ツノデアアル(ノウ)「何處ニ天下ヲ欺イテ居ル」ト呼フ者アリ、欺キツ、アル、故ニ欺カナイト云フナラバ其證據ヲ...

(議場騒然)
○議長(粕谷義三君) 靜ニナサイ
○吉植君(續) 吾等ノ面前ニ示シテ以テ、其欺カザルコトヲ證明スル責任ガアルノデアアル、是ハ總理大臣ヨリ聲明セラレタル社會的、經濟的ノ國民生活ノ安定ニ向テ努力ヲスル積リデアルト云フ、此議會勢頭ニ於ケル總理大臣ノ施政ノ演說ト、其ノ爲ス所トハ正反對ノ事述ヲ見ルニ至

テハ、甚大ノ疑ヲ抱イテ茲ニ質疑ヲセザルヲ得ヌノデアリマス、此點ハ現内閣ガ自己ノ立場ヲ辯明スル上カラ云フテモ、喜ンデ十分ナル材料ヲ提供シテ以テ、吾等ノ疑ヲ解ク責任ガアルト私ハ感ズルノデアリマス、次ニ御尋スルコトハ、此間文部大臣ダケガ御答ニナツタ、文部大臣ガ御答ニナッテ居ルガ、私ハ文部大臣ニ問ウタノデハナイ、總理大臣ニ問ウタノデアアル、ソレハ多年ノ習慣ニナッテ居ルガ爲ニ、國民ガ多ク此大問題ヲ忘レテ居ル、我國ノ教育ニ關係スル法令ハ一切勅令以下ノ方法ニ依テ行ハレテ居ル、帝國議會ノ有スル所ノ權能ハ、教育上ノ施設ニ向テ制約セラレテ居ルガ如キ狀態ニ多年ノ間居ルノデアリマス、是レ我が憲政史上ニ默過スベカラザル一大事デアリマス、是ハ行政財政ノ整理ヲ政綱ノ眞只中ニ押立テ、多年ノ宿弊ヲ一洗スルト呼號シタル現内閣ガ、此多年ノ宿弊ニ向テ何故忍ヲ加ヘナイノデアアルカト云フコトガ私ノ問ハントスル所デアアル、苟モ行政財政ノ根本的整理ヲシテ、多年ノ宿弊ヲ一新セント心懸ケラレテ居ル内閣ナラバ、其旗印ニ向テモ、多年ノ懸案トナッテ居ル、議會ノ協賛權ハ無視セラレテ居ル國民ノ教育ニ對シテ、有ユル法律ヲ出シテ行ク國民ガ出來ナイ、勅令以下ノ方法ニ依テセラレテ居ルノデアアル、是ハ憲政上由々敷一大事デアアルガ故ニ、固ヨリ黨派ノ問題デハナイ、獨リ衆議院ダケノ問題デハナイ、上下兩院、帝國議會トシテハ敢然ト立テ爭ハナケレバナラヌ所ノ大問題デアアルノデアアル、苟モ政黨内閣ヲ以テ自任シ、貴院改革ヲ以テ標榜シテ立ツタ内閣ガ、何故此大問題ニ向テ一指ヲ染メナイノデアアルカト云フコトガ私ノ質問ノ要點デアアル、之ニ對シテ文部大臣ハ斯様ニ答ヘテ居ル、此議論ハ私モ主義ニ於テハ賛成ダ、反對デハナイ、主義ニ於テハ反對デハナイ、併ナガラ多年實行シ來ツテ居ルコトデアアルカラ、之ヲ改正スルコトハ中々困難ナ事業デアリマス、一朝一夕ニ之ヲ實行スルコトガ出來ヌノ遺憾ニ存ジマスト文部大臣ガ答ヘタ、以テ知ルベシ、此問題ハ

缺達堪能ノ士ヲ以テ聞エラル、岡田文部大臣デモ、主義、主張ニ於テハ贊成ダガ是ハ多年實行シ來タコトヲ容勿ニ實行ガ出來マコトヲ遺憾ト存ジマスト明言シタ、現内閣ハ行政、財政、稅制ノ根本整理ヲスル政黨内閣トシテ、其使命ヲ果サント努力セラル、亦誠ガアルナラバ、此遺憾ノ繰返シハ何等ノ用ヲ爲サヌノデアリマス、先刻ノ總理大臣ノ遺憾至極ナルト云フナラバ同ジ事デ困タコトダ、遺憾ダト云フナラバソレデハ政治ノ責任ハ相立タナイ、之ヲ速ニ改善スルト云フコトニ付テ政府ガ若シ發案ヲスルナラバ、衆議院貴族院ハ全會一致シテ贊成スルト思フ、帝國議會ガ持テ居ル此協賛權ハ教育ノ方面ノミ及ゴト能ハズト云フガ如キ、斯様ナ問題ヲ事ハ存存ヲ許サナイノデアアル(拍手)特ニ内閣ガ決心ヲシテ玉碎以テ國家ニ殉セントスルノ至誠ガアルナラバ、上下兩院ハ舉テ政府ヲ支持シテ、多年此國民ノ手ヨリ奪ハレタル教育ノ此問題ヲ、完全ニ帝國議會ノ協賛權ニ俟テ、堂々ト法律ニ依テ教育上ノ改善ヲ根本的ニスルコトガ出來ルノデアリマス、之ヲシナケレバ官僚ノ手ニ依テ教育令ノ改廢、此負擔ノ如何ニ拘ラズ勅令ノ改廢ニ依テ、國民ハ其結果トシテ一厘ノ支出デモ帝國議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌノニ、教育費ノ問題ダケハ單リ此官僚ノ手ニ依テ成ル所、然レテ下ノ法律擬ヒノモノデ、自分等ノ支出マデモ強ヒラレト云フガ如キ現狀ヲ放任スルコトハ相成ラヌト私ハ思フノデアアル、故ニ文部省トシテ、文部大臣トシテノ御考ハ分テ居リマスガ、總理大臣ハ此行政、財政、稅制ノ根本ノ整理ト云フコトニ付テ之ヲ如何ニ扱ハントスルノデアリカト云フコトガ私ノ御尋スル要點デアリマス、以上述べタ此問題ニ付キマシテ、總理大臣ヨリ内閣ヲ代表シテ明確ナル御返事ヲ願ヒタイ(拍手)

(國務大臣若槻禮次郎君登壇)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 吉植君ノ初ニ御述ニナタ所ハ、御質問ノ部分ニ屬シテ居ルガ否ヤガ、私ニハ稍分リ兼ねタノデアリマ

スガ併シ一言申上ダマス、前首相暗殺事件ニ付テ過日御尋ニナタ所ニ對シテ、江木司法大臣カラ既ニ御答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ私ガ附加ヘテ申上ダコトハ、政府ハ決シテ犯罪ヲ作爲シテ、人ヲ陷ルヤウナコトハ致シマセス、是ダケハ斷言致シマス、第一ハ社會政策ニ付テ御尋デアリマス、加藤總理大臣ガ——加藤内閣ガ政治的生活ニ付テノ安定ニ努メテ、漸次其落著ク所ニ落著カセントスル、ソレニ付テハ此以上ハ社會的生活ノ改善方面ニ向テ努力スルト述べラレマシタコトハ、當時ノ閣員トシテ私ノ全然之ニ同意シテ居ル所デアリマスノミナラズ、今日ノ内閣モ亦其心得ヲ以テ進ム積リデアリマス(拍手)其中ノ稅制ノ整理ニ付テ多ク御質問ニナリマシタ

(粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席)

社會政策的ニ稅制ヲ整理スルト云フケレドモ、事實ハ左様デナインノデアルト云フヤウナ御批評デアタサウデアリマス、此點ニ付テハ大藏大臣カラ詳細ニ述べテ、私ハ殆ド之ニ附加ヘル言葉ヲ知ラナイ位デアリマス、唯、併シ御尋ニナリマシタニ付テ、大藏大臣ノ述べラレタ所ノ洵ニ一部ヲ繰返スヤウナコトデアリマスケレドモ、私カラ簡單ニ申上ダルヤウニ致シタイノデアリマス、私共ハ社會政策的ニ稅制ヲ整理スルト云フノハ必シモ消費稅ヲ減ズルノミ、消費稅ヲ廢スルノミガソレデアルト思ウテ居ナイノデアリマス、只今吉植君モ指摘セラレタ如ク、中産階級ノ負擔ニ付テ相當ナ考慮ヲ加ヘ、サウシテ大體ニ於テ中産階級ノ負擔ガ堪ヘ得ルヤウニナリ、小資產家、無資產家ノ負擔ニ於テ成ベク減廢セラレルヤウニシテ行クト云フコトハ、是ハ即チ社會政策的ノ稅制整理デアルト思フノデアリマス、唯、之ヲ實行スルニ付テ消費稅ヲ減廢スル、國民ノ生活必需品ニ對シテ消費稅ヲ減廢スル、中産階級ノ負擔ノ重過ギテ居ル所ヲ相當調節スル、是等ノコトヲ致スニ付テハ、國庫ノ財源ガ大變ニ減ズルノデアリマス、今日ノ財政ハ減稅ヲシテ國庫ノ財源ヲ輕減シ

放シニシテ置クノデハ、之ヲ維持スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ消費品ノ中ニ於テモ、日常ノ必需品デハナイノミナラズ、或ル場合ニ於テハ之ヲ消費スルコトハ人ノ健康ノ上ニ於テ寧ろ害ガアルト言ハレルヤウナ物品ニ對シテ、財源ヲ得テ社會的政策ヲ實行スルコトハ、私共ハ是ガ即チ社會的政策ガアルト思ウテ居ルノデアリマス(拍手)地租ノ免稅ヲスル、小農ノ免稅ヲスルノデアリカ、今日ハ小作人ト云フ多數ノ者ガアルノデアリナイカ、其人ノ事ヲ考慮セヌノハドウ云フ譯デアリカト云フ御尋ガフタヤウデアリマス、是モ亦大藏大臣カラ詳細ニ御答ガシテアルノデアリマス、今回ノ稅制整理ニ於テ小作人等ノ負擔ニ主ニナシテ居リマス所ノ木綿織物ニ對スル消費稅ヲ減ズルトカ、日常ノ食料品ニ對スル醬油ノ稅ヲ廢止スルトカ、賣藥稅ヲ廢止スルトカ、總テサウ云フヤウナコトヲ綜合シテ御覽ニナレバ、矢張小作人ニ對シテ相當ナル考慮ガ加ヘテアルノデアリマス、ミナラズ自作農獎勵ノ爲ニ政府ガ種々努メテ、自作農ヲ作ルヤウニ一方ハシテ居ル、而シテ小農ニ對シテハ免稅ヲスルト云フ規定ガ此度地租條例ニ出來テ居ル、相俟テ矢張小作人ニ對シテ相當ナル考慮ガ加ヘテアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)教育ノ問題ニ付テ御尋デアリマス、之ニ就テハ文部大臣ノ答ヘマシタ通りデアリマス、私モ主義ニ於キマシテハ吉植君ノ仰シヤルヤウニスル方ガ宜シイト思フテ居ル、併シ是ガ實行ノ困難ナルコトハ、吉植君ガ局ニ當テ居ラレテモ尙且ツ容易ニ出來ヌノデアリマス(拍手)ソレデアリマスカラ之ニハ中ニ困難ガ伴フノデアリマス、ソレ故ニ御互ニ主義ガ宜イト云フナラバ、其主義ニ向テ努力スルト云フコトヲ致シタイト思フノデアリマス、今日直ニ之ヲ實行スルト云フ譯ニハ行キ兼ねルノデアリマス(拍手)

執タ事柄ハ、誠ニ遺憾ナガラ如何様ニ巧ニ述べラレマシテモ、茲ニ現レタル嚴然タル結果ハ、甚ダ遺憾ト云フヨリ外ハアリマセヌ、而シテ此以上ハ議論ニナリマスカラ、私は是デ質問ヲ止メマスガ、最後ニ御答ニナタ教育費ノ問題、教育ノ施設ノ點ニ付テ若槻首相ガ私ノ意見ニ御同感ヲナサタト云フコトハ感謝致シマス、且ツ現内閣ノ總理大臣モ文部大臣モ、其多年涵養セラレタ所ノ文教ノ上ニ横ハレル一大弊害ニ向テ、之ヲ共ニ改革スルコトニ努力スルト云フ御言集フ、其壇上ヨリ發セラレタルコトニハ謹シテ敬意ヲ表シ、而シテ此内閣ガ如何ナル方法手段ニ依テ之ヲ實行スルカヲ注目シテ見ヤウト思ヒマス

○田淵豐吉君 一寸此席カラ述べテ宜シウゴザイマス

○副議長(小泉又次郎君) 簡單デスカ、簡單ナラバ自席デ宜シウゴザイマス

○田淵豐吉君 此前ニ内閣ノ諸大臣、總理大臣若槻君、內務大臣若槻君、大藏大臣濱口君ニ問ウタコトガアリマス、アレニ付テドウ云フ御答ヲ承ルコトガ出來マスカ、承レマセヌカ

(國務大臣若槻禮次郎君登壇)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 過日田淵君カラ御質問ニナリマシタコトハ、田淵君ハ非常ニ能辯デ居ラセラレテ、中ニ悉ク之ヲ書取テ記憶スルコトガ困難デアリマス、併シ其中記憶シテ居ルモノダケヲ申上ダマス、解散、妥協、聯立内閣ト云フヤウナコトニ付テ御質問デアリマシタガ、是ハ全ク假定セラレタル事實デアリマス、私ハ假定セラレタル事實ニ付テハ、茲ニ御答辯申上ダラニ及バヌト思フテ居ルノデアリマス、唯、其中解散ノコトニ付テ、田淵君ハ普通選舉ヲ實行スル目的デ衆議院ヲ解散スル考ヲ政府ハ持シテ居ルカト云フ御尋デアリマシタ、政府ハ次ノ總選舉カラ普通選舉ヲ行フト云フ考デ法律ヲ提出シテアルノデアリマス、現在ハ現行法ニ依テ選舉マレタ議員諸君ガ在任シテ居ラレマス、其在任中ニ、唯、新選舉法ヲ早ク行フト云フ、ソレダケノ意味

○田淵豐吉君 ソレダケデハマダ不満足デス、大藏大臣カラモ御答辯ヲ願ヒマス
〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 御質問ニナリマシタ主ナル事項ニ付キマシテ説明ヲ申上デマス、第一ノ御質問ハ日本ノ國富如何、日本ノ國ノ富ハレ位カト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ頗ルムツカシイ問題デアリマシタ、色々統計モアリマスケレドモ、責任ヲ以テ此壇上デ言明シ得ル程度ノ正確ナモノハ私持テ居リマセヌ、是ハ御答スルコトガ困難デアリマス、ソレカラ農業ノ收入、工業ノ收入、水産業ノ收入如何、是モ亦同様デアリマスガ、唯、所得稅ヲ取りマシ上ニ於テ調ベタモノガアリマス、併シソレハ所得稅ヲ徵收スベキ所ノ免稅點以上ノモノ、收入デアリマスカラ、ソレニ依テ日本ノ全體ノ農業、工業、水産業ノ收入如何ト云フコトヲ斷定スルニハ、少シ材料ガ薄弱デアリマス、是亦責任ヲ以テ御答申上デタル譯ニハ參リマセヌ、其次ハ日本ハ農業本位デアルカ、工業本位デアルカ、ドッチガ宜イガト云フ御質問デアリマシタ、是ハ學理論トシテハ相當ニ趣味ノアル問題デアリマセウガ、實行論ト致シマシテハ何レヲ重シトスル譯ニハ參ラヌト考ヘマス、人口ハ段々増加ヲ致シマスガ、此増加スベキ所ノ人口ヲ養フニハ、工業ガ必要デアリマス、サリトテ國民ノ生活ノ必要品タル所ノ食糧品ヲ作ルベキ農業ニ付テモ、隨分ハ重キヲ置カナケレバナラヌト考ヘマス、現在ノ日本ノ産業ノ方針ハ正ニ左様ニナッテ居ルト考ヘマスカラ、其何レニ重キヲ置クベキヤ

ト云フ差別待遇ヲスルコトハ困難デアルト考ヘマス、其次ハ官業ト民業トノ境ヲ區別スル標準如何、是ハ豫メ定マツモノハアルマイト考ヘマス、唯、其時ノ宜シキニ從ヒ、又其事業ノ性質ノ如何ニ依テ、一事一物ニ付テ決定スベキ問題デアリマスカラ、理論ヲ以テ決定スルコトハ出來ナカラウト思ヒマス、ソレカラ直接稅ト消費稅トノ割合ハレ位ノ所ガ適當デアルカト云フ御質問デアリマシタガ、是亦前段同様豫メ標準ヲ定メテ、是ガ宜シイト云フ譯ニハ參リマセヌ、何レモ其國情ノ如何ニ依テ決定サルベキ問題ト思ヒマス、其他種々ノ御質問ガアリマシタケレドモ、私失禮ナガラ記憶致シテ居リマセヌ、此程度デ御答ヲ終リマス
○田淵豐吉君 議長、ソレデハ不満足デゴザイマスカラ、私又壇上ヘ出マシテ御答ヲ願フテ宜ケレバ壇上デ申上デマス
○副議長(小泉又次郎君) 登壇ヲ許シマス
〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 諸君、餘程御退屈デゴザイマセウガ、少クモ一時間餘リ聴イテ戴キタイ、ソレト云フノガ先キノガ殘テ居ル、ソレデ先ツ首相カラ問ヒタイノデアリマス(簡單ニヤレト)呼フ者アリ)中ニ多イカラヤレナイ、此間私ハ内閣諸公ニ問ウタノデアリマスガ、加藤サンガ御逝去ニナッテ大變ニ御氣ノ毒デ、其結果吾々ノ質問ヲ打切タト云フコトデ問題ガ起テ、私ヲ懲罰ニ付セラレタト云フヤウナ狀態デアリマス、今日首相及内相及大藏大臣ノ御演說ヲ聴キマシタガ、一體私ハ喧嘩腰デハナイ、喧嘩腰デハゴザイマセヌケレドモ餘リニ――餘リニト云フテハ失禮デスガ、私等ヲ幾分か輕ク視テ居ルト云フコト、是ハ私ハ内閣諸公ハ第一ニ心ヲ正シウシテ聴カナケレバイカヌ點デアラウカト考ヘマス、ソレニハ唯、輕ク視テ居ルト云フノデハナイ、問題其モノヲ胡亂化サウト云フヤウナ意味ガアルノデハナイカト云フコトヲ、私ハ内閣諸公ニ向テ――最モ正シイ心ヲ持テ居ル人ダト思ハレル若槻君カラソレヲ聴クト云フコトハ、私ハ心外ニ堪ヘナイノデゴザイマ

ス、若槻君ガ忘レテ居ルナラバ、忘レテ居ルデ仕方ガナイガ、忘レテ居ナイデアラウト私ハ推斷スルノデアリマス、何ヲ言フカ、「シルバー」事件、朝鮮事件ト云フモノハ忘レルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、況ヤ此處ヘ來ル前ニ一應ハ忘レタナラバ――葬式モアリマシタカラ、私ハ混亂シタ形モアラウト思ヒマス、内閣更迭ノ爲ニ大活動シタコトモアリマセウ、併ナガラ私ハ速記録ヲ見テ居ルト云フコトガ、内閣諸公ノ責任デハナカラウト思フノデアリマス、是ハ重大ナル問題デアルト私ハ思フノデアリマス、濱口藏相モ同ジク公明正大ノ御方デアルト私ハ存ジタノニ、其他ノ事ハ知ラヌト云フノハ、如何ナル譯デアルカ、既ニ他ニ論ジタカラ、是レ以上盡サナクテモ宜イト云フナラバ、ソレヲ明ニシテ貴ヒタイ、速記録ヲ御覽ニナレバ分ル、速記録ハ何ガ爲ニアルカ、官報ハ何ガ爲ニアルカ、云フコトヲ諸君ガ知ラナイノハ、私ハ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、大政黨ノ者ガ立テバ、非常ナル所ノ違法ナ事ヲヤッテモ堂々ト通ル、吾々ノ事ナラバ誠實バシテ行クト云フコトハ、帝國憲法ノ精神ニ反シテ居ル行爲デアルト私ハ固ク信ズル、解散ノ手續ト云フノハ抽象論デアリマセヌ、先ヅ第一ニ手續カラ私ハ聴キタイ、手續ト云フノハ十二月二十日ニ議會ガ開カレル時ニ、アノ詔書ヲ御覽キニナルカ、又或時ハ其時ニ御覽キニナルケレドモ、或ハ一月ノ末頃ニ御覽キニナルデアルカ、ソレハ其時ノ議會ノ空氣ニ依テ前ニ貰フカ、後ニ貰フカガ決マルノカ、内閣ヲ組閣シタ時ニ貰フノカ、ドウ云フモノデアルカト云フコトガ空漠ナル問題デアルヤ否ヤト云フコトヲ聴キタイ、詔書ノコトハ國民ノ議員ガ審議スベキ問題デナイト云フコトハ、私ハ言ヘナイデアラウト思フノデアル、手續論ハ決シテ空想問題デハナイト思フノデアリマス、此問題ハ明ニ御明答ヲ願ヒタイノデアリマス、サウシテ解散ノ手續ヲ致ス時ニ、或ハ此處ニ詔書ヲ讀マレル時ニ、先ヅ攝政官殿下ノ御許可ヲ得テ初メテ此處ニ開ク

ノデアルカ、或ハ又許可ヲサウ戴イタナラバ、後カラ事後ノ承諾ヲ願フデソレヲ出スノデアルカ、其點モ一ツ伺ヒタイノデアリマス、是ハ空想論デアリマセヌ、國民ガ知ラント欲シテ居ル所デアル、ソレカラ如何ナル場合ニ解散ヲ爲サルノデアルカ、例ヘバ國論ノ要求ヲ聴イタルノカ、我が一個ノ御自身デ斯ウ云フ時ニハ斯ウスルト云フノデアルカ、何ヲ標準トシテ解散ト云フコトヲ奏請スルノカ、議會ノ多數ガ茲ニサウ願フ時ニスルノカ、何カ標準ガナケレバ此重大ナル任務ハ負ヘナイデアラウト思ヒマス、何ヲ以テ其標準トスルカト云フコトハ、非常ニムツカシイ問題デアリマスケレドモ、若シ言フコトガ出來レバ、私ハ其點ニ付テ聴キタイノデアリマス(言フ必要ハナイト)呼フ者アリ)君ハ必要ガナケレバ歸レ、(皆歸ルゾ)ト呼フ者アリ)皆歸レ、歸リ給ヘ(議長氣狂ヒテ下ロシテ下サイト)呼フ者アリ)誰ダ……

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○田淵豐吉君(續) 聴カレナケレバ何時間デモヤル、君等ガ喧嘩腰デヤレバ――氣狂ヒトハ何ダ、君ガヤルナラ僕モ何所マデモヤルカラ(謹聴)「シカリヤレ」ト呼フ者アリ)僕ガ此處ニ立タノハ、是迄ノコトニ付テハ速記録モ出テ居ルカラ、相當答辯ヲシテ呉レルカト思フテ、下カラ問ウタ、十分カ二十分デ済ムカラ下カラ問ウタノデアリカ、然ルニ拘ラズ不深切ナル答辯デアラカ、重ネテ此處ニ立テ聴カナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ妥協ト云フヤウナ問題ニ付テ、内閣ハ少シモ譲ラヌト云フコトヲ言ハレタヤウニ一歩モ譲ラヌト云フコトヲ言ハレタヤウニ聞イテ居ル、然ラバ政策ト云フモノハ一歩モ譲ラヌノデアルカドウデアルカト云フコトヲ聴キタイ、例ヘバ二十萬圓シカ出セナイナラバ、少シモ譲ラナケレバ三萬圓ニハ出來ナイデハナイカト云フコトヲ聴キタイ(常識デヤレト)呼フ者アリ)是ハ諸君ハ常識ト云フケレドモ、此帝國議會ハ諸君ノ常識ヲ以テ律スルコトハ出來ナイ、國民全部

ノ上ノ諒解ヲ得ナケレバ出來ナイ所ノ仕事
デハナカラウカト思フノデゴザイマス、諸君
ハ代議士ノ職務デアレケレドモ、國民ヲ代
表シテ居ルト云フ意味ニ於テ、重大ナル關
係ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、故ニ二百圓ノ
免稅點、或ハ一分減ト云フヤウナモノハ御
變ヘニナルカナラヌカト云フコトヲ聽キタイ
ノデアリマス、是ハ具體的ノ問題ニ付テハ
濱口君デアリマスケレドモ、其形式ニ於テ
ハ若槻君ガ責任ガアルト思ヒマス、果シテ内
閣ハ妥協ト云フモノヲシナイカドウカ、斯
ウ云フヤウナ小黨分立ノ間ニ立テ妥協セ
ズシテ果シテ此事ガ行ケルカドウカト云フ
コトヲ聽キタイ、ソレカラ聯立内閣ヲ此前
ニヤリマシタガ、遂ニ稅制問題、豫算の
問題デハ破綻シタ、然ラバモウ一度本黨
ト後來聯立内閣ト云フモノヲ作ラウト云フ
ヤウナ考ガアルカドウカ、單獨内閣ト云フ
モノガ理想デアルノカ、聯立内閣ト云フモ
ノガ理想デアルノカ、今日ノヤウナ狀態デ
ハ如何ナル形式ヲ取ツテモ、唯、政治ノ實
體ヲヤレバソレデ宜イノデアリカドウデ
ルカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス、
ソレカラ今ノ御答ニナツタ點ニ付テモ、私
ハ半バ再質問ヲ致シタイ、帝國ノ首相トモ
アラウ者ガ、來ルベキ二十年ノ間ニ日本
ノ子供ガ幾人出來ルト云フコトノ大ナル豫
測ガ付カスデドウシテ此國ヲヤツテ行クコ
トガ出來ルカ、嫁ヲ取リ子ヲ産シタラ、
此月給デハドノ位暮セルカト云フコトヲ見
テ居ルノデアルカ、ソレ位ノ事ガ——嫁ヲ
取ラナケレバ家族ヲ殖スコトハ出來ナイ、
ソレガ出來ナケレバ親類ニ頼ムトカ云フコ
トガアル、故ニ一國ノ宰相タル者ハ來ル二
十年、二十五年、少クトモ「ゼネレーショ
ン」即チ三十年ノ間ニ、如何ナル狀態ニ於
テ人口ガ進デ行クカト云フコト、多過ギ
レバ之ヲ減ラス方法ハナイカト云フヤウナ
コトニ付テ、十分ノ打算ガナケレバ、一國
ノ宰相タルコトハ出來ナイノデアラウト斷
言シテ憚カラヌ、是ハ一面カラ見レバ書
生論デ、何ヲ言フカ、人口論ナドハ分ツタ
事デナイト云フノデハ、一國ノ宰相ハ務マ

ラヌト思フノデアリマス、故ニ若シ今日知
ラナケレバ十分ノ御調査ヲ爲サツテ、吾々
ニ答辯スルコトヲ私ハ望ムノデゴザイマ
ス、ソレカラ第二ニ都市ノ農村ノ人口ノ
割合ガドウ云フヤウナ關係ニナツタ時ニ、
果シテ吾々ハ理想的ノ關係の日本デア
ルカト云フコトヲ知リタイ、中野正剛君ナ
カハ、都市ト云フモノハ非常ニ勃興シナケ
レバナラヌト云フ説ヲ持ツテ居ラレタ、若
貴方ガ都會ヘ持ツテ來テ集中スルト云フ
トハ惡イ傾向デアルト云フ所ノ「トルスト
イ」ノヤウナ同ジ考ヲ持ツテ居ルカドウデ
アルカ、唯、食ヘレバ都會デアラウト農村デ
アラウト、來テモ構ハヌト云フヤウナ御趣
意デアルカドウカト云フコトヲ私ハ聽キ
タイ、是レ重大ナル問題デアル、サウシテ如何
ナル割合ニ於テ都市ノ農村ト、日本ニ於テ
モ如何ナル狀態ヲ執ルガ現代ニ於テ必要デ
アルト云フコトヲ明ニ示サナケレバ、政府
ノ大綱ハ立タヌト私ハ信ズルノデアリマ
ス、工業政策、農業政策ノ確立ハ、ソレカ
ラデナケレバ出來ナイ、生活ノ向上ト安定
ハソレカラデナケレバ出來ナイノデア
ル、都市ノ經營ト農村ノ經營ハ、此國家全體
ノ上カラ考ヘナケレバ決シテ出來ナイト思
フノデアリマス（ヒヤ）斯ウ云フヤウナ、
殆ド小學校ノ子供デモ知ラナケレバナラヌ
事ヲ、帝國ノ總理大臣ガ之ニ就テ大ナル見
解ヲ持ツテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ
吾々ハ驚入タル次第デアルト思フノデア
リマス、其他勞働者ノ團體權利乙語デ云ヘ
バ「コアリシヨンスレヒト」ヲ如何ニスル
カ、即チ團體ヲ以テ賃錢ヲ要求スルト云フ
コトヲ如何ニナサルモノデアルカ、之ニ解
散ヲ命ジテ個々別々ニヤル、ソコデ演說シ
テ「ツノ塊」ヲ作ラウト云フヤウナ關係ヲ
阻害シヤウトスルノデアルカドウカ、私ハ
能ク法令ヲ知リマセヌガソレヲ聽キタイ、
ドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカ、斯ウ云フ重大
ナル問題ヲ吾々ガ問ウテ居ルノニ、何等忘
レテシマツタト云フコト程左様ニ私ガ言フ
ト云フコトハ、如何ニモ私ハ怪訝ニ堪ヘナ
イノデアリマス、ソレカラ小作農ニ對スル

方針ハ、小作爭議調停法ト云フモノガアリ
マセウケレドモ、如何ナル狀態ニ於テ此小
作ト地主トノ間ノ分配關係ヲシタガ宜イ
ト云フ「ツノ塊」理想、標準ナクシテ、唯、彼
等ノ私的關係ニ任シテ置イテ、彼等ガ爭テ
土地ヲ還シ、或ハ貸シタリスル、即チ自然
關係ニ於テ之ヲ放任シヤウトスルノデア
ルカドウカト云フコトヲ私ハ聽キタイノデア
リマス、詰リ現代ノ問題ハ、政友會アタリ
デハ生産論バカリ唱ヘテ居リマスケレド
モ、或ル意味ニ於テハ生産機關ノ組織ノ變
更ト云フモノト分配ノ問題ト云フモノガ世
界ノ大ナル問題ニナツテ居ルノデハナイカ
ト思フノデアリマス、歐洲大戰後生産問題
ハ再び復活シマスシタケレドモ、尙ホ又再
ビ分配問題、生産機關ノ組織變更ト云フコ
トガ重大ナル問題ニナツテ居ルト私ハ
思フ、之ニ對シテ的確ナル所ノ總括の斷
案ガアルニ非ズンバ、枝葉末節ノ問題ヲ論
ジテモ何等益スル所ハナイト私ハ斷言スル
ノデアリマス（拍手）故ニ斯ノ如キ問題ニ付
テ、政府當局ガ如何ナル考ヲ持ツテ居ル
カト云フコトヲ聽キタイ、ソレカラ又國家社
會主義の組織ヲ政府ハ執ラントシテ居ル
カドウカ、成ベク工業ヲ官營ニシテ、其官
營ノ力ニ依ツテ、或ハ官デヤレテ官デ働カス
ヤウナ方法ヲスルノデアルカ、鐵道ノ如ク
官デ造リ、官デ動かカスヤウナ國有鐵道式ノ
方法ヲ尙ホ日本ニ擴大シテ、國家社會主義
的組織ノ態度ヲ執リ、專賣法ヲ擴大シテ、
此日本帝國ノ主義ヲ國家社會主義的ノ見地
ノ上ニ置クノデアルカドウカト云フコトヲ
聽キタイ、是ガ分ラナケレバ今日小學校
ニ學ンデ居ル人、或ハ中學校ニ學ンデ居ル
人、一般國民ハソレ等ノ志望スル所ノ稼業
ヲ如何ナル範圍、如何ナル方向ニ向ケナケ
レバナラヌカト云フコトガ決定出來ナイト
思フノデアリマス、私ハ哈爾賓ニ二三年前
ニ參ッテ露語學校ニ行ツタ、後藤サン等ガ關
係シテ居ル學校デ、露國ガ共產主義ヲ布
イテ貿易ヲ官營ニスルト云フヤウナコトニ
ナルト、其露語學校ニ學ンデ居ル生徒ト云
フモノハ、其職ノ變更ヲ來サナケレバナラ

ヌト云フヤウナ狀態ニ立至リハシナイカト
云フコトヲ言ウタノデアリマス、故ニ全體
的ニ、日本ノ船ガ何處ノ方面ニ向ツテ進ム
ベキカト云フコトヲ知ラズシテ、唯、枝葉
末節ノ問題ヲ議會ノ問題ニシテ居ルト云フ
コトハ、常ニ私ガ遺憾ニ思ウテ居ル所デア
リマス、故ニ政府ハ斯ノ如キ問題ニ付テ、
國家社會主義的政策ヲ執ツテ居ルノデア
ルカドウカト云フコトヲ聽キタイノデアリ
マス、ソレカラ社會政策の意義ト云フコト
ニ付テ私ハ述ベタイノデアリマス、或ハ若
君デモ、或ハ藏相デモ社會政策々々々々
口ヲ極メテ言フガ、其社會政策ノ根柢
ハ何處ニ在ルヤ、其意義ノ如何ナルモノ
カヲ知ラズシテ徒ニ社會政策タ、社會政策
タ、下ノ煙草ヲ少し下ゲタカラ社會政策
ト云フ水掛論ヲ此神聖ナル議會デ聽クコト
ハ、私ハ甚ダ幼稚デアルト考ヘル、故ニ其
意義ハドウデアルカト云フコトヲ聽キ
タイ、ソレカラ此前ニハ私ハ社會主義ニ付
テノ態度、或過激主義取締ニ付テノ態度ハ如
何ニスルカト云フコトヲ聽キマシタガ、是
ハ他ノ點ニ連ベラレテ居ルナラバ省イテモ
宜イガ、若シ述ベラレテ居ルナラバ、又御考
出シナツタナラバ此點ニ付テモ聽キタイ、
ソレカラ「シルバー」問題ニ付テ、此間モ
御話シタカラ多分御忘レニハナラナイダ
ラウト思フ此一言デモウ分タラウト思フ、
是ハドウ云フコトデアッタカト云フコトヲ
此議會ノ人ハ餘リ——斯ウ言ヘバ失禮カモ
知レマセヌガ、興味ヲ持ツテ居ナイカモ知
レマセヌガ（ノウ）ノウト言ハレル人
モアルカラ相當ノ興味ヲ持ツテ居ル人モア
ルノデセウ、日本ノ國民ハ或ル程度マデ之
ヲ知リタイト云フ者ガアルデアラウト思
フ、海外萬里ノ波瀾ヲ超エテ伯刺西爾ノ日
本ノ何万ノ農民モ、矢張り日本帝國ハ如何
ナル事ヲシテ居ルカト云フコトデ、密ニ心ヲ
悩マシテ居ルノデハナイカト云フコトヲ私
ハ憂ヘルノデアル（拍手）海外萬里ノ波瀾ヲ
超エテ彼等ハ（笑聲）諸君ハ行ツテ見ナイカ
ラ知ラヌノデアル、實ニ心細イモノデア

一國ノ政府ト云フモノ、大使館、領事館及金融機關ノ活動、日本政府ノ遣方ガ如何ニ彼等ノ上ニ響クカト云フコトハ、海外ニ漫遊サレタ御方ノ十分ニ知テ居ルコトデアラウト思フ、此議會ヲ通シテ少クモ海外万里ノ上マデモ、日本國民ノ狀態ヲ吾々ハ心ニ浮ベテ議事ヲ進行シナケレバイケナイト私ハ固ク信ジテ居ル者デアリマス(拍手)吾々ハ小問題デアリマスアレドモ、治外法權トハ何ゾヤ、治外法權トハ何ゾヤト云フ問題ニ於テモ、相當ノ見解ヲ持テ居ナケレバ、萬國ノ日本トシテ立ッコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立テ居ルノデゴザイマス、事ハ極ク小サイヤウデアリマスアレドモ、小ナル問題ハ大ナル結果ヲ生ミマスカラ、將來成ベク、議論ガ起ラナイヤウニシタイト思フカラ私ハ此問題ヲ問フノデアリマス、何モ私ハ此小問題ヲ取擱ヘテ世界ノ大問題デアルト云フコトヲ言フノデハナイ、唯、一ツノ問題トシテ帝都ニ起ラシタ事デアリマスカラ、多分警察ト或ハ外務省ノ間ニモ争ハアリマセウ、或ハ「シルバ」大使ト日本ノ外務省トノ間ニ、或ハ外務省ト内務省トノ間ニ幾分ノ往復ハアツタラウト私ハ思フノデアリマス、ソレヲ不問ニ——私ハ問ハズトモ答ヘナケレバナラヌ事ヲ、問ウテモ尙ホ言ハズ、枝葉末節ノ事ヲ大キク言フコトハ甚ダ遺憾デアル、私ハ若槻君ニ此問題ニ付テノ事ノ真相ヲ御聽シタイノデアル、第二ニ於テ朝鮮人問題、是モ先刻申シマシタ通り、彼ノ紀州ノ本ノ本ニ於テ起ラシタ問題デ、爆彈事件デス、爆彈ヲ持テ十年以上ノ懲役ニナルト云フコトデ非常ニ重イ所ノ爆彈取締法ト云フモノガアルノデゴザイマス、是ガ爲ニ一度争ガ起レバ、非常ナル所ノ家族ニ大ナル傷ミヲ與ヘルノデアリマス、而シテ朝鮮人ガ日本ノ政策ニ於テ、如何ニ彼等ガ成ルカト云フコトヲ朝鮮ニ居ル所ノ朝鮮人ガ憂ヘルノデアリマスガ、歸テ來タ者ガ非常ニ誇大ニ言フノデアリマス、故ニ吾々ハ此問題ニ付テ朝鮮人ヲ内地ニ於テ如何ニ取扱フカ、或ハ朝鮮人ノ問題ニ付テ朝鮮ノ總督

府ト如何ナル打合ヲシテ、斯ウ云フ問題ヲ解決シテ居ルカト云フコトノ大體、總括的ノ事ヲ御尋ヲ致シタイノデゴザイマス、其他私ハ地方長官ノ民選ノ事ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、新聞ニ書イテアツタノハ是ハ的確ニ教ヘラレテ居ナイヤウデスガ、若槻君ハ相當ニ知事ノ事ヤ内務省ノ事モ知テ居ルコトデアリマセウカラ、果シテ是ハ善イノカ、惡イノカ、今ヤルヤラヌト云フコトデナシニ、御意見ヲ伺フコトガ出來ナイカドウカ、ヤ、テモ宜イガ、今ヤ、タラ惡イ、ヤ、テ惡ケレバ惡イト云フコトハ何所ニ其狀態ガアルカト云フコトヲ聽キタイ、現在ヤ、テ宜ケレバドウ云フ所ガ宜イカト云フコトヲ、政友會ニ乘ジラレテモ辯スルノガ國政ヲ託セラレタ所ノ人ノ任務デハナイカト思ヒマス、ソレカラ普通選舉ト云フコトニ付テ一萬圓デアレバ——是ハ果シテ一萬二千圓位出來ルモノカ出來ナイモノデアルカト云フコトヲ聽キタイ、私ハ中ニ出來惡イ、二三萬圓掛ルト云フコトハ皆話シテ居ル、皆珠數繫ギデ、今度出タモノハ臭イ者馬鹿ト云フコトニナル、ソレデハイカスカラ、ソレニ對スル執行ハ果シテソレデ出來ルカドウカヲ聞キタイ、現狀デ出來テモ自然ノ實際ニサウ出來ヌカモ知レヌ、日本ノ足ガサウ早クナイカモ知レヌ、ソレカラ歳費ノ増加ト云フコトニ付テ、速記録ヲ繰返スノハ甚ダ失禮デアルケレドモ、大臣ガ見テ呉レヌカラ再ビ言ハンケレバナラヌ、歳費ノ増加ト云フコトハ、國防ニ於テハ何億圓ノ金ヲ使テ居リ、内治ノ行政ニ於テハ數億圓ノ金ヲ使テ居ル、而シテ、司法、立法、行政ノ三權ノ上ニ於テ、最モ重要ナル此立法府、是ハ諸君ドノ位使テ居ルカト云フト、思半バニ過ギルモノガアラウ、ソウシテ私ハ統計ハ分ラヌケレドモ、三百十八萬圓ト書イテアルト云フ話デアル、三百萬圓ヤ四百萬圓ノ金デ何億圓ノモノヲ動かサウトシテ居ル、何デサウ云フヤウナ小サイ金額デ以テスル立法權ヲ以テ、此大

ナル行政權ヤ軍備ヲ動かスコトガ出來マセウカ、是レ實ニ重大ナ事デアル、華盛頓會議デ負ケレバ、千萬圓モスル軍艦ガ何十萬圓ニモ値ヒシナイボロ——ニナ、テ海ニ沈ンデシマウデハナイカ、之ヲ解決スルニハ、今ノ政黨内閣デアツテ、此立法議會ガ中心トナツテ居ルノデアルカラ、此立法議會ニ少クトモ三千万ヤ四千万ノ金ヲ投ジテ、總テ設備ヲシテ、議院ノ圖書館ニ於テモ各國ノ法令、或ハ各國ノ議會ノ狀態ガ悉ク集メ來テ居ツテ、如何ナル處ノ索引モアリ、書籍モアルト云フヤウニ、亞米利加ノ如クニシテ置イタナラバ、非常ナル所ノ知識ノ豐富ヲ得テ、下ラヌ彌次ヤ何カニ依ラズシテ、互ノ研究心ニ依ツテ、吾々ノ精神ノ活動ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ圖書館ニ僅カ年々千圓位ノ金シカナイ、非常ニ吾々ハ此事ヲ訴ヘテ居ルガ、金ヲ呉レナイト云フコトデアル、議員ニ配ルモノ、其主ナルモノハ豫算案デアルト云フガ、其豫算ノ細密ナルモノハ分リハシナイ、諸君ト吾々ハ皆殆ド盲判ヲ捺スヤウナ狀態ニ陷レテ居ルト云フコトヲ吾々ハ憂フルノデアル、鐵道ノ委員會ニ出ル場合ニハ、鐵道ノ地圖其他ヲ吳レルガ、一朝議員ガ變レバ又ソレモ無イト云フヤウナコトニナツテ居テ、秩序アル所ノ調査研究ハ出來ナイ、索引ヲ設ケ、參考書類ヲ具備シテ、始メテ其處ニ重大ナル結果ガ起ルモノデハナカラウカト思フ、此立法議會ノ選良ヲシテ益、選良ヲラシムルモノハ、其報告ト色ニナ調査ノ材料ト、書籍ト、色ニナ新聞及「ニユー」ス——ニ俟タナケレバナラヌト思フ、然ルニソレガ無イ、而シテ新聞記事ハ——今日ノ低級ナル所ノ新聞ハ、資本主義ニ多ク驅ラレテ居ルノデゴザイマス、彼等ノ報連スル記事ハ、殆ド正確ナルモノハ一ツモ無イト斷言シテ憚ラヌ、或ル足尾ノ労働者ハ、新聞ヲ讀ンデ見ルト、常ニ僕ノコトヲ嘲テ居ルカラ能ク分ラヌカラ、官報ヲ讀ンデ見タル所ガ、實ニ感心ヲシタト云フコトヲ言フテ來テ居ル、私ノ所ノ紀州デハ大阪毎日ト大阪朝日トナドヲ讀ンデ居ルガ、褒過ギタリ褒

メナカ、タリ、少クタリ多クタリ、ザヤヂヤクテ居ツテ、少シモ成テ居ナイ、ソレ故ニ吾々ノ方デハ官報ヲ讀ムコトニナツテ居ル、諸君ノ方カラ出ル黨報モ宜イガ、皆是レ手前味噌ヲ並ベテ居ルト云フ狀態デアル、サウ云フ具合ニ腐敗墮落シテ居ルノハ豈獨リ此議會ノミナランヤデアツテ、此新聞記者諸君モ吾々ト罪惡ヲ同ジウセンケレバナラヌト云フヤウナ、悲ムベキ狀態ニアルノハ何デアルカ、現在ノ新聞記者ハ非常ニ酷使サレテ居ル、ソレニ低級ナル彌次ト聞取レナイカラ、遂ニ頭ガ惡クナツテサウ云フコトヲ書クノデアラウト思フ、斯ウ云フヤウナ譯デ、即チ色々ノ經濟的精神的ノ罪惡ガ總テ此議會ニ集メ來ルト云フコトハ、其最大原因デアルト思フ、三百十八萬ヤ何カノ金デヤ、テ居テ、新聞記者ノ控所ヲ見テモ、殆ド豚小屋ト同ジヤウナ有様デアル、帝國ノ中ニ何億何千万ト云フ新聞紙ヲ配リ、帝國議會ノ狀況ヲ國民一般ニ知ラシメル新聞ニ對シテ、斯ノ如キ待遇ヲシテ置イテ、正確ニ迅速ニ確實ニト云フ、彼等ノ理想ニ向テノ色々ノ設備ヲシナケレバナラヌコトニ付テハ、何等ノ設備ガシテナイ、吾々ノ歳費ノ如キニ至テモ僅カ三千万圓デ、私ハ宿屋ノ拂ガ出來ナイデ、常々キユー——シテ居ル、調査モ何モ出來ナイ、唯、漸ク食フコトガ出來ルト云フヤウナ有様デアル、ソレデアルカラ三井ニ頼ミ、三菱ニ頼ミ、乾ニ頼ミ、中橋ニ頼ムト云フコトニナル、ソレガ爲ニ常ニ議會ガ腐敗墮落シテ、投票權ヲ持テ居ル者ハ即チ諸君ノ親分デアツテ、諸君自身デナイト言フヤウナ、憐ムベキ選良ノ狀態ヲ呈シテ居ルノデハナイカト思フ、故ニ私ハ少クトモ——英國邊リモ相當ニ安イガ、貴族院ニハ出シテ居ナイガ、衆議院ハ四千圓位デアリマセウガ、向ヲノ人ハ富ガ相當ニアルノデ——近來労働者ガ起テ來タカラ、ソレヲ出スヤウニナシタノデアルガ、私ハ議員ニ對シテハ少クトモ六千圓カ一萬圓位ノモノヲヤツテ、食フコトニ困ラヌヤウナ、泥棒ヲシナイヤウナ方法ヲ

國家が先ニ講ジテ置クト云フコトガ「ワイズ」ノ方法デアリ即チ賢明ナル方法デハナイカト思フ、サウデナイト惡イ事ヲスル、故ニ私ハ議員ニ對シテ六千圓カ一万圓位ノ金ヲヤテ書記デモ使フテ本デモ買フ費用ガ出來テ、調査モ出來、議會ニモ行ケルト云フヤウニヤラナケレバ、幾ラ對策政策ヲ此處デ叫ンデ見テモ、吾々ノ頭ガ出來テナケレバ、旅行モ出來ズ、支那ヘモ行ケナケレバ、政友會ノ小川平吉君ガ對策政策ヲ云々シテモ、何ノ事ヤラ分ラヌト云フコトニナル(拍手)故ニ私ハ歳費ノ増加ヲ代議士ガ榮耀榮華ノ爲ニ金ヲ使フト云フヤウナ間違タ觀念ニ向シテ大ニ反省ヲ促シタイト思フノデアリマス、若シサウ云フヤウナ碌デモナイ議員ナラバ出サヌガ宜イ、良イモノヲ出シテ、能率ヲ上ゲサシテ、始メテ此帝國議會ノ大ナル機關ノ活動ガ出來ルノデアッテ、サウデナケレバ到底日本ハ立行クモノデハナイ、ソレカラハ是ハ此際ニハ言ヒマセヌデシタガ、附加ヘテ内閣諸公ニ聞キタイ、殊ニ首相ニ聞キタイノハ、私ハ少クモ斯ウ云フヤウナ論理ヲ持テ居ル、團體ノ役人ヲ選舉スル費用ハ、其團體ノ總體ノ支辨ニ俟ツベキモノデアルト云フ斷案ヲ、私ハ此議會及世界ニ與ヘタイト思フノデアリマス、尾崎行雄君ノ言ハレテ居ル、此費用ト云フモノハ團體ノ一勞動團體、資本團體、其他色々ノ特殊利益ノ團體ノ人ミガ一團ナリ五十錢ナリ持寄シテ出スベキモノデアルト言ヒマスケレドモ、是ハ獨逸、佛蘭西、英國邊リニモ行ハレテ居ル現狀デアリマスケレドモ、私ハ「ブラトン」ヤ「アリストテレス」ハ知リマセヌケレドモ、彼等ヲシテ尙ホ存在セシメタナラバ、斯ノ如キ低級ナル遣方ヲ改良ルト云フコトハ、國家社會ノ見地カラ言フテ、最も切實ナル方法デアルト考ヘタノデナイトカト思フ、幸ヒ日本デハ、之ヲ行ヒ易イト思フノデアリマス、諸君、團體ガ、團體ノ必要ナル役員、即チ立法議會ノ議員ヲ選舉スルニ當テ、其個人ガ金ヲ出シテ出テ來ルト云フコトハ、是程間違タコトハナイト私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス、

(拍手)是ハ當然國家ノ財産ノ收入、租税ノ收入、綜合ノ所得稅法ニ依テ取ツタモノ、中カラ之ヲ支出スルト云フコトガ、根本原則デナケレバナラヌト云フコトヲ私ハ諸君ニ望ミ、又世界ニ絶叫セントスルモノデゴザイマス、諸君ヨ、尾崎君ノ言ハレル所、或ハ歐米各國ノヤツテ居ル所ノモノハドウデアルカ、是ハ失禮ナ言デアリマスガ、三菱ガ三百万圓ヲ出スト云フ話ガアリトシマスレバ——三菱ガ三百万圓出スノモ、是ハ勞働者ガ三百万人寄ツテ一圓ツ、出スノモ、其財の關係ノ量ノ問題ニ於テハ同ジ事デハナイカ、其統計ト云フ上カラ云ヘバ、其金ヲ誰ガ出シタ、彼ガ出シタト云フノハ問題デハナイ、ソレデハ正義ト云フモノガナイ、國家團體ガ國家團體ノ役人ヲ選舉スル費用ハ、國家全體ガ支辨スルト云フコト程左様ニ自明ノ理ハナイト思フ、然ルニ世界各國ハ其方法ヲ執ラヌト云フノハ——矢張保守的ノ英吉利ガソレヲ十分ニヤラヌト云フコトハ、頭ガ非常ニ古クテ物ノ道理ガ分ラヌカラ、彼等ガソレヲヤラヌノデハナイカト思フ、故ニ府縣ノ選舉ニ於テハ府縣ガ其費用ヲ出ス、町村ノ選舉ニ於テハ町村ガ其費用ヲ出ス、運動團體ノ費用ハ其運動團體ガソレヲ支拂フヤウニスルト云フコトガ「ロジカル」デアリ、論理のデアリ、正義ノ觀念デナカラウカト思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ選舉區カラ出スカ、國家ガ出スカト云フコトニナレバ、寧ロ私ハ國家ノ代議士デアルカラ、選舉區カラ出サナイデサウシテ國家ガ出スト云フノガ適切デアラウト思フノデゴザイマス、此議論ハ又改メテ大ニヤラナケレバ、今日此處デ一回解決スル問題デナイ、重大ナル問題デアリマス、併ナガラ落選シタル者マデニヤルカ、何所マデヤルカト云フ詳細ナル小サナ問題ニ對シテハ、是レ問題デアリマス、或ハ罰則ヲ取ラナケレバ澤山出テ來ル、是レ問題デアリマスケレドモ、此原則ヲ吾々決メテ置クト云フコトハ必要デハナカラウカ、ソコデ更ニ若槻サンニ聞クノハ、此間内閣ガ郵便物、ソレカラ小學校ヲ實費デ貸スト云フ

コトハ、何ガ爲ニシタノデアルカ、私ハ此原則ニ一歩々々近付ク所ノ階梯ノ爲ニ設ケラレタノデハナイカト思フノデゴザイマス、若シ必要ガナケレバ唯ソレヲ助ケルト云フ意味ハ、何ノ爲ニ助ケルノデアルカ、助ケル必要ハナカラウ、助ケル以上ハ何カ其所ニ原則ヲ作テ行カナケレバナラヌ、故ニ私ハ漸次ニデアルカ、出來レバ私ハ一氣呵成ニヤツテモ大シタ問題デハナイト思フ、一ツノ選舉ヲヤルノニ三千万、五千万アレバ出來ルト思フ、國民ノ方カラ出スノデアルカラ、私ハ一緒デアルト思フノデアリマス、其點ニ付テ大分長クナツテ失敬デアリマスガ、重大ナル問題デアリマスカラ伺ヒタイト思フ、是ハ世界ノ重大ナル問題デゴザイマス、ソレカラ婦人ノ參政權ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ、是ハ又此議會デモ出マセウカラ、多ク此所デ喋々スル必要モゴザイマセヌケレドモ、ドウ云フヤウナ考ヲ持テ居ルカ、近ク行フカ、三年カ五年ノ近キ將來ニ於テ行ハナケレバナラヌト云フ御意見ヲ持テ居ルカドウカレドモ、臺灣人、朝鮮人ノ選舉權ヲドウスルカト云フコトヲ私ハ聞イテ置キタイ、又臺灣ノ道會ト云フモノハ即チ諮問機關デアラ決議機關デアハナイ、日本ノ縣會ノヤウナ決議機關デアハナイ、諮問機關デアアル、之ヲ改正シテ、幾分デモ自治ノ上ニ進歩ヲ來サシムルト云フ御意見ハナイカドウカト云フコトヲ私ハ朝鮮民ニ代テ(笑聲)之ヲ言ウテ見タイト思フノデゴザイマス、ソレカラ婦人ノ官吏登用ノ範圍ハ如何ナル範圍ニ於テスルカ、婦人ノ職業ノ發展ト、婦人ノ生理的能力及此精神の狀態ニ於テ、如何ナル範圍マテ登用シテ、男ノ月給ト如何様ナル狀態ニシテ行クカト云フコトヲ聞キタイノデゴザイマス、ソレカラ醫藥分業論ニ付テ如何ナル御考ヲ持テ居ルカ、去年モ非常ニ難タトナツテ、土屋清三郎君等ハ非常ニヤカマシク言ウタ、私ハ此問題ガ今トントナイケレドモ、是亦出テ來ルト思フ、仍チ此問題及ビ之ニ關聯シテ政府ガドウ云フ態度ヲ示

シテ居ルカ、是ハ醫者、或ハ藥劑師及一般國民ノ衛生ニ對シテ重大ナル影響ヲ及ボスト思フノデゴザイマスカラ、私ハ言フノデアリマス、諸君ハ何故ソレヲ言ハヌカ、或時ニ何カ起ク時ニハワット騒イデ來ルケレドモ、後ハスボツシテシマフ、斯ウ云フヤウナコトデ諸君ノ統一シタ頭ガ満足スルト思フカ、私ハ満足スルトコトハ出來ナイノデアル、故ニ私ハ内閣諸公ニ聞クノデアアル、其他國道問題デモ、此間論ジタ通り、東京カラ府縣或ハ鎮守府、或ハ師團、或ハ神宮ト云フヤウナ所ニハ國道ヲ造テ居ルガ、經濟ノ中心、人口ノ密集シテ居ル所ニ道府縣ノ經濟の國道網ト云フモノガ出來テ居ラナイ、奧羽、或ハ山陰、山陽トノ連絡、或ハ鹿兒島カラ東西ニ線ガ敷カレテ、國道法ヲ濫テ行政處分ニ依テ國道網ヲ幾分濫テ拵ヘテ居ルノモアル、或ハ伊豆トカ、紀州トカ云フヤウナ所ニ對シテハ掛テ居ナイト云フヤウナ譯デ、縣費支辨ノ爲ニ非常ニ困ルト云フ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、故ニ吾々ハ國道網ヲ日本ニ敷イテ、自動車ノ發展ト、交通機關ノ整備ト云フコトハ憲政會、政友會ガヤカマシク言ウテ居ルカラ、如何ニ之ヲ爲サル積リデアルト云フコトヲ第一ニ聞キタイノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ小サイヤウデ、實ハ非常ニ重大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマス、或縣デハ七十里モアル、土佐ナドハ約三、四十里モアル、紀州ナドハ三、四里、奈良ナドハ二、三里位ノ所モアル、故ニ非常ニ都會ノ商業狀態ニ對シテ、日本ニ大ナル計畫ヲシテ、此鐵道網ヲ數クト共ニ國道網ヲ數カレテ自動車ヲドン——走ラスヤウニシナケレバ私ハイカヌト思フノデアリマス、其他私ハ又國民ノ衛生狀態ニ付テ床次サンニ聞クノデアリマス(笑聲)間違ヒマシタ、若槻サンデス、是ハ一寸私ハ聞キ恥ヂタコトデハゴザイマセヌケレドモ、日本ハ諸君モ知ツテ居ル通り鐵道工業ガ多イノデアリマス、其鐵道工業ヲ日本ニ於テ執テ居ルガ、此紡績會社ニ使ハレル所ノ非常ニ多數ナル少女ガ、非常ナル所ノ身體ニ缺陷ヲ持テ居ル

ト云フコトヲ聞イタ、詰リ月ノモノヲ見ナ
イト云フコトガ甚ダ多イト云フコトヲ聞イ
テ居ルノデゴザイマス、斯ノ如キコト
ハ非常ナル重大問題ヲ來シテ、次代ノ國
民ヲシテ將細クテ所ノ國民ヲ造リテ、醫藥ガ
澤山豊テ生存シナイ、親ヲ苦メルヤウ
ナ子ガ澤山出來ルノデナイカト云フ
コトヲ恐レル、吾々ハ綿絲業ノ發達ハ
望ミマスケレドモ、斯ノ如キ衛生狀態デ
テ、大ナル缺陷ガ存シテ居タナラバ、日本
帝國ノ國民ノ身體ノ中ニ地震ガ入リツ、ア
ルヤウナ狀態デアリマス、是レ看過スベキ
所ノ問題デナイ、重大ナル所ノ人道問題デ
アルト私ハ信ズルノデゴザイマス、是ハ紡
績會社ノミナラズ、其他色ニナ會社ニ於テ
少女ヲ澤山使シテ居ル工場法ノ狀態、賃銀ノ
狀態ガ惡イカラ非常ナル所ノ災害ヲ未來ノ
子ヲ生ム所ノ健康ナル子孫ヲ生ム所ノ
此子供ニ重大ナル體刑ヲ科シテ居ルト同様
ニナルト云フコトヲ、何等此議場デ考ヘナ
イト云フコトハ、大ニ吾々ガ鑑ミナケレバ
ナラヌ所デアルカラ、内閣諸公ニ之ヲ聞キ
タイト私ハ思フノデアリマス、其他此前ニ
モ申シマシタ議會中ノ官報ト云フモノヲ百
萬位出シテ、今ハ五萬位出シテ居ル
ガ——之ヲ國民ニ悉ク配テ、サウシテ五十
錢トカ、一圓トカデ三箇月家ニ應テ居テ、
必要ナ自己等ノ選出シタ代議士ノ話、或ハ自
己ニ必要ナル問題ニ付テ、山ノ中ニ居テ
モ直グニ知ルコトガ出來ルヤウニシテ、日
本帝國ノ議會内ニ「セントル」中心ヲ今日ハ
置イテ居ルガ、是ハ日本全國ヲ統一スル必
要ガアルト思フノデアリマス、國家ハ假令
百萬、五百万ノ金ガ掛ツテモ、先決問題トシ
テ行フベキモノデナイカト思フ、然ルニ現
内閣ノ諸公、現代ノ議員ハ臍豆ノ如クシ
テ、而シテ其心狭小デナイカト思フ、故ニ此
必要ナル所ノ計畫ニ向テ、唯、金ガ無イカ
ラト云フコトヲ以テ、此國家ノ根幹ヲ養フ
所ヲ知ラナイト云フコトハ、重大ナル責任
デナイカト私ハ感ズルノデゴザイマス、其他
朝鮮ニ於ケル所ノ統治ノ方針ノ大體ハドウ
ナッテ居ルカ、現代朝鮮ニ於ケル所ノ不安、

或ハ内亂的ノ兆シガナイカ、安堵シテ居ル
カ、或ハ産業方面ニ付テドウ云フコトガア
ルカト云フコトヲ私ハ聞キタイ、大體ノコ
トヲ私ハ聞キタイ、是レ朝鮮何千万ノ國民
ガ聞カント欲スル所デナカラウカト思フ、
諸君ハ——吾々ハ僅ニ三十万ヤ五十万ノ吾
吾ノ選舉民ニ向テ、吾々ノ演說ヲ聞カスル
ト云フヤウナコトヲ、私ハ諸君ト共ニ悲シ
ムノデアリマス、帝國ノ版圖ニ於テ何千万
ノ人口ヲ持シテ居ル朝鮮ノ爲ニ、此議場ニ於
テ吾々ハ彼等ノ爲ニ之ヲ聞カント欲スル
デアリマス、是レ重大ナル問題デアリマス、
自作農ヲ作ルナラバ、朝鮮ニモ自作農ガ必
要デハアルマイカト云フコトヲ思フノデア
ル、是ハ統一アル所ノ哲學的ノ思想ノ上カ
ラ考ヘナケレバナラス、唯、日本ダケ自作農
ガアツタラ宜イ、朝鮮ノ版圖ニ喰入ッテ、サ
ウシテ彼等ヲ滿洲ニ放逐シテシマヒ、或ハ
金ヲ澤山貸シテ田畑ヲ此方ニ取ツテ他作農
ヲ作ル諸君、日本帝國ノ自作農ヲ思フナラ
バ、朝鮮ニ於ケル農業狀態ヲ如何ニ改善ス
ルカト云フコトニ付テモ、重大ナル責任ヲ
持ッテ居ルト私ハ固ク信ジテ居ルノデゴザ
イマス、其他臺灣ニ於ケル所ノ統治ノ方針
ヲ吾々ハ聞キタイ、臺灣ニ於テモ數萬ノ生
蕃人ガ居テ、理蕃政策ニ於テ非常ナル悩
ミヲ持ッテ、失敗ニ失敗ヲ重ねテ居ル、彼等ハ
打タレタリ、殺サレタリ、或ハ歸順シタリ
シテ、非常ナル所ノ重大問題ヲ來シテ居ル
ケレドモ、是ガ一言半句モ議會ニ現レルコ
トガナイト云フノハドウ云フ譯デアルカ、
私ハ演說モ拙イ、或ハ人格モ出來テナイ、
併ナガラ賢明ナル諸君デアラナラバ、斯ウ
云フヤウナ何千里ノ向フニ居ル所ノ日本帝
國ノ附屬ノ人民ニ對シテ、一掬ノ同情ノ涙
ヲ以テ、如何ニ彼等ガ生活ヲ全ウシテ居ル
カト云フコトヲ見ナケレバナラス、代議政
體ト云フモノハ今日ハ選舉長ノ爲ニ宜イ事
ヲ言ヒ、唯、自己ノ利益ノ爲ニ憐クト云フ
コトハ、議院ニ於ケル所ノ精神ガ缺ケテ居
ルモノト私ハ思フ、故ニ臺灣ニ於ケル統治
ノ方針ハ、是レ重大ナル問題デアルト思フ
ノデゴザイマス、其他滿洲ニ於ケル特殊利

權トハ何ニカ、是ハ大體分ッテ居ル筈デゴザ
イマスケレドモ、私ハ十分ニ分ラナイ、又
時勢ノ變遷ニ從ッテ、帝國ノ對支二十一箇條
ノ内デ、何箇條ト何箇條ガ削除サレテ、
後ト殘リノモノハ何ニデアアルカト云フコト
ヲ的確ニ私ハ知ラナイノデゴザイマス、故
ニ吾々ハ滿洲ニ於ケル特殊利權トハ何ヲ指
スモノデアアルカト云フ、其根源ガ分ラナイ、
所ガ昨日カ一昨日カ、小川平吉君ガ此所ニ
於テ幾分私ノ唱ヘテ特殊利權ニ關係ガアル
カトモ思ヒマスガ、マダ私共失禮デハアルガ
拜見ヲシナイカラ分ラヌケレドモ、若シシ
レガ官報ニ載ッテ居ルナラバ宜イケレドモ、
載ッテ居ラナケレバ此問題ハドウデアアル
ト云フコトヲ、私ハ聽キタイノデゴザイマ
ス、ソレカラ藏相ニ就テ是カラ質問ヲ始メマ
ス、藏相ハ只今國富ト云フモノハドウ位デア
ルカ分ラヌト云フ、是ハ藏相ノ言葉トシテ
私ハ甚ダ當ヲ得ナイモノデアルト思フノデ
ゴザイマス、多分ソレハ分ラヌト云フ、之
ニ付テハ田淵ノ演說ハ何デアルカ、一寸ム
ズカシイカラ文書ヲ以テスルト云フノデ私
ハ下デ待ッテ居ルケレドモ、何ノコトモナ
イカラ、又此處デ問ハナケレバナラス、日
本ノ國富ハ確カ高橋秀臣君ハ一千百億圓位
ト云フテ居ルケレドモ、收入ガドウ位カ明ニ
知ッテ居ナイラシイ、我が國ノ國富ガ分ラナ
イデ、ドウシテ一國ノ財政ノ根柢ヲ定メル
コトガ出來ルカ、此調査ノ爲ニ少クとも何
百萬圓カノ金ヲ投ジテ、此國富ノ増進ヲ圖
ル產業立國ノ大事ガドウシテ出來ルカ、山
本悌二郎君ハ人口ノ數ダケヲ見テ居ル、是
モ結構デアアル、併ナガラ人間ガ養フ所ノモ
ノ、收入、其收入ノ根柢デアアル所ノ財產、
之ヲ知ラナイデハ、如何ニ此國勢調査ト云
フモノヲヤツテモ、眞ノ日本ノ狀態ヲ知ル所
ノ影響ヲ齎ラスモノデハナイ、諸君是ハム
ズカシイ問題デアアルガ、例ヘバ我家ニドノ
位ノ財產ヲ持ッテ居ルカ、十萬圓持ッテ居ル
カ百萬圓持ッテ居ルカ知ラナイデ、諸君我家
ノ會計ヲ論ズルコトガ出來マスカ、必ズ何
處カニ行詰ッテシマウコトハ明カデアアル、是
ハ濱口君ニ對シテ私ハ千萬ヤ五千萬違ッタ

テ構ハナイカラ、大體國富ガドウ位アルト
云フコトハ、他ノ國ノ者カラ聞カレタ時ニ、
直グ答ガ出來ルヤウデナケレバナラス、或
ハ之ヲ明ニシタナラバ、日本ノ國防上變更
ヲ起スコトガ惡イト言フ點ガアルカモ知レ
ナイガ、併ナガラ外ノ國ノ人ノ方ガ、却テ
能ク知ッテ居ルカモ知ラナイト云フ、故ニ私
ハ日本ノ國富ガドウ位アルカト云フコトヲ
知ラナケレバナラスト云フ、又收入ニ於テ
モ農業政策、工業政策、漁業政策、林業政
策、運輸政策、移民政策、運輸政策——投
資政策——是等ノ政策ニ付テ日本ノ狀態ハ
如何ニナッテ居ルカト云フコトモ知ラナケ
レバ、日本ノ財政ヲ論ズルコトハ出來ナ
イ、農業政策ニ重キヲ置クノガ善イトカ、
工業政策ノ方ガ善イトカ言ハレルケレド
モ、此日本ノ國富ト收入ガ如何ナルモノデ
アルカト云フコトヲ知ラナイデ、一國ノ臺
所ヲ預ルト云フコトハ、私ハ早計デアタ
カト思フ、仙石君ハ三菱ノ番頭デアタ
カト云フ、失禮デアアルカ名譽デアアルカ知
ナイガ三菱ノ財產ガ何億圓カ何千萬圓アル
ト云フコトハ知ッテ居ルト云フ、人間ト云
フモノハ「エゴイズム」自己的ノモノデア
ル（田淵君ズボンヲ上ゲ給ヘト呼フ者アリ）
ハイ、此根本原因ヲ知ラナイデ、ドウシテ
財政ヲ論ズルコトガ出來ルカ、所得稅ヲド
ウトカスルトカ云フケレドモ、所得稅ダケ
デハ往カヌ、總テノ稅ヲ取ルニシテモ、其
根元ヲナス所ノ財源ガドウデアアルト云フ
コトヲ知ラナケレバナラス、將來發達スル
モノデアアルカ、發達シナイモノデアアルカト云
フコトヲ知ラナケレバナラスノデゴザイマ
ス、ソレヲ知ラナイデ、地租ト云フモノハ
改正シナケレババカヌト云フテ見タ所デ、
其根柢ヲ培ハズシテ、唯議論ダケシテ見タ
所ガ何モナラナイ、是ハ失禮デアアルケレド
モ私ハサウ思フ（餘計ナ心配ダ）ト呼フ者
アリ）君ハ餘計ナ心配カモ知レヌガ、私ハ
心配スルノダ、町村ノ國富ニ就テハドウ云
フモノデアアルカ、之ニ付テ今私ニ藏相ハ
百萬圓與レナケレバ統計ガ出來ナイカラ、

ソレマデ吾々ハヤレヌト云フナラバ、大體ノ見積リデモ宜シイ、國民ガ首肯スルヤウナ的確ナル御答辯ヲ聽キタイト思フノデアリマス、ソレカラ今農業カ工業カト云フナラバ、藏相ガ答ヘテ言フニハ、農業カ工業カト云フコトハ分ラヌ、其時ノ事情ダト云フ話デアル、ソレハ憲政ノ運用ト云フヤウナ上カラ云ヘバサウデアラウ、ケレドモ吾々ノ考カラシテ見レバ、ソレニ對スル標準ト原則ガナレバナラヌ、其原則標準ニ何等據ル所ナクシテ、其時ノ事情ニ依テ彼方ヘ行ツタリ此方ヘ行ツタリシテ、色色ニ方針ガ變ルト云フヤウナコトデハ、ドウシテ百年ノ大計ヲ圖ルコトガ出來ルカ、故ニ大體日本ノ今日ノ現狀デハ、農業デハ連モイカヌカラ工業ガ良イト思フタラ、工業ニ付十分ノ標準ヲ立テ、ヤラナケレバナラヌ、然ニ政友會ハ漠然タル産業立國ヲ立テタ、「サールベル」ヲ捨テ、政權ヲ取ラウトスル所ノ田中義一氏ガ此處ニ來テ居ルガ、産業立國ト云フタ所ガ、産業ニモ色ミアル、漁業産業、森林産業、工業モ或ニ商業モ、運輸モ一ノ融通ノ産業デアルカモ知レナイ、斯ウ云フモノガ漠然トシテ何ヲシテ居ルカ分ラナイト云フ狀態デアル、故ニ人口問題ヲ論ズルナラバ、私ハ的確ナル論ハナイケレドモ、工業モ宜シク大量生産ニ訴ヘルガ宜イ、諸君ハ安イ物ヲ作ルヤウニ云ハレルカ、高イ賃銀デ良イ高價ナ物ヲ買ツテ、高イ物ヲ生産スルト云フ方針ニ出デナケレバナラヌト思フ、内閣諸公ハ如何ニ見テ居ルカ、日本ト支那ノ經濟方面ニ付テモ、茲ニ關稅戰爭ガ勃發シタトシタナラバドウデアルカ、彼ノ英國ト獨逸トハ互ニ好イ仲デアツケレドモ、工業發展ノ爲ニ遂ニ仲ノ好イ英國ト獨逸ト云フモノハ、戰端ヲ開カナケレバナラヌト云フ慘禍ヲ來シタト云フコトハ、明々白々ノ事實デアル、此歴史ハ果シテ日本ト支那ガ繰返スカ、問題デアリマスケレドモ、矢張此經濟の原則、人類狀態ノ「マーチ」ガ矢張電氣トナリ、汽車トナリ、議會トナツタ如ク、總テノ事モ矢張同じヤウナ傾向ヲ執ルモノトスルナラバ、此

ノ日本ト支那ノ關係モ、飽迄彼等ト密接ナル關係ヲ結ンデ、共存共榮ヲ圖ラナケレバナラヌモノデアアルノデアリマスカラ、比較的高イ物ヲ賣ツテ、少ナイ物ヲ賣ツテ、大ナル量、少ナイ良キ貨ノモノ、此點ノ調和ヲ取テ行カナケレバナラヌ、安イ物ヲ買ツテ高イ物ヲ造テ行カナラバ、吾々ノ國民ノ頭腦モ改革サレテ行キ、世界ニ雄飛スルコトガ出來ルコトハ、明カナ事實デアアル、唯、憐ムベキ政策ニ依テ一時ヲ糊塗スルコトハ、其目的ガ違テ居ルト思フ、政友會ハ産業立國ヲ常ニ口ニシテ居ルケレドモ、何等之ニ對スル定見ヲ持ツテ居ラヌト云フコトヲ斷言シテ憚カラナイノデアアル、又床次君アタリガ失禮カハ知ラヌケレドモ、地方ナドヘ行ツテ、自作農自作農ト云フヤウナコトヲ唱ヘテ、地方ノ人ハ皆賛成ダ、我黨ガ選舉ニナレバ百何十人アルト云フヤウナコトヲ言フテ居ルケレドモ、田舎ノ演説會ナドヘ來ル人ハ、斯ウ云フテハ失禮カハ知レナイケレドモ、何モ自作農ノコトヲ能ク知ツテ手ヲ叩イテ居ルノデヤナイ、床次サンノ人格ガドウダトカ、ドウトカ云フヤウナコトデ、ヤアト云フテ手ヲ叩イテ居ルモノガ多イノデアリナイカ、農業政策ガ如何ナルモノデアアルカト云フコトヲ的確ニ知ツテ贊成シテ居ルノデハナイ、政友會ハ産業立國ダト云ヘバ、ヤアト云フ、憲政會ハ緊縮方針ヲヤラナケレバナラヌト云ヘバ、ヤアト云フテ亦手ヲ叩クト云フヤウナモノガ、全部デハナイケレドモ、少クとも三割五割ハアルト云フ狀態デアルト私ハ思フ、産業狀態ガドウデアルトカ、自作農ガドウデアルトカ、教育費ヲ増セバドウカ、關稅ガドウトカ、地方ノ者ハ子供ニハ衣服モ若セナケレバナラヌ、學校ヘモ通ハセナケレバナラヌ、米ノ收穫ニ依テ金額ヲ多クスルコトヲ努メナケレバナラヌ、ソレニハ矢張其一部ハドウシテモ分業のニ自足自給ト云フコトハ出來ナイコトニナツテ來ル、ソレヲシヤウト思ヘバ、少クとも三町步、四町步ノモノヲ持ツテ居ナケレバナラヌ、ソレ

デモ現在ノ文明デハ出來ナイ、「ランブ」ヲ點サナイデ電氣ヲ點ケテ、電氣代ヲ拂ハナケレバナラヌヤウナ今日ノ農村ノ狀態デハ出來ナイ(「モウ大抵ニシロ」ト呼フ者アリ)是ハ短クシマス(「早く切上ゲナイト定足數ヲ缺クゾ」打切レタ々々ト呼フ者アリ)併シ君等ノ惡イ事ヲ言フタラ打切ルト云フハ、ソレハ餘リ「エゴイズム」ダヨ……
○副議長(小泉又次郎君) 私語ヲ禁ジマス
○田淵豐吉君(續) ソレデ私ハ米シテ農業デ日本ガヤツテ行ケルカト思フノデゴザイマス、故ニ假令五圓十圓ノ税金ヲ負ケテヤツタ所ガ、ソレデ農村振興ガ出來ルカ出來ナイカハ重大ナル問題デアル、卵ニ關稅ヲ課シタナラバ、ソレデ農村ガドウナルカト云フコトモ重大ナル問題デアルト思フ、故ニ吾々ハ此重大ナル問題ニ付テ、大體ニ於テ右スルカ左スルカ、農業主義ト工業主義トドウチヤンボンニスルカ、其何レカヲ取ルカ、農業ハ徵兵ノ兵力ノ上ニ於テ、或ハ文化ノ上ニ於テ、或ハ世界ノ平和ノ上ニ於テ、或ハ又産業ノ上ニ於テ、或ハ人口ノ上カラ見テ之ヲ如何ニスルカ、色々ノ點カラ見テ日本ハ段々工業主義ヲ取ラナケレバナラヌノデアリナイカト云フコトヲ吾々ハ恐レルノデアリマス、若モ農業主義ヲ取ラントスルナレバ、佛蘭西ノ如ク子供二人カ三人ニ限テ人口ヲ殖サナイデ、之ヲ都會ニ送ラヌヤウナ政策ヲ取ルカ、二ツニツノ已ムベカラザル痛マシキ歴史ヲ吾々ノ心ノ中デ繰返サナケレバナラヌト思フノデアリマス、内閣諸公ハ此産業ト人口ノ問題ニ農業主義ト工業主義ト問題ニ付テ的確ナル斷案アルニ非ザレバ、決シテ重大ナル補助ノ責任ヲ全ウスルコトハ出來ナイト私ハ固ク信ズル、次ニ官業ノ種類ト云フモノハ、現在大體之ヲ統轄シタナラバ、官業ノ種類ハドウ云フモノデアルカ、民營ヲ成ベク官營ニ移スト云フ主義デアルカ、或ハ官營ヲ民營ニ移スト云フ主義デアルカ、或ハ專賣法ト云フモノヲ廢シテ、ア、云フ狀態ニ置カヌト云フ主義デアルカ、サウ云フ點ニ付テ私ハ聞キタイ、ソレカラ間接稅

ト直接稅トノ關係ハ是ハムヅカシイ問題デアル、例ヘバ今日ノヤウニ一部ノ者ガ私有財産ヲ多ク持ツテ居ル、貧富ノ懸隔ガ益々盛ニナツテ來ル場合ニ於テハ、間接稅ヲ成ベク少クシテ、直接稅ヲ多クスルト云フコトガ根本方針デナカラウカト私ハ思フ、是ハ根本的ノ議論デアリマス、藏相ニ之ヲ聞キタイノデゴザイマス、果シテ直接稅ヲ成ベク増シテ、消費稅ヲ少クシタ方ガ宜イノデアルト思フガ、藏相ハドウ考ヘルカヲ私ハ聞キタイ、而シテ其割合ト云フモノハ如何ナル狀態ニ置イタ方ガ宜イカト云フコトヲ若シ御答ガ出來ナケレバ、之ヲ研究シテ戴キタイト思フ、若シ貧富ノ懸隔ガ悉ク無クテ、同ジヤウニ金ヲ持ツテ居ルト云フナレバ、國家デソレヤル場合ニハ其分配ノ一割ヲ取ルトカ、二割ヲ取ルトカ、或ハ現在平等ニ所有物ヲ持ツテ居ルナラバ、間接稅ニ於テ悉ク同ジヤウニ課シテモ、今日ノ直接稅ト同ジデアリマスケレドモ、今日ノ私有財産ニ非常ニ懸隔ガゴザイマスカラ、吾々ハ社會政策のノ見地、或ハ負擔能力ニ依テ所得稅のノ累進課稅のノ方面ニ向ツテ多クヲ取ツテ、間接稅ヲ少クシヤウトスルノデアリマス、然ルニ藏相ハ國民ノ負擔ガ如何ニ重クナルカト云フコトヲ見ナイデ、色々ノ間接稅ヲ増スト云フコトハ、是ガドウナケレバ、私ハ人民ガ困ルデハナイカト思フ、ソレカラ相續稅ノ問題ハ、英國邊リハ非常ニ澤山取ツテ居ルサウデアリマスガ、日本ハ今回モ唯、八百萬圓カ幾ラカ増シタマケデアツテ、大ニ増サナイ、吾々ハ良風美俗ヲ維持センガ爲ニ重大ナル責任ヲ持ツテ居ル(「マダヤルカ」定足數ヲ缺クゾ)ト呼フ者アリ)併ナガラ諸君、激越ナコトヲ云フノデハナイガ、社會主義の、共產主義の思想ハ、其一部ガ銀座ノ街頭マデ現ハレテ來タト云フコトヲ、政友會ノ首領連ガ言フデハナイカ、大ナル財産所有者、共產主義の社會主義者等ト云フモノガ、同ジ小サイ一町ノ間ニ居ルト云フコトハ、是レ重大ナル問題デハナイカ、諸君ガ若シ唯、區々タル所ノ内閣ノ手

落ヤ、警官ノ配備ヲ以テ此問題ヲ解決シ盡
サウト政友會ノ諸君ガ考ヘラル、ナラバ、
是ハ大ナル誤リデハナカラウカト私ハ思フ
ノデゴザイマス、サウ云フヤウナコトハ唯、
一時ノ抑ヘデア、テ、假令抑ヘタ所ガ他
ノ方面ニ出テ來ルト云フコトハ明カデア
ル、唯、此問題ニ付テ、内閣ノ警備ノ問
題、都市ノ安寧秩序ノ問題ニ付テ肉薄スル
ト云フコトハ、反對黨トシテ在野黨トシテ
必要デアルト云フコトハ、吾輩モ痛切ニ認
ムル者デゴザイマス(脱線スルナ)ト呼フ
者アリ)併ナガラ此問題ヲ以テ、眞ニ果シ
テ此大問題ヲ解決シ得ルト思フタナラバ、
ソレ程愚ナ事ハ私ハ世界ニナカラウト云
フコトヲ斷言シテ憚ラナイノデゴザイマス
(モウ止セ)ト呼フ者アリ)故ニ諸君ト
共ニ吾々壇上壇下ニ應酬スルノデハナ、
此重大ナル問題ヲ解決セシガ爲ニ私ハ絶
叫シテ居ルノデア、此問題ハ重大ナル問
題デア、然ルニ諸君ハ何等ニ就テ
的確ナル問題ヲ出シテ居ナイト云フコトハ
私ハオカシイ、ソレカラ次ハ所得稅ノ問題
デモ、或ハ本黨ノ案ガドウトカ云フコトデ
アリマスケレドモ、今ノ收益の所得稅ト云
フコトハ——私ハ能ク稅制ノコトハ知リマ
セヌケレドモ、是ヲ今少シ純所得のモノ
ニ直シテ、今ノ所得稅ト云フモノヲ根本カ
ラ改良スル方針ハドウシタラ宜シイカト云
フコトヲ私ハ聞キタイ、ソレカラ地租ト云
フヤウナ收益稅ニ所得稅のモノヲ加味シ
テ、免稅ヲシヤウト云フヤウナ主義ガ宜イ
カ、或ハ一律一體ニ——收益稅デアリマス
カラ、產業ノ上ニ紛淆ヲ來サナイガ爲ニ、
成ベク一律一體ノ稅ガ宜イト云フ原則ヲ樹
テルカト云フコトハ、是ハ地租ノ免稅點ヲ
ドウスルトカ、或ハ自作農ヲドウスルトカ
云フヤウナ非常ナル問題ガ起、テ來ルト思
フノデゴザイマス(一寸簡單ニヤレ)「マダ
アルノカ」ト呼フ者アリ)一寸デヤナイ、是
カラウントヤルノダ(定足數ヲ缺ク)ト呼
フ者アリ)ソレデカラ僕ガ明日ニ延バセト
言ッタラ、今日ヤレト言フカラヤッタデヤ
ナイカ(又此間ノ通りダゾ)簡單ニヤレ

ト呼フ者アリ)政府ガ少シモ答ヘナイカラ
言ハナクチャ分ランデヤナイカ(笑聲)其他
家屋稅ニ付テモデス、私ハ米ト云フモノハ
安クシナケレバ困ル、食フ物ヲ安クシナケ
レバナラヌト云フノナラバ、著ル物モ安ク
シナケレバナラヌ、ソコデ本綿ノ織物稅ヲ
廢スル、然ラバ居ル所ノ家ハドウスル、衣
食住ト云フモノガ問題デハナカラウカ、ソ
コデ此家屋稅ト云フモノガ他ノ問題トドウ
云フ關係ガアルカト云フコトヲ私ハ聞キタ
イノデゴザイマス、是ハ重大ナル問題デア
ルト思フ、ソレカラ消費稅ノ問題ニ付テ聞キ
タイト思ヒマシタガ、是ハ大分言盡サレタ
問題デアリマスカラ省キマス、ソレカラ土
地增價稅ニ付テドウ云フヤウナ御考ヲ持
テ居ルカ、土地增價稅ト云フモノハ、外國
ニ於テ失敗シタ歴史ハアリマスケレドモ、
重大ナル問題デアルト思フ獨逸ノ「ダマシ
ケ」氏ナシカハ土地ノ市有ヲ論ジテ居ル、
ソレコソ實ニ社會主義ノ資本主義ノ調和點
ガ出來ルト云フヤウナコトヲ言、テ居ルヤ
ウナコトモアル、此土地增價稅ニ付テ如何
ナル考ヲ持、テ居ルカ、若シ取ルナラバ之ヲ
市町村ニ於テ取ルノデア、或ハ國家ニ
於テ取ルノデアアルカト云フコトヲ私ハ聞キ
タイノデアリマス、其他地價修正ノ問題ニ
付テ、收益ト賃賃價格ト云フモノ、間ニ、
ドレダケノ開キト差ガアルカト云フコトヲ
聞キタイ、ソレカラ宅地ノ賃賃價格ノ修正
ハシテナイト云フコトヲ友達カラ聞キマシ
タガ、果シテ是ハシテナイノカ、或ハシナ
イ積リデアアルカト云フコトヲ聞キタイノデ
ゴザイマス、ソレカラ地租委讓ノ問題、是
ハ私ハ日本ニ於テ地租ト云フモノハ段々少
クナ、テ來ル傾向ヲ持、テ來ルカラ、地方ニ
委讓シタ所ガ、此問題ノ爲ニ地方ガ非常ニ
需フト云フコトハナイノデアハナイカ、又地
租ト云フモノハ或ハ土地ヲ國營ニスルトカ、
或ハ何種ノ改良ヲ加ヘルガ爲ニハ、ドウ
シテモ國家的ニ改良費ヲ投ジテヤラナケレ
バナラナイ、地方々々ニ於テハヤレナイ、
此點ニ付テ地租ヲ委讓シタナラバ困ルデハ
ナイカト私ハ思フ、斯ウ云フ見解カラ、ド

ウ云フヤウニ地租ヲ見テ居ルカ、私ハ聞キ
タイノデアリマス(議長定足數ヲ缺イテ居
リマス)ト呼フ者アリ)ソレデハ定數ヲ缺イ
テ居レバ私ハ議長ニ宣告ヲ願ヒタイ、定數
ヲ缺イテ議事ヲ進行スルコトハ出來マセヌ
カラ、明日ニ延バシテ貫ヒタイ……
○副議長(小泉又次郎君) 定數ヲ缺イタト
認メマセヌ
○田淵豐吉君 定數ヲ缺イテ居ルト云ウテ
居ルデハアリマセヌカ(議長々々)ト呼フ
者アリ)
○副議長(小泉又次郎君) 質問ヲ御進メナ
サイ
○田淵豐吉君 ソレナラバ私ハ讀ンデ見マ
セウ——一、二、三、四、五、六、七、……
○副議長(小泉又次郎君) 田淵君——田淵
君、田淵君
○田淵豐吉君(續) 百二十名位シカナイト
思フ
○副議長(小泉又次郎君) 貴方ガソレヲヤ
ル權利ハナイノデス
○田淵豐吉君(續) 貴方ガ何モヤラナイカ
ラ私ガ検査官ニナ、テ検査ヲシテ居ル
○副議長(小泉又次郎君) 貴方ガヤル權能
ハナイ——田淵君、田淵君
○田淵豐吉君(續) 定數ヲ缺イテ居ルト思
フ、衆議ニ問ウテ御覽ナサイ、嚴然トシテ
定數ヲ缺イテ居ルト云フコトヲ言、テ居ル
デハアリマセヌカ、調ベテ御覽ナサイ、私
ハ百二十名シカナイト思フ
○副議長(小泉又次郎君) 田淵君——田淵
君、御覽ナサイ、田淵君ハ質問ヲ續行セ
ラレシコトヲ望シテデアリマスガ、(田淵
豐吉君「ヤリマス」ト呼フ)ソレヲ續行ナサ
ラズ、他ノ事ヲ何カ今自分デ計算ヲシテ居
リマス、議長ノ命ニ從ハナイト思ヒマスカラ、
田淵君ノ發言ハ今日はデ中止致シマス
(此時田淵豐吉君、尙發言ヲ繼續ス)
○副議長(小泉又次郎君) 降壇ヲ命ジマ
ス、田淵君——田淵君
○作問耕逸君 議長々々
○副議長(小泉又次郎君) 作問耕逸君
○作問耕逸君 殘餘ノ質疑ハ明日ノ本會議

ノ議事日程前ニ續行スル事トシ、今日ハ此
程度ニテ延期セラレシコトヲ望ミマス
(賛成ニ賛成)ト呼フ者アリ)
○副議長(小泉又次郎君) 作問耕逸君ノ動
議ニ御異議ナイト認メマス、次ノ日程ハ公
報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス
午後六時五十四分散會

